

第四次稲城市長期総合計画  
達成状況等報告書

令和2年1月  
稲城市



## はじめに

第四次稲城市長期総合計画は、『緑につつまれ 友愛に満ちた市民のまち 稲城』という将来都市像の実現に向けて、4つの基本視点を念頭に置きながら、6つのまちづくりの基本目標を掲げて策定した本市のまちづくりの指針となるものです。

平成23年度（2011年度）から2020年代初頭までを期間とし、まちづくりの基本目標と、それを実現するための基本的な方向性を定める「基本構想」を頂点に、10年間において総合的かつ計画的に展開する施策を「基本計画」に定め、施策の目標を達成するための主要な事業の計画である「実施計画」を3年毎に定めた3層構造の計画です。

本書は、（仮称）第五次稲城市長期総合計画の策定に取り組むにあたり、平成27年度に時代の変化に対応するために行った基本計画の中間点検も踏まえ、ここまでの達成状況について報告するものです。



## 目次

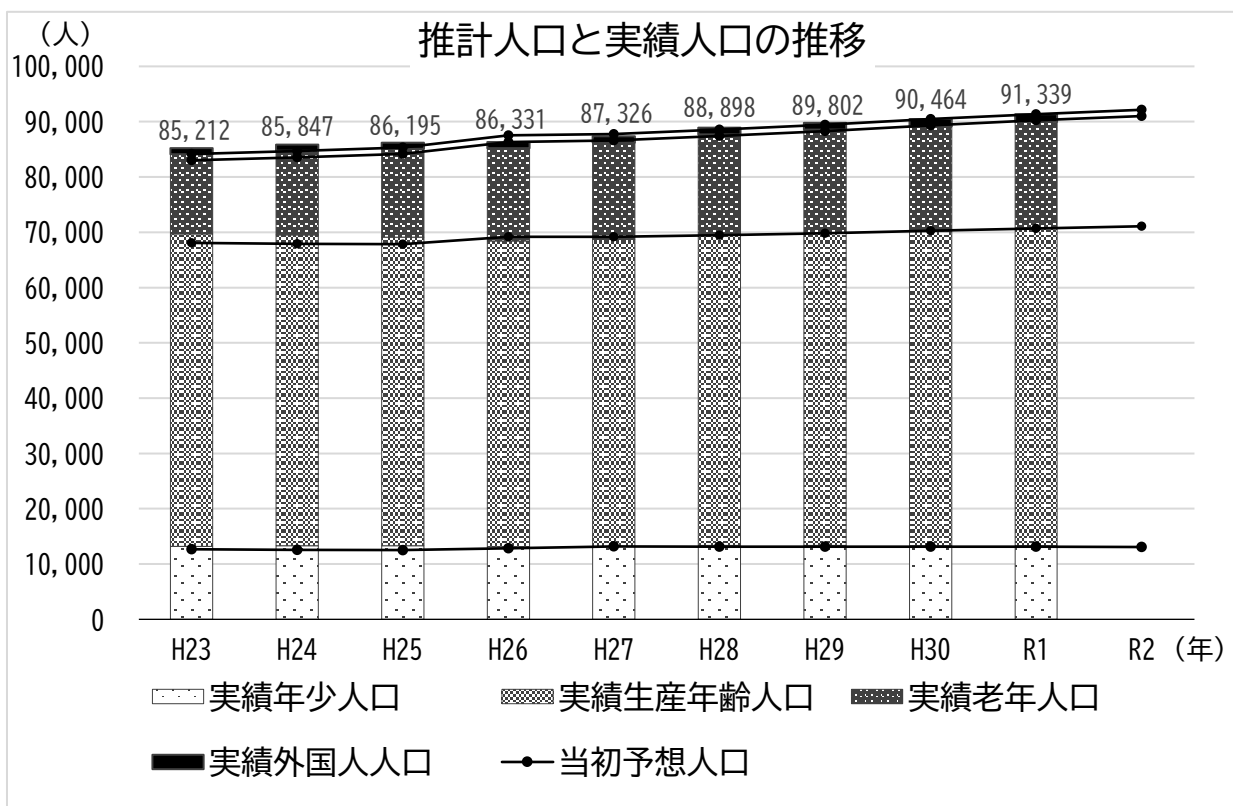
1.人口推計 .....	1
2.財政推計 .....	2
3.施策の体系 .....	6
4.主な事務事業等の実施状況 .....	8
【主な事務事業等の実施状況一覧】 .....	8
【主な事務事業等の実施状況のまとめ】 .....	19
【事業別実施状況】 .....	20
第1章 だれもが健康で安心してともに暮らせるまちづくり .....	20
第1節 健康の保持・増進と医療の充実 .....	20
第2節 社会福祉の充実 .....	25
第3節 社会保険制度の推進 .....	36
第2章 人と文化を育むふれあいのあるまちづくり .....	37
第1節 生きぬく力の育成 .....	37
第2節 生涯学習の推進 .....	43
第3章 だれもが心豊かに暮らせる平和で安全なまちづくり .....	47
第1節 地域で育む共生意識と活気あふれる地域交流 .....	47
第2節 コミュニティの充実と交流の推進 .....	50
第3節 安全安心なまちづくり .....	53
第4章 だれもが心豊かに暮らせる平和で安全なまちづくり .....	59
第1節 快適な環境への改善と保全の推進 .....	59
第2節 産業の振興 .....	62
第3節 安定した消費生活の推進 .....	69
第5章 環境にやさしく活力あふれるまちづくり .....	70
第1節 安心して暮らせるまちづくり .....	70
第2節 安全で快適なまちづくり .....	76
第3節 豊かな水と緑のあるまちづくり .....	82
第6章 市民とともに歩むまちづくり .....	84
第1節 市民参加の拡充 .....	84
第2節 行政サービス向上のための行財政 .....	85
【指標における目標値の達成状況】 .....	88
< 指標における目標値の達成状況一覧 > .....	89
5.第四次稲城市長期総合計画の達成状況等のまとめ .....	92



# 1. 人口推計

計画当初、日本全体から見れば人口減少時代となる見通しがある中で、本市は人口増加しつつ少子高齢化が進むと見込んでいました。中間点検時に多少の下方修正しているものの、土地区画整理事業の進捗等による人口増加は推計通りで、期間満了時点の人口は概ね当初の推計人口となると予想されます。

下のグラフでは実績人口を積み上げ棒グラフで、推計人口を積み上げ折れ線グラフで表しています。（推計人口は平成26年までは当初計画の数値を、平成27年以降は中間点検時の推計数値を用いています。）多少の数値の誤差はあるものの、概ね推計通りの増加傾向であり、少子化・高齢化も緩やかであることが読み取れます。



(実績人口は各年10月1日・グラフ上部数値は実績総人口)

## 【推計人口と実績人口】

(人)

		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2
年少人口	当初	12,657	12,581	12,525	12,852	13,181	13,152	13,135	13,142	13,128	13,091
	実績	13,218	13,322	13,307	13,118	13,168	13,343	13,385	13,292	13,286	
生産年齢人口	当初	55,405	55,336	55,318	56,320	56,013	56,328	56,691	57,155	57,529	57,991
	実績	56,483	56,227	55,833	55,313	55,529	56,244	56,539	56,831	57,351	
老年人口	当初	14,949	15,639	16,335	17,141	17,430	17,949	18,482	19,046	19,582	19,928
	実績	14,422	15,205	15,962	16,794	17,517	18,140	18,650	19,041	19,299	
外国人人口	当初	1,133	1,147	1,162	1,216	1,108	1,115	1,122	1,129	1,136	1,141
	実績	1,089	1,093	1,093	1,106	1,112	1,171	1,228	1,300	1,403	
総人口	当初	84,144	84,703	85,340	87,529	87,732	88,544	89,430	90,472	91,375	92,151
	実績	85,212	85,847	86,195	86,331	87,326	88,898	89,802	90,464	91,339	

## 2. 財政推計

### 第四次長期総合計画期間の財政収支（一般財源ベース）

(表1)

(単位：百万円)

歳入		行	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	23～30年度計	行
市税	当初計画①	1	14,306	14,538	14,778	15,181	15,221	15,590	15,907	15,846	16,131	16,395	121,367	1
	決算②	2	13,924	13,904	14,206	14,461	14,752	15,006	15,131	15,479			116,863	2
	差(②-①)	3	△382	△634	△572	△720	△469	△584	△776	△367			△4,504	3
地方交付税	当初計画①	4	775	661	573	549	736	596	484	616	477	343	4,990	4
	決算②	5	1,498	1,504	1,399	1,177	998	805	727	825			8,933	5
	差(②-①)	6	723	843	826	628	262	209	243	209			3,943	6
臨時財政対策債	当初計画①	7	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800	6,400	7
	決算②	8	1,170	1,332	1,351	1,155	850	592	675	849			7,974	8
	差(②-①)	9	370	532	551	355	50	△208	△125	49			1,574	9
地方消費税交付金	当初計画①	10	753	769	776	784	792	831	853	861	870	879	6,419	10
	決算②	11	773	795	788	1,023	1,859	1,678	1,722	1,469			10,107	11
	差(②-①)	12	20	26	12	239	1,067	847	869	608			3,688	12
その他一般財源(基金繰入金を除く)	当初計画①	13	1,772	1,796	1,801	1,855	1,817	1,805	1,800	1,797	1,801	1,808	14,443	13
	決算②	14	2,350	2,801	2,100	2,405	1,990	2,020	2,022	2,232			17,920	14
	差(②-①)	15	578	1,005	299	550	173	215	222	435			3,477	15
歳入合計 A	当初計画①	16	18,406	18,564	18,728	19,169	19,366	19,622	19,844	19,920	20,079	20,225	153,619	16
	決算②	17	19,715	20,336	19,844	20,221	20,449	20,101	20,277	20,854			161,797	17
	差(②-①)	18	1,309	1,772	1,116	1,052	1,083	479	433	934			8,178	18

歳出		行	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	23～30年度計	行
人件費	当初計画①	19	4,807	4,697	4,648	4,670	4,614	4,562	4,531	4,507	4,453	4,460	37,036	19
	決算②	20	4,479	4,347	4,373	4,549	4,637	4,668	4,699	4,750			36,502	20
	差(②-①)	21	△328	△350	△275	△121	23	106	168	243			△534	21
扶助費	当初計画①	22	1,765	1,821	1,882	1,978	2,060	2,134	2,209	2,281	2,350	2,421	16,130	22
	決算②	23	2,102	2,270	2,405	2,456	2,880	3,169	3,102	3,111			21,495	23
	差(②-①)	24	337	449	523	478	820	1,035	893	830			5,365	24
公債費	当初計画①	25	1,782	1,842	1,873	1,829	1,691	1,735	1,659	1,527	1,496	1,513	13,938	25
	決算②	26	1,709	1,745	1,778	1,839	1,774	1,931	1,968	1,890			14,634	26
	差(②-①)	27	△73	△97	△95	10	83	196	309	363			696	27
物件費	当初計画①	28	3,712	3,865	3,916	4,020	4,100	4,184	4,229	4,286	4,345	4,386	32,312	28
	決算②	29	3,506	3,618	3,767	4,200	4,141	4,076	3,898	3,894			31,100	29
	差(②-①)	30	△206	△247	△149	180	41	△108	△331	△392			△1,212	30
補助費等	当初計画①	31	1,792	1,671	1,575	1,596	1,613	1,625	1,635	1,643	1,647	1,652	13,150	31
	決算②	32	1,670	1,797	1,789	1,841	1,939	1,531	1,629	1,701			13,897	32
	差(②-①)	33	△122	126	214	245	326	△94	△6	58			747	33
繰出金	当初計画①	34	2,537	2,585	2,676	2,753	2,789	2,821	2,866	2,966	3,027	3,096	21,993	34
	決算②	35	2,129	2,301	2,190	2,182	2,242	2,356	2,074	2,461			17,935	35
	差(②-①)	36	△408	△284	△486	△571	△547	△465	△792	△505			△4,058	36
その他経費	当初計画①	37	224	207	199	211	198	212	196	213	198	214	1,660	37
	決算②	38	308	192	144	143	171	257	202	262			1,679	38
	差(②-①)	39	84	△15	△55	△68	△27	45	6	49			19	39
投資的経費(公共施設整備基金充当前)	当初計画①	40	5,072	3,224	2,982	3,915	3,676	2,865	2,380	2,737	1,939	1,403	26,851	40
	決算②	41	4,162	3,642	2,473	3,579	3,383	2,877	2,212	1,857			24,183	41
	差(②-①)	42	△910	418	△509	△336	△293	12	△168	△880			△3,134	42
歳出合計 B	当初計画①	43	21,691	19,912	19,751	20,972	20,741	20,138	19,705	20,160	19,455	19,145	163,070	43
	決算②	44	20,065	19,912	18,919	20,789	21,167	20,865	19,784	19,926			161,427	44
	差(②-①)	45	△1,626	0	△832	△183	426	727	79	△234			△1,643	45

(表2)

		行	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	23～30年度計	行
歳入合計	当初計画①	46	△3,285	△1,348	△1,023	△1,803	△1,375	△516	139	△240	624	1,080	△9,451	46
歳出合計	決算②	47	△350	424	925	△568	△718	△764	493	928			370	47
A-B	差(②-①)	48	2,935	1,772	1,948	1,235	657	△248	354	1,168			9,821	48

(表3)

		行	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	23～30年度計	行
基金繰入金 決算額	財政調整基金	49	298	199	26	200	650	620	25	9			2,027	49
	公共施設整備基金	50	1,107	369	0	1,173	800	795	250	9			4,503	50
	合計	51	1,405	568	26	1,373	1,450	1,415	275	18			6,530	51
市債借入額 (臨時財政対策債を除く)	当初計画①	52	0	1,811	0	653	0	0	0	0			2,464	52
	決算②	53	771	2,726	880	3,100	1,504	1,882	706	2,039			13,608	53
	差(②-①)	54	771	915	880	2,447	1,504	1,882	706	2,039			11,144	54
合計(51行+53行)		55	2,176	3,294	906	4,473	2,954	3,297	981	2,057			20,138	55

(表4)

		行	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	参考 22年度	行
基金現在高	財政調整基金	56	3,831	3,744	3,817	3,750	3,186	2,656	2,635	2,739			4,042	56
	公共施設整備基金	57	4,263	4,053	4,207	3,099	2,324	1,558	1,336	1,358			5,094	57
	合計	58	8,094	7,797	8,024	6,849	5,510	4,214	3,971	4,097			9,136	58
市債現在高		59	17,127	19,485	19,986	22,447	23,061	23,617	23,084	24,123			16,846	59



(表1について)

表1は、第四次長期総合計画期間の財政収支のうち、歳入歳出の一般財源の収支を当初計画と決算で比較したもので、市税等の一般財源をどのような経費に使用したのかがわかります。第四次長期総合計画期間のうち、決算数値が確定している23～30年度合計で比較すると、歳入では、3行の市税がリーマンショックとその後の景気回復の遅れ等により45億400万円の減、6行の地方交付税と9行の臨時財政対策債は、市税の減による基準財政収入額の減等により、それぞれ39億4300万円、15億7400万円の増、12行の地方消費税交付金は、消費税率の引き上げ等により36億8800万円の増、15行のその他一般財源は、税連動交付金や繰越金の増などで34億7700万円の増となっており、合計では81億7800万円増加しています。

一方、歳出では、24行の扶助費が、社会福祉費や児童福祉費、生活保護費等の増により53億6500万円の増、36行の繰出金が、国民健康保険事業特別会計繰出金の減等により、40億5800万円の減、42行の投資的経費が、市債の活用等により31億3400万円の減となっており、合計では16億4300万円減少しています。

(表2について)

表2は、表1の歳入合計から歳出合計を差し引いたものです。46行の当初計画の23～30年度合計は、94億5100万円の財源不足となっています。これは、計画上では市債の借入れを南山小学校建設事業など一部にとどめ、その他の財源不足は、基金の繰り入れにより補うことを想定しているためです。

実際の決算は黒字にする必要があることから、基金の繰り入れやその他の事業にも市債を借入れること等により財源を確保しています。

※表2、47行の決算と、表3、51行の基金繰入金の和は、その年度の形式収支と一致します（一部端数調整による誤差あり）。

(表3について)

表3は、基金繰入金の額と、臨時財政対策債を除く市債の借入額です。これらの金額の合計の55行は、当初計画の財源不足額である表2、46行より多くなっています。

この要因としては、当初計画より事業費が上振れした事業（第一調理場建替移転事業等）があることや、第四次長期総合計画で計画していなかった事業（上平尾消防出張所開設等）を実施したこと等が挙げられます。

(表4について)

表4は、基金現在高と市債現在高になります。右端の「参考22年度」は、第四次長期総合計画開始時点の数値を示します。

23～30年度の事業実施に伴い、58行の基金現在高は50億3900万円の減、59行の市債現在高は72億7700万円の増となっています。

表1 歳入（一般財源）決算額推移

(億円)

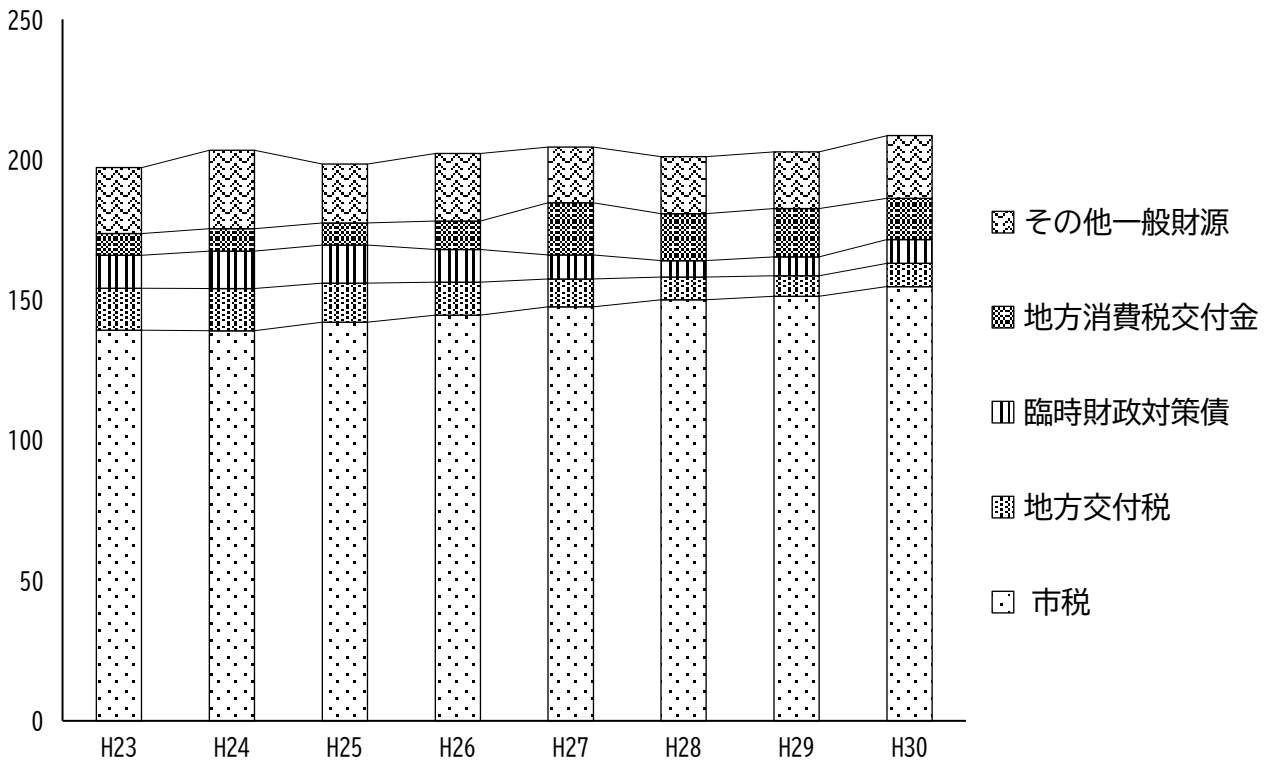
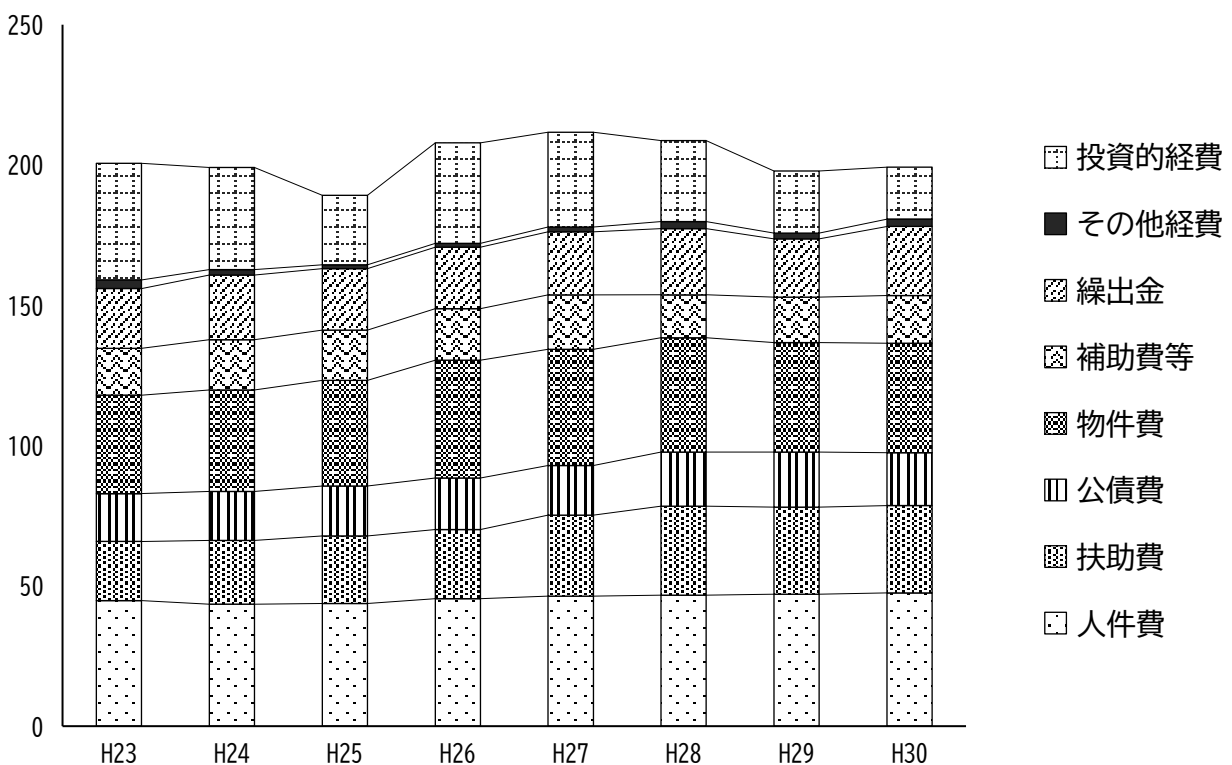


表2 歳出（一般財源充当）決算額推移

(億円)



(総括)

第四次長期総合計画期間は、増加する人口に対応するインフラ整備等により多額の財源不足が想定される中で、基金や市債を活用し着実な事業進捗を図るとともに、新たな行政需要に対応するため、計画外の事業でも必要に応じて実施してきたところです。

この結果、市税収入等が増加し、財政基盤は安定してきていますが、基金現在高が減少するとともに、市債現在高の増に伴い、公債費が増加しています。

今後は、第四次長期総合計画期間中の成果を持続可能なものとするため、一層の行財政改革に努め、引き続き健全財政を維持してまいります。

### 3. 施策の体系

1	だれもが健康で安心してともに暮らせるまちづくり
	(1) 健康の保持・増進と医療の充実
	① 健康づくりの推進 ② 医療体制の充実
	(2) 社会福祉の充実
	① 地域福祉の推進 ② 高齢者福祉の充実 ③ 障害者（児）福祉の充実 ④ 子育て支援の充実 ⑤ ひとり親家庭への支援 ⑥ 低所得者などへの支援
	(3) 社会保険制度の推進
	① 医療保険制度や年金制度の推進 ② 介護保険制度の推進
2	人と文化を育むふれあいのあるまちづくり
	(1) 生きぬく力の育成
	① 幼児期の教育の振興 ② 義務教育の充実 ③ 青少年の健全育成
	(2) 生涯学習の推進
	① 生涯にわたる学習・文化・芸術活動などの振興 ② 社会教育の充実 ③ 文化財の保存と活用 ④ スポーツ・レクリエーション活動の振興
3	だれもが心豊かに暮らせる平和で安全なまちづくり
	(1) 地域で育む共生意識と活気あふれる地域交流
	① 人権の尊重 ② 平和で友愛に満ちた社会の推進 ③ 男女共同参画社会の推進
	(2) コミュニティの充実と交流の推進
	① コミュニティの育成支援 ② 市域を越えた交流の推進
	(3) 安全安心なまちづくり
	① 防災対策の推進 ② 地域ぐるみの防犯活動 ③ 消防体制の充実 ④ 救急体制の充実

4	環境にやさしく活力あふれるまちづくり
	(1) 快適な環境への改善と保全の推進
	① 環境負荷低減の推進 ② 循環型社会づくり ③ 快適な生活環境の確保と清潔なまちづくり
	(2) 産業の振興
	① 都市農業の振興 ② 地域社会との共生をめざす製造業・情報通信業などの工業の育成 ③ 市民生活を豊かにする商業の活性化 ④ まちの賑わいの創出 ⑤ 観光・スポーツ・レクリエーションを通じたまちの活性化
	(3) 安定した消費生活の推進
	① 市民の消費生活に関する意識啓発 ② 市民の消費生活環境に対する意識啓発の推進

5	水と緑につつまれたやすらぎのあるまちづくり
	(1) 安心して暮らせるまちづくり
	① 計画的な土地利用の推進 ② 市街地の整備 ③ 充実した道路網の整備 ④ 河川・水路の整備
	(2) 安全で快適なまちづくり
	① 鉄道・バス交通の充実 ② 交通安全の推進 ③ 下水道の整備 ④ 住宅環境の向上
	(3) 豊かな水と緑のあるまちづくり
	① 緑を守り育てる ② 楽しく魅力ある公園づくり ③ 水と緑のネットワークづくり ④ まちなみ景観の形成

6	市民とともに歩むまちづくり
	(1) 市民参加の拡充
	① 市民協働の推進 ② 行政情報の透明化
	(2) 行政サービス向上のための行財政
	① 健全な行財政運営 ② 自治体間の連携推進 ③ 適正な人事管理 ④ 情報通信技術の活用

## 4. 主な事務事業等の実施状況

### 【主な事務事業等の実施状況一覧】

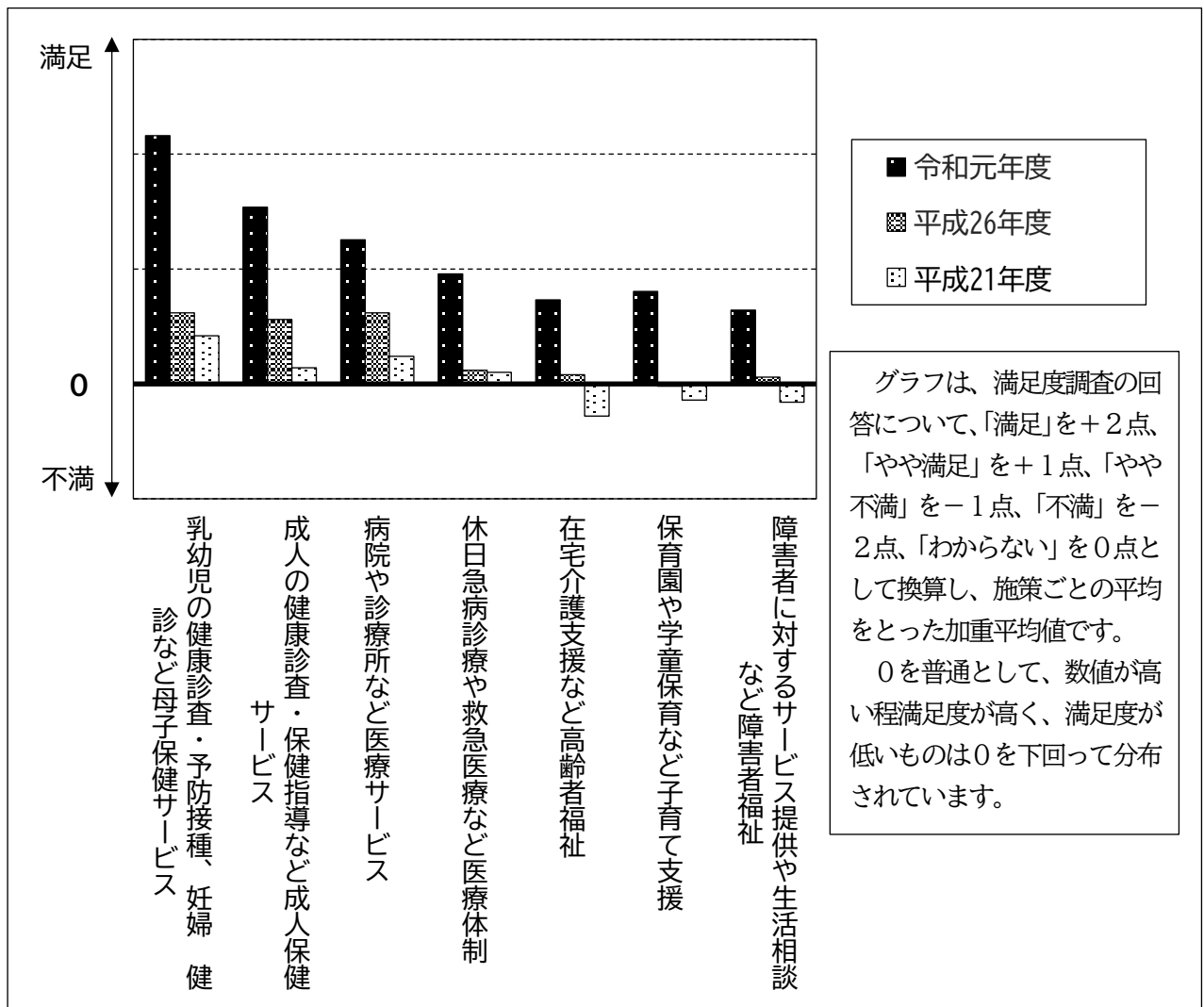
平成 30 年度末実績から見込んだ計画期間満了時の実施状況

第 1 章 だれもが健康で安心してともに暮らせるまちづくり～保健・医療・福祉		
第 1 節 健康の保持・増進と医療の充実		
1 健康づくりの推進		
乳幼児等健康診査事業		実施継続中
健康づくり推進事業		実施継続中
健康プラザ及び市立病院健診・外来棟建設事業		完了
国民健康保険特定健診・特定保健指導の実施		実施継続中
感染症予防事業		実施継続中
2 医療体制の充実		
休日急病診療事業		実施継続中
稲城市医療計画等策定事業		完了
地域医療連携システムの構築事業		実施継続中
第 2 節 社会福祉の充実		
1 地域福祉の推進		
稲城市保健福祉総合計画の策定		完了
稲城市社会福祉協議会運営費補助事業		実施継続中
成年後見制度等利用者支援事業・権利擁護センター事業		実施継続中
2 高齢者福祉の充実		
老人福祉施設整備事業		完了
介護予防・地域支え合い事業		実施継続中
在宅高齢者支援事業		実施継続中
地域包括ケアシステムの構築		実施継続中
みどりクラブ等関係事業		実施継続中
シルバー人材センター運営費補助事業		実施継続中
3 障害者（児）福祉の充実		
自立支援給付等事業及び地域生活支援事業		実施継続中
就労支援センター事業		実施継続中
発達支援センター事業		実施継続中
4 子育て支援の充実		
保育所等運営委託事業		実施継続中
延長保育事業		実施継続中
休日保育の実施		実施継続中
保育所等の施設整備事業		完了
城山保育園南山及び本郷ゆうし保育園関係経費		
認証保育所運営等・家庭福祉員運営事業		実施継続中
家庭福祉員の充実		
認定こども園の充実		完了
児童館・学童クラブ施設整備事業		実施継続中
学童クラブ・児童館の民営化		
放課後子ども教室事業		実施継続中

子育て支援事業	実施継続中
子ども家庭支援センター本郷分室運営経費	実施継続中
子育て世帯臨時特例給付金支給事業	完了
5 ひとり親家庭への支援	
母子父子関係事業	実施継続中
6 低所得者などへの支援	
臨時福祉給付金支給事業	完了
生活困窮者自立相談支援等事業	実施継続中
第3節 社会保険制度の推進	
1 医療保険制度や年金制度の推進	
2 介護保険制度の推進	
稲城市介護保険事業計画の策定	実施継続中
地域支援事業	実施継続中

## 《効果指標～令和元年市民意識調査結果》

### 保健・医療・福祉の満足度



保健・医療・福祉の分野についての満足度については、不満に寄っている項目はなく、10年前、5年前と比してすべての項目で満足度が向上しています。特に母子保健サービスについての満足が大きく向上し、満足度が高くなっています。

第2章 人と文化を育むふれあいのあるまちづくり～教育・生涯学習

第1節 生きぬく力の育成

1 幼児期の教育の振興

私立幼稚園等園児保護者負担軽減補助金 私立幼稚園就園奨励費補助金	実施継続中
私立幼稚園協会補助金（特別支援教育事業に係る補助金）の増額	完了

2 義務教育の充実

小中学校大規模改修等事業（一小、二小、七小、一中、三中）	完了
（仮称）南山小学校建設事業	完了
小中学校施設整備事業 小中学校水道直結事業 小中学校高天井照明器具等落下防止事業 小中学校空調設備設置工事	実施継続中
学校図書館の充実	実施継続中
特別支援教育・教育相談事業の充実 特別支援教室の導入	実施継続中
学校給食共同調理場整備事業	完了予定
オリンピック・パラリンピック教育推進校交付金の充実	実施継続中

3 青少年の健全育成

稲城ふれあいの森事業	実施継続中
------------	-------

第2節 生涯学習の推進

1 生涯にわたる学習・文化・芸術活動などの振興

第三次稲城市生涯学習推進計画の策定	完了
いなぎICカレッジの充実	実施継続中
ふれんど平尾改修工事	完了

2 社会教育の充実

大規模改修事業（第二文化センター等）	完了
稲城市子ども読書活動推進計画の推進	実施継続中

3 文化財の保存と活用

各分野の文化財調査の実施、文化財の把握	実施継続中
郷土資料室の整備	実施継続中

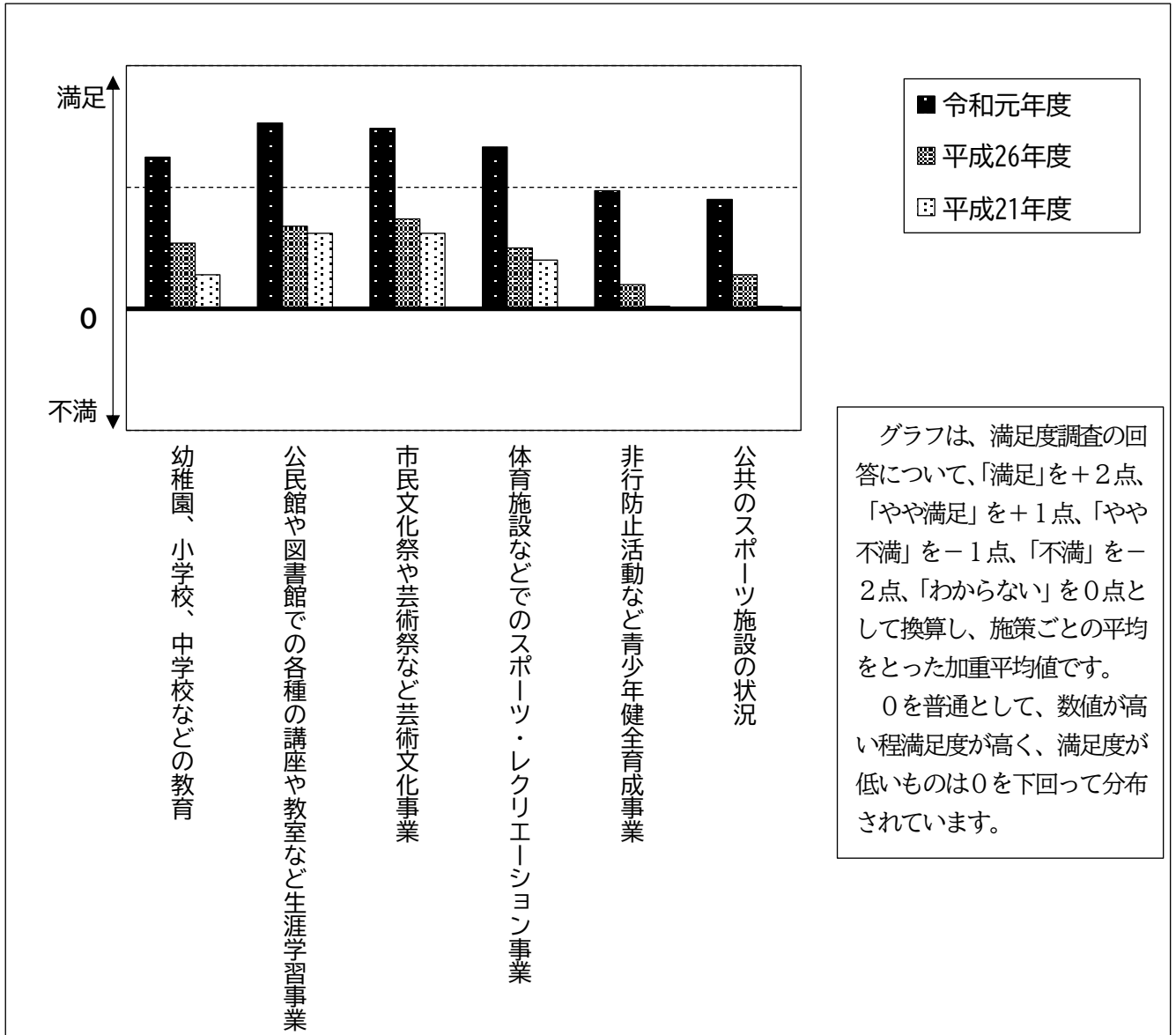
4 スポーツ・レクリエーション活動の振興

中央公園体育施設の大規模改修事業	実施継続中
スポーツ施設予約システムの導入	完了
稲城市生涯スポーツ振興計画の策定	完了
稲城長峰スポーツ広場建設事業	完了
若葉台公園多目的広場グラウンド整備工事	完了
南多摩スポーツ広場多目的広場整備費負担金	完了
東京2020オリンピック・パラリンピック気運醸成事業	実施継続中



# 《効果指標～令和元年市民意識調査結果》

## 教育・文化の満足度



教育・文化の分野についての満足度については不満に寄っている項目はなく、10年前、5年前と比べて、すべての項目で満足度が向上しています。

### 第3章 だれもが心豊かに暮らせる平和で安全なまちづくり～人権・コミュニティ・安全安心

#### 第1節 地域で育む共生意識と活気あふれる地域交流

##### 1 人権の尊重

人権問題啓発事業	実施継続中
----------	-------

##### 2 平和で友愛に満ちた社会の推進

平和意識啓発事業	実施継続中
----------	-------

##### 3 男女共同参画社会の推進

第四次男女共同参画計画の策定(第四次男女平等推進いなぎプラン)	完了
---------------------------------	----

配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援に関する基本計画の策定	完了
--------------------------------	----

#### 第2節 コミュニティの充実と交流の推進

##### 1 コミュニティの育成支援

自治会集会施設建設費補助	実施継続中
--------------	-------

J R 南武線高架下自治会集会施設新築工事	完了予定
-----------------------	------

自治会新規設立支援	実施継続中
-----------	-------

地域コミュニティ活性化事業	実施継続中
---------------	-------

(仮称) 長峰コミュニティ施設運営事業	実施継続中
---------------------	-------

##### 2 市域を越えた交流の推進

外国人が地域行事等へ参加しやすい環境の整備	実施継続中
-----------------------	-------

友好都市提携検討市民会議	実施継続中
--------------	-------

姉妹都市・友好都市交流事業等の充実	実施継続中
-------------------	-------

海外姉妹都市提携検討市民会議	完了
----------------	----

#### 第3節 安全安心なまちづくり

##### 1 防災対策の推進

稲城市地域防災計画の改定	実施継続中
--------------	-------

防災行政無線デジタル化及び防火水槽整備事業	完了
-----------------------	----

耐震改修補助事業	実施継続中
----------	-------

防災訓練	実施継続中
------	-------

災害時生活用水井戸の整備	完了
--------------	----

稲城長峰スポーツ広場内防災倉庫新築工事	完了
---------------------	----

避難施設へのWi-Fi整備事業	完了予定
-----------------	------

##### 2 地域ぐるみの防犯活動

市内一斉防犯パトロール	実施継続中
-------------	-------

##### 3 消防体制の充実

消防団第二分団拠点施設整備事業	完了
-----------------	----

消防ポンプ自動車等整備事業	完了
---------------	----

消防緊急指令施設及び消防無線デジタル整備事業	完了
------------------------	----

第三次稲城市消防基本計画の策定	完了
-----------------	----

消防出張所整備事業	完了
-----------	----

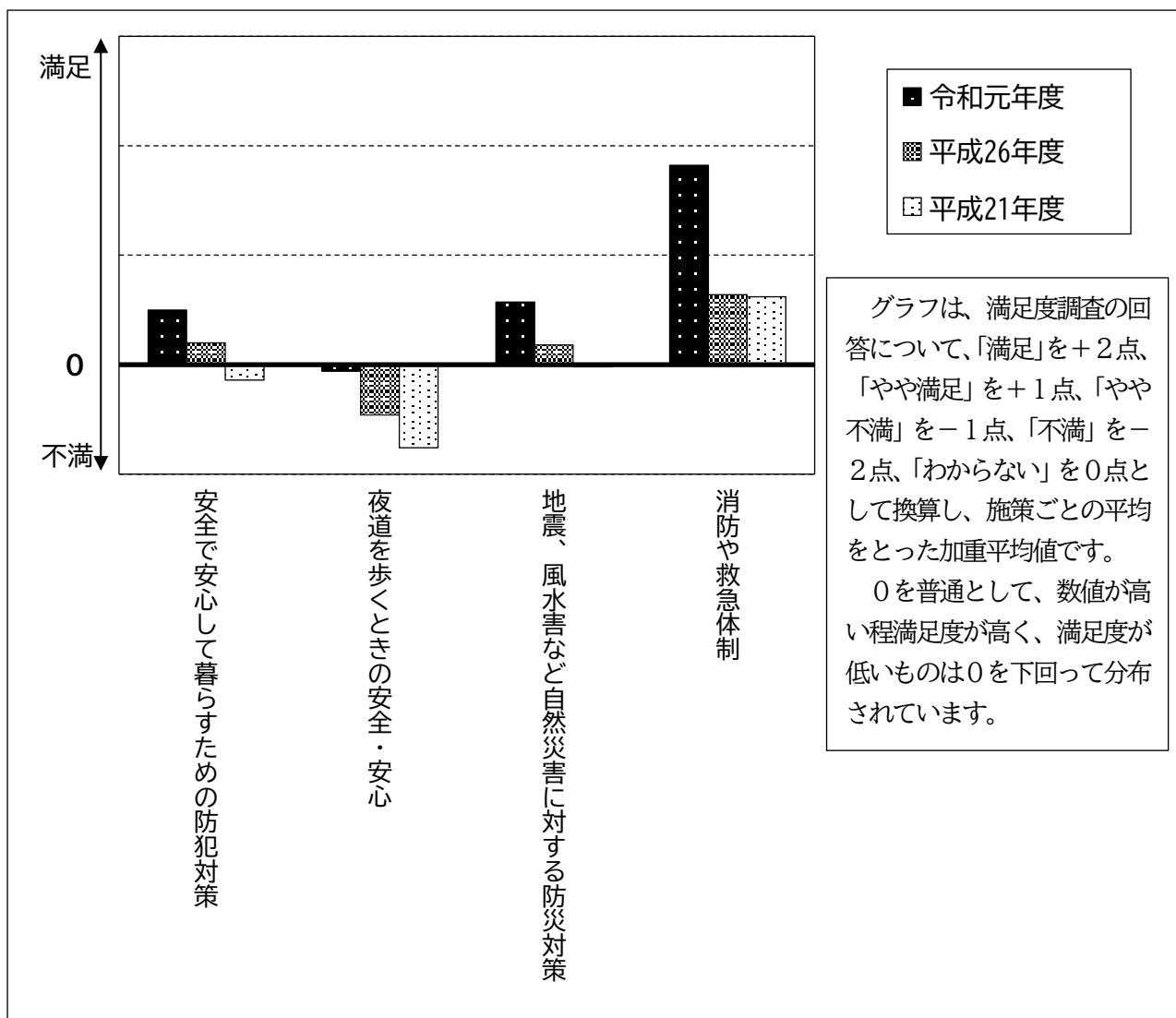
長峰コミュニティ防災センター増築工事	完了
--------------------	----

##### 4 救急体制の充実

救急業務高度化資機材整備事業	完了予定
----------------	------

## 《効果指標～令和元年市民意識調査結果》

### 防犯・防災の満足度



防犯・防災の分野についての満足度については、10年前、5年前と比して、すべての項目で満足度が向上しているものの、「夜道を歩くときの安全・安心」の項目においては、わずかに不満に寄っています。また、「安全で安心して暮らすための防犯対策」の項目についてはやや満足に寄っているものの、安全や防犯については満足度が高いとは言えない結果となっています。対して「消防や救急体制」の項目については、満足度が大きく向上し、高い結果となっています。

## 第4章 環境にやさしく活力あふれるまちづくり～環境・産業

### 第1節 快適な環境への改善と保全の推進

#### 1 環境負荷低減の推進

第二次稲城市環境基本計画の策定	完了
環境保全等推進事業	実施継続中

#### 2 循環型社会づくり

ごみ減量再資源化推進事業	実施継続中
第二次稲城市一般廃棄物処理基本計画の策定	完了

#### 3 快適な生活環境の確保と清潔なまちづくり

路上喫煙の制限に関する経費	実施継続中
生物多様性の確保	実施継続中

### 第2節 産業の振興

#### 1 都市農業の振興

認定農業者経営改善支援事業	実施継続中
防薬対策事業	実施継続中
農業体験農園開設等支援事業	実施継続中

#### 2 地域社会との共生をめざす製造業・情報通信事業などの工業の育成

#### 3 市民生活を豊かにする商業の活性化

商工会支援事業	実施継続中
稲城市商業活性化プランの推進と策定	実施継続中

#### 4 まちの賑わいの創出

新規創業等支援（小口事業資金融資あっせん事業）	実施継続中
-------------------------	-------

#### 5 観光・スポーツ・レクリエーションを通じたまちの活性化

観光推進事業	実施継続中
観光発信拠点整備事業	完了
「いなぎWi-Fi」整備プロジェクト	実施継続中
（仮称）稲城市観光協会の設立	完了

### 第3節 安定した消費生活の推進

#### 1 市民の消費生活に関する意識啓発

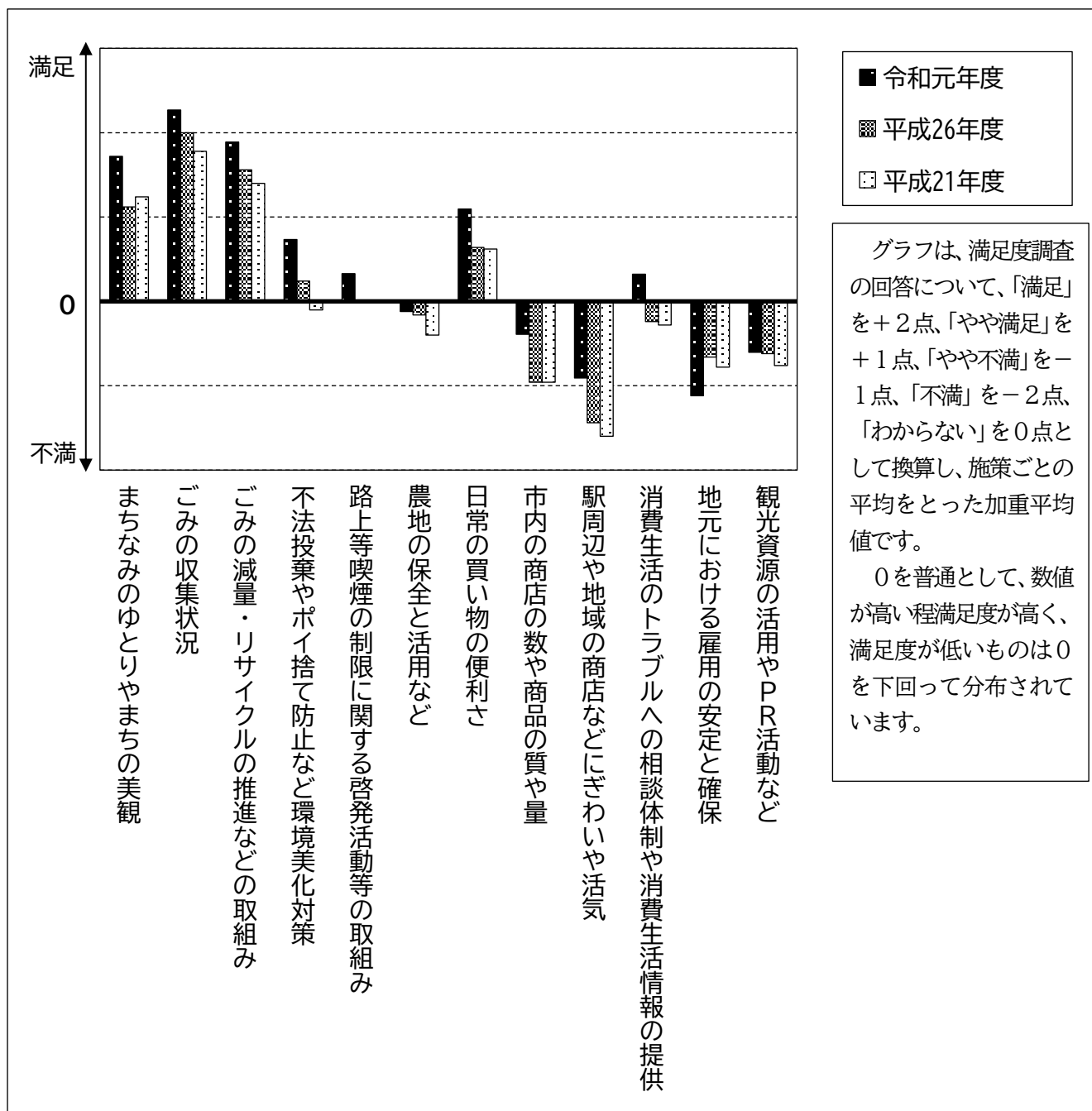
消費者ルーム運営事業 稲城市消費生活センターの充実	実施継続中
------------------------------	-------

#### 2 市民の消費生活環境に対する意識啓発の推進

くらしフェスタ事業	実施継続中
-----------	-------

## 《効果指標～令和元年市民意識調査結果》

### 生活環境・農林業・商工業・観光の満足度



グラフは、満足度調査の回答について、「満足」を+2点、「やや満足」を+1点、「やや不満」を-1点、「不満」を-2点、「わからない」を0点として換算し、施策ごとの平均をとった加重平均値です。

0を普通として、数値が高い程満足度が高く、満足度が低いものは0を下回って分布されています。

生活環境・農林業・商工業・観光の満足度については、多くの項目で10年前、5年前と比して向上しているものの、「地元における雇用の安定と確保」においては低下しています。また、「農地の保全と活用など」と「観光資源の活用やPR活動など」の2項目については満足度の向上が見られず、依然として不満に寄った結果となっています。「市内の商店の数や商品の質や量」「駅周辺や地域の商店などにぎわいや活気」の項目も、不満に寄った結果となっています。

生活環境の中でもゴミに関する項目についての満足度は高い傾向にありますが、農業・商業・観光についての満足度は低い傾向にあるのが見て取れます。

## 第5章 水と緑につつまれたやすらぎのあるまちづくり～都市基盤整備

### 第1節 安心して暮らせるまちづくり

#### 1 計画的な土地利用の推進

稲城市都市計画マスタープランの改定	実施継続中
用途地域等の変更	実施継続中
地区計画区域の指定	実施継続中

#### 2 市街地の整備

榎戸土地区画整理事業	実施継続中
矢野口駅周辺土地区画整理事業	実施継続中
稲城長沼駅周辺土地区画整理事業	実施継続中
南多摩駅周辺土地区画整理事業	実施継続中
南山東部土地区画整理事業	実施継続中
上平尾土地区画整理事業	完了
小田良土地区画整理事業	完了予定

#### 3 充実した道路網の整備

主要幹線道路の整備事業	実施継続中
生活道路の整備事業	実施継続中
道路・橋梁の維持管理事業	実施継続中

#### 4 河川・水路の整備

多摩川スーパー堤防事業	事業見直し
水路整備事業	実施継続中

### 第2節 安全で快適なまちづくり

#### 1 鉄道・バス交通の充実

J R南武線連続立体交差事業	完了
JR南武線高架下横断道路整備事業	完了予定
i バスの運行事業	実施継続中

#### 2 交通安全の推進

稲城市交通安全計画の策定	完了
道路照明整備事業	実施継続中
有料自転車等駐車場整備事業	完了

#### 3 下水道の整備

汚水排水整備事業	実施継続中
下水道維持管理計画の策定	実施予定
下水道施設耐震化計画の策定	完了
雨水排水整備計画の策定及び雨水排水整備事業	実施継続中
下水道事業における地方公営企業法の適用 稲城市下水道事業固定資産調査及び評価等業務 稲城市下水道事業地方公営企業会計移行支援事業	完了予定

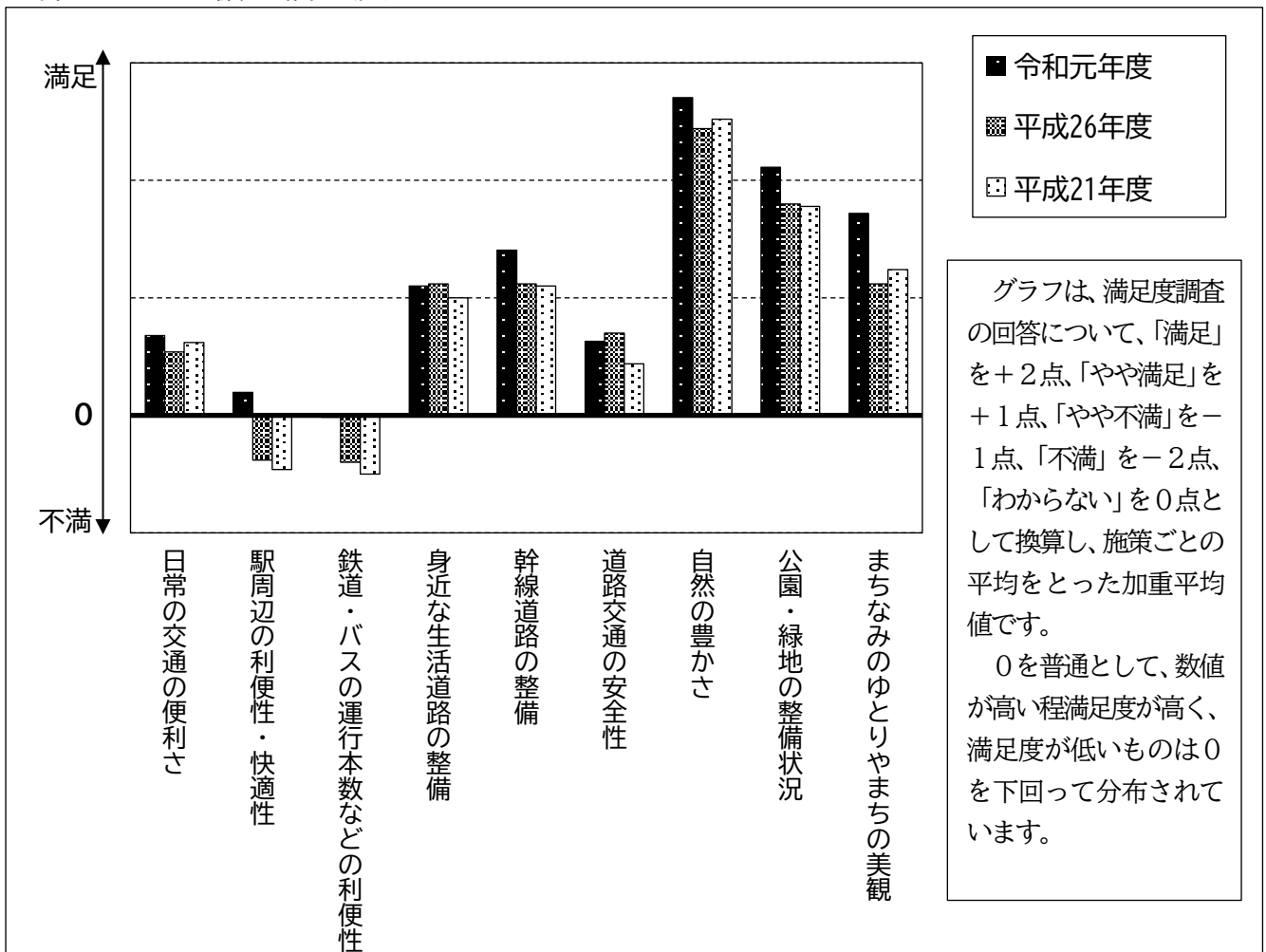
#### 4 住宅環境の向上

稲城市住宅マスタープランの改定	完了
町界町名地番整理 住所整理事業	事業見直し 実施継続中
団地再生の支援	実施継続中

第3節 豊かな水と緑のあるまちづくり		
1	緑を守り育てる	
	稲城市緑の基本計画の改定	完了
	自然環境保全地域の指定・拡充	実施継続中
2	楽しく魅力ある公園づくり	
	公園整備事業	実施継続中
3	水と緑のネットワークづくり	
	水と緑の歩行者空間ネットワークの策定	完了
	散策路の整備事業	実施継続中
	多摩川サイクリングロード整備事業	完了
4	まちなみ景観の形成	
	都市計画道路の無電柱化	実施継続中
	公共サイン計画の策定	完了

### 《効果指標～令和元年市民意識調査結果》

#### 都市基盤整備の満足度

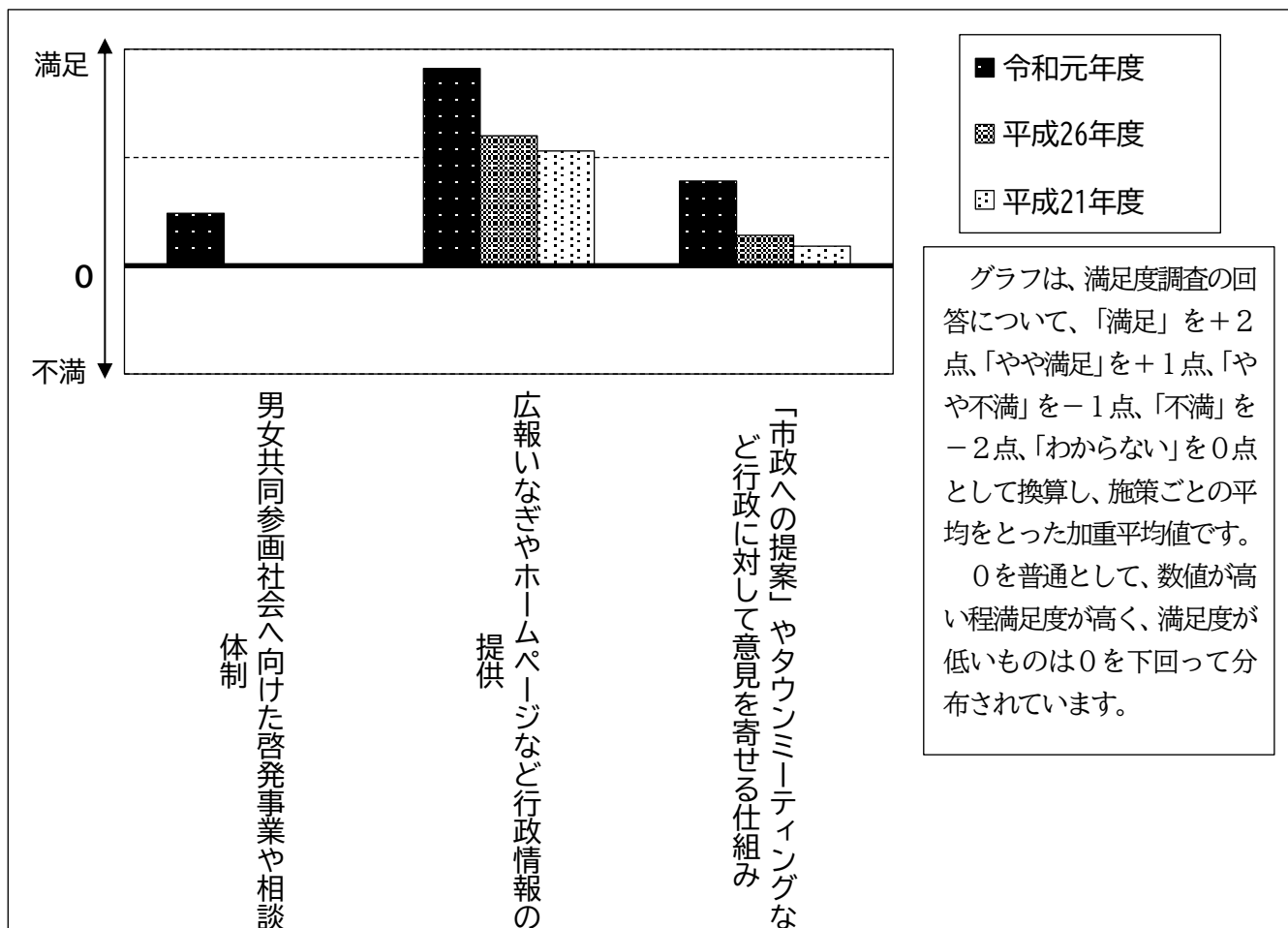


都市基盤整備の満足については、10年前、5年前と比して多少向上している項目もあるものの、概ね傾向は同じ結果となっています。「自然の豊かさ」の満足が非常に高い一方、「駅周辺の利便性・快適性」や「鉄道・バスの運行本数などの利便性」といった項目は低い傾向となっています。

第6章 市民とともに歩むまちづくり～市民参加・行財政運営

第1節 市民参加の拡充		
1	市民協働の推進	
2	行政情報の透明化	
	ホームページ多言語化の充実	完了
第2節 行政サービス向上のための行財政		
1	健全な行財政運営	
	市庁舎空調機器改修	完了予定
	(仮称)稲城市教育審議会	事業見直し
	庁舎駐車場整備運営事業	完了予定
2	自治体間の連携推進	
	霊園・メモリアルホール整備事業	完了
3	適正な人事管理	
4	情報通信技術の活用	
	住民情報システム等の再構築	実施継続中
	社会保障・税番号制度に伴う個人番号カード交付関係事務	実施継続中
	証明書等のコンビニ交付サービスの導入	実施継続中

《効果指標～令和元年市民意識調査結果》  
 市政運営の満足度

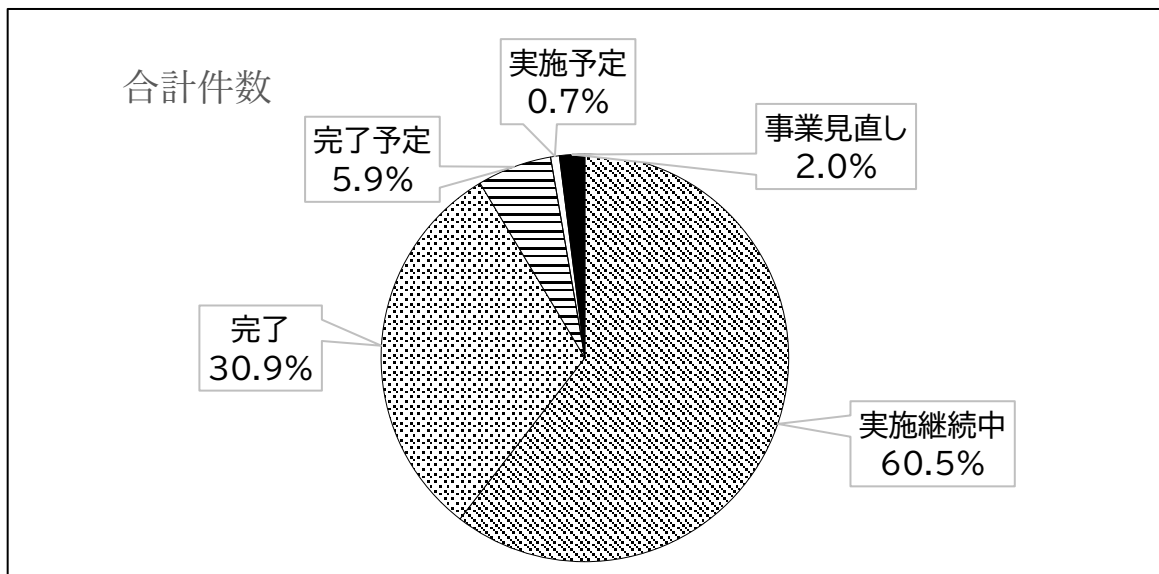


市制運営の満足度については、10年前、5年前と比して向上しています。



## 【主な事務事業等の実施状況のまとめ】

	事業数	実施継続中	完了	完了予定	実施予定	事業見直し
第1章 だれもが健康で安心してともに暮らせるまちづくり～保健・医療・福祉	36	28	8			
第2章 人と文化を育むふれあいのあるまちづくり～教育・生涯学習	24	12	11	1		
第3章 だれもが心豊かに暮らせる平和で安全なまちづくり～人権・コミュニティ・安全安心	27	12	12	3		
第4章 環境にやさしく活力あふれるまちづくり～環境・産業	18	14	4			
第5章 水と緑につつまれたやすらぎのあるまちづくり～都市基盤整備	39	23	10	3	1	2
第6章 市民とともに歩むまちづくり～市民参加・行財政運営	8	3	2	2		1
合計件数	152	92	47	9	1	3



主な事務事業として当初から挙げられていた事業と、期間中に新規に実施することとなった事業とを併せて152事業を挙げています。計画期間をあと2年残した平成30年度末の段階で、完了しているのは47事業、事業を実施し継続しているのは全体の約3分の2にあたる92事業。これから実施予定となっている事業は1事業、見直しとなった事業は3事業となっています。

平成30年度末時点における実施継続中及び完了事業は全体の91.4%、これに完了予定及び実施予定事業を加えると98.0%となり、主な事務事業については、順調に実施できていると言えます。

また、実施予定の事業は「下水道維持管理計画の策定」で、残期間に着手することが予定されています。

事業見直し3事業のうち、「多摩川スーパー堤防事業」、「(仮称)教育審議会」は、国の事業見直し等によるものであり、「町界町名地番整理事業」は、「住所整理事業」に統合されたものです。

## 【事業別実施状況】

### 第1章 だれもが健康で安心してともに暮らせるまちづくり

#### 第1節 健康の保持・増進と医療の充実

##### 1 健康づくりの推進

- (1)健康づくりの推進
- (2)健康施設の活用
- (3)生活習慣病の予防促進
- (4)感染症対策への取組み

#### 乳幼児等健康診査事業・・・実施継続中

乳幼児の疾病・障害の早期発見、幼児の虫歯予防・口腔衛生の向上等により、健康の保持・増進を図るため、各種健診を実施した。

#### 【乳幼児健診（実施回数・受診者数）】

年度	3～4か月児健診		1歳6か月児健診		3歳児健診	
23年度	24回	764人	24回	868人	24回	866人
24年度	24回	748人	24回	781人	24回	876人
25年度	24回	817人	24回	759人	24回	843人
26年度	24回	718人	24回	818人	24回	784人
27年度	24回	763人	24回	772人	24回	817人
28年度	24回	836人	24回	828人	24回	849人
29年度	24回	784人	24回	860人	24回	895人
30年度	24回	746人	24回	823人	24回	864人

#### 【乳幼児等歯科健診（実施回数・受診者数）】

年度	1歳児歯科健診		2歳児歯科健診		2歳6か月児歯科健診	
23年度	24回	721人	12回	313人	12回	212人
24年度	24回	663人	12回	291人	12回	219人
25年度	24回	677人	12回	314人	12回	199人
26年度	24回	645人	12回	368人	12回	231人
27年度	24回	736人	12回	372人	12回	264人
28年度	24回	728人	12回	446人	12回	281人
29年度	24回	774人	12回	431人	12回	287人
30年度	24回	688人	12回	422人	12回	292人

#### 【親子はみがき教室（実施回数・受診者数）】

年度	親子はみがき教室	
23年度	10回	140人
24年度	10回	142人
25年度	10回	183人

26年度	10回	142人
27年度	10回	155人
28年度	10回	195人
29年度	10回	150人
30年度	10回	164人

健康づくり推進事業・・・実施継続中

健康増進法に基づく健康増進事業の一環として、市民一人ひとりの自己による健康管理の意識の向上を図り、健康寿命の延伸に資する事業を実施した。

年度	無保険者健診	心電図検査	腎機能検査 (クレアチニン)	尿酸検査	胃がん検診
23年度	166人	10,029人	10,128人	-	664人
24年度	167人	10,630人	10,720人	10,717人	742人
25年度	190人	12,025人	12,109人	12,104人	695人
26年度	212人	11,639人	11,766人	11,755人	692人
27年度	199人	11,810人	11,952人	11,947人	661人
28年度	220人	11,339人	12,014人	12,014人	578人
29年度	233人	11,542人	11,655人	11,653人	566人
30年度	223人	11,463人	11,547人	11,551人	487人

年度	子宮頸がん検診	乳がん検診	大腸がん検診	肺がん検診	骨粗しょう症検診
23年度	1,147人	1,244人	5,848人	-	92人
24年度	1,293人	1,333人	6,196人	-	118人
25年度	1,309人	1,385人	7,192人	421人	120人
26年度	631人	794人	7,012人	326人	97人
27年度	789人	1,307人	7,483人	356人	114人
28年度	892人	1,373人	7,398人	333人	97人
29年度	879人	1,302人	7,353人	382人	85人
30年度	878人	1,345人	7,553人	396人	75人

年度	歯周疾患検診	肝炎ウイルス検診
23年度	492人	1,521人
24年度	537人	1,330人
25年度	560人	381人
26年度	598人	468人
27年度	577人	477人
28年度	567人	425人
29年度	669人	324人
30年度	708人	377人

### 健康プラザ及び市立病院健診・外来棟建設事業・・・完了

健康増進のまちづくりを目指して健康プラザ 及び 健診・外来棟の建設を行い、室内温水プールを中心とした市民の「からだ」と「こころ」の健康増進につながる場づくりと、市立病院の健診部門、及び狭隘となっている本院外来の受診環境の充実を図ること、また放射線照射装置リニアックの導入や、化学療法室の拡充によるがん治療などの医療機能の強化を目的に、稲城市立病院健診外来棟を建設した。

平成 24 年 2 月に竣工し、生活習慣病の予防・改善に寄与するメニュー、健康プラザと健診センター・市立病院とが連携し、市民ニーズに沿った健康づくりメニューを提供している。

また、健康プラザではCO<sub>2</sub>の削減のため、太陽光発電の導入やクリーンセンター多摩川の余熱利用に努めている。

平成 25 年度よりネーミングライツを導入し、施設名を「オーエンス健康プラザ」としている。

構造：地上 2、地下 1 階

鉄筋コンクリート造（耐震構造）

延べ床面積 3,213 m<sup>2</sup>

機能：地下：放射線治療室・リニアック室

1 階：健診センター

2 階：泌尿器科・化学療法室・点滴室・院内保育室等

環境に配慮した施設

・太陽光パネル設置 発電量 25 k w

・屋上緑化 約 400 m<sup>2</sup>

・多摩川衛生組合における、焼却する際に発生する余熱をサーマルリカバリーとして、健診・外来棟の空調等で活用

### 国民健康保険特定健診・特定保健指導の実施・・・実施継続中

生活習慣病の有病者・予備軍を減少させるため、特定健診を実施し、生活習慣を改善するための保健指導を行った。

#### 【特定健診】

年度	対象者数	受診者数	受診率
23年度	13,048人	6,021人	46.1%
24年度	13,088人	6,199人	47.4%
25年度	13,113人	7,213人	55.0%
26年度	13,033人	7,114人	54.6%

27年度	12,751人	7,187人	56.4%
28年度	12,320人	6,819人	55.3%
29年度	11,861人	6,496人	54.8%
30年度	11,526人	6,218人	53.9%

#### 【特定保健指導】

年度	動機付け支援			積極的支援			合計		
	支援該当者数	利用者数	実施率	支援該当者数	利用者数	実施率	支援該当者数	利用者数	実施率
23年度	518人	156人	30.1%	187人	38人	20.3%	705人	194人	27.5%
24年度	503人	116人	23.1%	187人	33人	17.6%	690人	149人	21.6%
25年度	630人	252人	40.0%	248人	57人	23.0%	878人	309人	35.2%
26年度	602人	131人	21.8%	210人	37人	17.6%	812人	168人	20.7%
27年度	581人	91人	15.7%	233人	20人	8.6%	814人	111人	13.6%
28年度	617人	130人	21.1%	203人	23人	11.3%	820人	153人	18.7%
29年度	569人	52人	9.1%	206人	17人	8.3%	775人	69人	8.9%
30年度	570人	137人	24.0%	205人	29人	14.1%	775人	166人	21.4%

#### 感染症予防事業・・・実施継続中

新型インフルエンザ等の発生・流行が危惧された感染症について、感染症発生による対応実績なし。

また、いまだ流行が懸念される結核への対策として、40歳以上の市民を対象に結核健診を実施した。

#### 【結核検診】

年度	受診人数
23年度	9,698人
24年度	10,506人
25年度	11,832人
26年度	11,484人
27年度	11,685人
28年度	11,760人
29年度	11,425人
30年度	11,340人

## 2 医療体制の充実

- (1)保健・医療・福祉の連携強化
- (2)包括的な医療体制などの確立
- (3)救急医療体制の充実

#### (4)救急情報の提供

##### 休日急病診療事業・・・実施継続中

日曜日、祝祭日、年末年始の急病者の診療施設を確保するため、(一社)稲城市医師会に委託し、初療施設として市内医療機関は午前9時から午後5時まで診療を実施した。

また、初療施設では治療できない場合に備え、入院施設として稲城市立病院に3床のベッドを確保して診療を実施した。

##### 【休日急病診療事業（実施回数・年間受診者数・委託医療機関数）】

年度	初療			入院（稲城市立病院）	
	回数	人数	カ所	回数	人数
23年度	71回	4,072人	22カ所	71回	403人
24年度	72回	4,386人	22カ所	72回	324人
25年度	71回	4,320人	22カ所	71回	398人
26年度	72回	4,533人	21カ所	72回	442人
27年度	72回	4,265人	22カ所	72回	446人
28年度	72回	4,543人	23カ所	72回	364人
29年度	72回	4,851人	23カ所	72回	370人
30年度	73回	4,274人	25カ所	73回	385人

##### 稲城市医療計画等策定事業・・・完了

稲城市における医療、在宅療養サービスを永続的かつ安定的に供給することを目的に稲城市医療計画を平成28年3月に策定した。(計画期間：平成28年度～令和7年度)

データ分析や市民及び市内医療機関へのアンケートなどを通じ、今後の市の地域医療における方向性や施策を検討・整理することにより、「2025年の稲城市の医療提供体制のあるべき姿」を示した。計画内に示した市の現状・課題・解決策について、東京都や医療機関に提言するなど、市民が将来に渡って安心して住み続けられるよう市の医療体制の構築を推進した。

##### 地域医療連携システムの構築事業・・・実施継続中

稲城市立病院を中核とした市内の「病・診連携」を実現するため、診療情報連携システムを構築した。連携医療機関からの診療・検査等の予約をシステム上で実施することにより効率化を図り、また、受入患者の診療情報のシステムを介した開示により、地域における連携医療推進体制を整備した。

また、市立病院の医療スタッフを充実し、救急搬送の受け入れと地域医療の連携を強化した。

	地域医療連携システムの構築	救急搬送受入	地域医療の連携強化
23年度	システム稼働		

	・稲城市医師会所属の40医療機関中12医療機関が参加表明、3診療所が接続		
24年度	登録医療機関7カ所		
25年度	登録医療機関9カ所		
26年度	登録医療機関11カ所		
27年度		専門医を必要とする救急患者の受け入れに対し、専門医へのオンコール体制を整備。	市内外の医療機関を医師及び地域連携担当連携スタッフで定期訪問、市立病院の医療体制について情報提供。 (訪問医療機関 20機関)
28年度		救急搬送受入年間2,707台 (応需率83.2%)	・市立病院にMSW1名、退院調整専従の看護師3名配置。入退院調整を強化。地域包括ケアシステムの実現に向けた取組み。 ・他の医療保健機関及び介護サービス事業所等との協議会を開催 ・市立病院の医師・看護師を講師に、他の機関のスタッフを対象とした医療器具の取り扱いの講座を開催。
29年度		救急搬送受入年間2,578台 (応需率80.2%)	
30年度		救急搬送受入年間2,457台 (応需率81.2%)	MSW1名増員 地域連携係体制を強化。

## 第2節 社会福祉の充実

### 1 地域福祉の推進

(1)福祉サービスの情報提供および相談体制の充実

(2)地域で支えあう体制の整備

(3)市民と行政とのパートナーシップの構築

#### 稲城市保健福祉総合計画の策定・・・完了

平成24年3月に策定した第二次稲城市保健福祉総合計画の満了に伴い、引き続き社会福祉基礎構造改革等の社会状況の変化、保健福祉行政の直面する課題等に対応するため、平成30年3月に第三次稲城市保健福祉総合計画を策定した。

策定に当たっては第三次稲城市保健福祉総合計画策定委員会を組織し、市民意識調査、市民意見公募及び市議会への報告の結果を反映した。

また、別途、稲城市保健福祉推進委員会を設置し、第二次及び第三次の稲城市保健福祉総合計画に計画された事業について、進捗状況の報告及び確認を行った。

稲城市社会福祉協議会運営費補助事業・・・実施継続中

社会福祉法人稲城市社会福祉協議会は、市民に密着した地域福祉サービスの企画、実施、支援又は援助、関係機関との連絡調整等を担う。そこで、同協議会に対し稲城市社会福祉協議会運営費補助金、ボランティアのまちづくり推進事業補助金及び住民参加型在宅福祉サービス供給組織整備補助金を交付し、さらに平成30年度からは地域福祉コーディネート事業補助金を交付し、より良い地域福祉の実現を図った。

成年後見制度等利用者支援事業・権利擁護センター事業・・・実施継続中

一般社団法人多摩南部成年後見センターの運営費を調布市、日野市、狛江市及び多摩市と共同して支弁し、成年後見制度の利用支援サービスを提供することにより、判断能力が十分でない市民等の日常生活の安定及び福祉の向上を図った。

また、社会福祉法人稲城市社会福祉協議会に委託して稲城市福祉権利擁護センター「あんしん・いなぎ」を開設し、福祉サービス利用者を総合的かつ一体的にサポートするための相談事業、苦情解決委員会、生活支援員による福祉サービス利用援助事業等を実施した。

## 2 高齢者福祉の充実

- (1)健康づくり・介護予防の推進
- (2)ひとり暮らし高齢者などへの見守り体制の確保
- (3)高齢者の生きがいづくりの支援

老人福祉施設整備事業・・・完了

高齢化の進行に対応するため、高齢者保健福祉計画や介護保険事業計画等に基づき、小規模多機能型居宅介護施設、認知症高齢者グループホーム生活支援サービス拠点等の施設整備を実施した。

【小規模多機能型居宅介護施設】(0カ所→4カ所)

年度	実施内容	施設数
23年度	地域密着型複合施設やのくち正吉苑が5月に開所した。	1カ所
26年度	6月、東長沼に施設が開所した。	2カ所
29年度	5月に平尾に看護小規模多機能型居宅介護及び定期巡回・随時対応型訪問介護看護が開所した。	3カ所
	9月、若葉台に施設が開所した。	4カ所



【認知症高齢者グループホーム】(1カ所→4カ所)

年度	実施内容	施設数
23年度	地域密着型複合施設やのくち正吉苑が5月に開所した。	2カ所
26年度	6月、東長沼に施設が開所した。	3カ所
29年度	9月に若葉台の施設が開所した。	4カ所

介護予防・地域支え合い事業・・・実施継続中

介護保険の適用にならない高齢者に対し、サービスの提供を行い、在宅生活を支援した。

【生活支援ホームヘルプサービス事業】

一時的傷病の際にホームヘルパーを派遣する生活支援ホームヘルプサービス事業を実施し、継続的に実績をあげた。

【高齢者住宅改修費等給付】

在宅生活が継続できるように、必要に応じて日常生活用具の給付や住宅の改修を行った。

在宅高齢者支援事業・・・実施継続中

高齢者の在宅での生活を支援するため、緊急通報システム事業、徘徊位置情報サービス事業等を実施した。

【平尾地区での在宅介護サービスの拠点となる高齢者住宅併用型介護施設の誘致】

平尾地区での在宅介護サービスの拠点となる高齢者住宅併用型介護施設を、平尾住宅污水处理施設跡地に誘致、自治会・市・J K K東京で構成される施設整備協議会で市民にとって有益な施設となるように協議し、平成29年5月に開所した。

地域包括ケアシステムの構築・・・実施継続中

高齢者が支え合い見守られながら地域で元気に過ごし、また医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供されることを目的に、地域包括ケアシステムの構築を推進した。

みどりクラブ等関係事業・・・実施継続中

高齢者の社会活動への参加を促進し、生きがいを持った社会生活を送ることができるよう、みどりクラブ等への補助・支援を行った。

また、稲城老人会館の運営を支援するため、補助金の交付を行った。

【単位みどりクラブ補助】

年度	補助金額
23年度	3,553,800円
24年度	3,569,000円
25年度	3,541,500円
26年度	3,537,300円
27年度	3,536,100円
28年度	3,540,000円
29年度	3,535,800円
30年度	3,536,100円

【みどりクラブ連合会補助】

年度	補助金額
23年度	340,854円
24年度	345,000円
25年度	338,107円
26年度	337,169円
27年度	336,901円
28年度	337,772円
29年度	416,834円
30年度	416,901円

【稲城老人会館運営費補助】

年度	補助金額
23年度	736,000円
24年度	2,224,000円
25年度	1,366,000円
26年度	1,271,000円
27年度	1,907,000円
28年度	1,284,000円
29年度	1,371,000円
30年度	736,000円

シルバー人材センター運営費補助事業・・・実施継続中

高齢者の社会活動への参加を促進し、高齢者の就業機会の確保を推進するため、公益社団法人稲城市シルバー人材センターへの補助を行った。

年度	補助金額
23年度	27,110,000円
24年度	30,029,000円
25年度	32,550,000円
26年度	33,334,000円

27年度	36,851,000円
28年度	33,570,871円
29年度	38,952,387円
30年度	34,740,936円

### 3 障害者（児）福祉の充実

- (1)新法（仮称：障害者総合福祉法）への対応
- (2)障害者（児）の地域生活の支援
- (3)障害者（児）の社会参加の促進
- (4)障害の理解と交流の促進

#### 自立支援給付等事業及び地域生活支援事業・・・実施継続中

障害者が地域で生活するために必要な支援を行った。また、グループホーム・ケアホームを誘致し、定員を増やした。

##### 【自立支援給付等事業】

障害者総合支援法（24年度までは障害者自立支援法）に基づき、介護給付・訓練等給付等の給付事業を行った。

##### 【地域生活支援事業】

障害者総合支援法（24年度までは障害者自立支援法）に基づき、日常生活用具給付・移動支援等の事業を行った。

#### 発達支援センター事業・・・実施継続中

平成25年4月にふれんど平尾内に稲城市発達支援センター「レスポーいなぎ」を開設。発達障害に関する相談に対応し、教育部門等との連携のもと、当事者やその家族についての専門的相談支援や、医療・保健等の関係機関との連絡調整等を実施した。

年度	登録者数	相談件数
25年度	59人	614件
26年度	128人	1,428件
27年度	197人	1,652件
28年度	289人	1,895件
29年度	374人	2,014件
30年度	448人	1,683件

#### 就労支援センター事業・・・実施継続中

障害者就労を促進・支援するため、平成20年度に稲城市障害者就労支援センターを開設。平成26年度には、就労希望者の積極的な掘り起こしや意識改革、障害者雇用に取り組む企業

等への支援の充実を図るため、「地域開拓促進コーディネーター」を配置した。

年度	新規就労	離職	就労者数
23年度	14人	10人	53人
24年度	20人	4人	69人
25年度	25人	3人	91人
26年度	31人	4人	118人
27年度	22人	3人	137人
28年度	36人	4人	169人
29年度	23人	12人	180人
30年度	32人	18人	194人

#### 4 子育て支援の充実

- (1)保育サービスの充実
- (2)保育施設などの充実
- (3)学童クラブ・児童館の整備
- (4)子ども家庭支援センターの充実
- (5)児童虐待の防止

##### 保育所等運営委託事業・・・実施継続中

待機児童を解消するため認可保育所を充実し、また、公立保育園の民営化を推進した。

年度	認可保育所		
	カ所数	市内総認可定員	
23年度	13カ所	1,531人	
25年度	13カ所	1,561人	松葉保育園 定員増
26年度	13カ所	1,581人	もみの木保育園長峰 定員増
27年度	14カ所	1,775人	本郷ゆうし保育園、城山保育園南山開設
30年度	15カ所	1,867人	メリーポピンズ稲城ルーム開設

(4月1日現在)

※本郷ゆうし保育園は、第二保育園の民営化。

※分園は本園と合わせて1施設として計上

##### 延長保育事業・・・実施継続中

保育ニーズの把握に努め、仕事と子育ての両立が出来る保育環境を整備するため、延長保育の実施を推進した。

(単位：カ所・人)

年度	私立		公立		合計	
	園数	延利用人数	園数	延利用人数	園数	延利用人数
23年度	8	データなし	5	データなし	13	データなし

24年度	8	41,010	5	13,001	13	54,011
25年度	8	33,235	5	13,514	13	46,749
26年度	8	34,388	5	14,308	13	48,696
27年度	10	42,059	4	10,925	14	52,984
28年度	10	43,900	4	9,450	14	53,350
29年度	10	40,572	4	9,570	14	50,142
30年度	11	43,333	4	10,296	15	53,629

### 休日保育の実施・・・実施継続中

需要の増加に伴い、平成27年度から休日保育を本郷ゆうし保育園で実施した。

年度	休日保育利用延人数
27年度	2人
28年度	8人
29年度	5人
30年度	0人

### 保育所等の施設整備事業

#### 城山保育園南山及び本郷ゆうし保育園関係経費・・・完了

平成27年4月1日に城山保育園南山及び本郷ゆうし保育園を開所するにあたり整備費を補助した。(本郷ゆうし保育園は第二保育園(認可定員96人)の建替え民営化)

平成31年4月1日に稲城矢野口雲母保育園及び幼保連携型認定こども園サザンヒルズこども園を開所するにあたり整備費を補助した。

補助年度	整備施設名	整備補助内容
26年度	城山保育園南山	認可定員125人の認可保育所の整備費を補助
	本郷ゆうし保育園	認可定員150人の認可保育所の整備費を補助
30年度	稲城矢野口雲母保育園	認可定員60人の認可保育所の整備費を補助
	サザンヒルズこども園	認可定員(保育)96人の保育機能部分の整備費を補助

### 認証保育所運営等・家庭福祉員運営事業

#### 家庭福祉員の充実・・・実施継続中

認証保育所や家庭福祉員の充実を図り、待機児童の解消を図った。また、子育て支援コーディネーターの活用により、保育の質の向上に努めた。

(4月1日現在)

(単位：カ所・人)

年度	認証保育所		家庭的保育事業	
	カ所数	市内総定員	カ所数	市内総定員
23年度	6	184	2	6
24年度	6	184	3	9
25年度	6	184	4	12
26年度	7	214	4	12
27年度	7	214	4	14
28年度	7	214	4	16
29年度	7	214	4	18
30年度	6	179	5	23

※認証保育所の減は、認可化によるもの。(メリーポピンズ稲城園)

※法改正による名称変更：家庭福祉員⇒家庭的保育事業

### 認定こども園の充実・・・完了

子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、平成27年度より認定こども園利用者への教育・保育給付を実施した。また、認定こども園の開設を支援した。

年度	実施内容
27年度	子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、幼稚園型認定こども園子どもの森の利用者への教育・保育給付を開始
28年度	給付を継続
29年度	給付を継続
30年度	幼保連携型認定こども園サザンヒルズこども園、幼稚園型認定こども園青葉幼稚園を開設。

### 児童館・学童クラブ施設整備事業

#### 学童クラブ・児童館の民営化・・・実施継続中

学童クラブの施設整備については、小学校施設の整備に併せて実施した。また、民営化により柔軟なサービス提供を可能とし、施設整備と併せ、定員の増や対象学年の拡大を図った。

児童館についても、施設の改修等に併せて民営化し、柔軟なサービス提供を可能とした。

#### 【学童クラブの施設整備】

年度	実施内容
24年度	城山小学校学童クラブを改修し、定員を10名拡大。
25年度	長峰小学校学童クラブと平尾小学校学童クラブの備品を整備し、定員を各10名拡大。
	南山小学校の新築にあわせ、南山小学校学童クラブを新築（～26年度）。第一小学校の大規模改修にあわせ、第一小学校学童クラブ改修（～26年度）

27年度	向陽台小学校学童クラブ、長峰小学校学童クラブ、若葉台小学校学童クラブ、平尾小学校学童クラブを改修し、受入れを6年生まで拡大。
28年度	第二小学校の大規模改修にあわせ、別棟で第二小学校学童クラブ新築。

### 【児童館の民営化】

施設の大規模改修や建替えにあわせて、児童館5カ所のうち2カ所の民営化を実施した。

年度	実施数	実施個所
26年度	1カ所	第二児童館
27年度	1カ所	本郷児童館（民設）

### 【学童クラブの民営化】

利用者ニーズに対応するため、学童クラブの民営化を進め、4カ所の民営化と2カ所の新設により、市内全15カ所のうち7カ所を民営とした。

民営化や施設整備により、定員を23年度635名から30年度825名に拡大した。

年度	実施数	実施個所
25年度	1カ所	学童クラブ子どもの森（民設）（新設 定員40名）
26年度	1カ所	第二文化センター学童クラブ（定員40名）
27年度	3カ所	第一小学校学童クラブ（定員40名→70名）
		南山小学校学童クラブ（新設 定員50名）
		本郷学童クラブ（民設）（定員40名→70名）
29年度	1カ所	第二小学校学童クラブ（定員30名→40名）

（学童クラブ矢野口こどもクラブ（民設）については22年度）

### 放課後子ども教室事業・・・実施継続中

放課後の子どもの居場所確保のため、全市立小学校で全学年を対象に放課後子ども教室を実施した。

年度	実施内容
23年度	長峰小学校・全学年を対象に週2日（長期休業期間を除く）実施
24年度	長峰小学校・全学年を対象に週2日（長期休業期間を除く）実施
25年度	長峰小学校・全学年を対象に週2日（長期休業期間を除く）実施
26年度	市内8小学校・1～3年生（長峰のみ全学年）を対象に平日・土曜日（長期休業期間を含む）実施
27年度	市内12小学校・全学年を対象に平日・土曜日（長期休業期間を含む）実施
28年度	市内12小学校・全学年を対象に平日・土曜日（長期休業期間を含む）実施
29年度	市内12小学校・全学年を対象に平日・土曜日（長期休業期間を含む）実施
30年度	市内12小学校・全学年を対象に平日・土曜日（長期休業期間を含む）実施

## 子育て支援事業・・・実施継続中

子ども家庭支援センターのホームページを運用や子育てブック等を通じ、あそびの広場事業、育児支援ヘルパー事業、子ども緊急ショートステイ事業等、子育てに関する様々な情報を提供した。また、気軽に相談が出来るよう体制を整備した。

### 【子育てサポーター養成講座】

年度	養成講座	参加人数
23年度	8回	132人
24年度	8回	73人
25年度	7回	48人
26年度	7回	67人
27年度	7回	48人
28年度	4回	12人
29年度	4回	28人
30年度	4回	20人

### 【育児支援ヘルパー派遣】

年度	利用世帯数	利用回数	利用時間
23年度	71世帯	322回	569.5時間
24年度	103世帯	400回	586.0時間
25年度	122世帯	423回	703.5時間
26年度	87世帯	349回	655.5時間
27年度	95世帯	368回	613.5時間
28年度	108世帯	386回	682.0時間
29年度	120世帯	384回	645.0時間
30年度	123世帯	455回	662.5時間

### 【子ども緊急ショートステイ】

年度	利用世帯数	件数	利用泊数	利用日数
23年度	6世帯	15件	52泊	67日
24年度	2世帯	6件	22泊	27日
25年度	6世帯	16件	34泊	45日
26年度	5世帯	24件	52泊	72日
27年度	6世帯	24件	57泊	79日
28年度	5世帯	9件	22泊	31日
29年度	5世帯	13件	23泊	34日
30年度	8世帯	24件	34泊	60日

### 【ファミリー・サポート・センター事業】

年度	活動件数
23年度	2,350件



24年度	3,429件
25年度	3,148件
26年度	2,456件
27年度	1,499件
28年度	1,584件
29年度	1,788件
30年度	1,714

子ども家庭支援センター本郷分室運営経費・・・実施継続中

平成27年度に子ども家庭支援センター本郷分室を増設し、相談等の機能の充実を図り、子育て中の保護者の負担感・孤立感を軽減し、多様な子育て支援を充実させ虐待を未然に防ぐための対策や虐待の早期発見・早期対応ができる体制を整備した。

子育て世帯臨時特例給付金支給事業・・・完了

平成26年4月の消費税率の引き上げによる子育て世帯への影響を緩和するため、子育て世帯臨時特例給付金の支給を行った。

【子育て世帯臨時特例給付金支給状況】

年度	申請者数	支給対象児童数	支給金額
26年度	7,464人	9,967人	99,670,000円
27年度	8,008人	10,943人	32,829,000円

5 ひとり親家庭への支援

- (1)相談機能の充実
- (2)経済的支援
- (3)就労支援

母子父子関係事業・・・実施継続中

ひとり親家庭の生活安定と自立促進のため、相談機能を充実させるとともに経済的支援、就労支援を行った。母子・父子自立支援員による相談、児童扶養手当支給、ひとり親家庭等医療費助成、ひとり親家庭自立支援給付、ひとり親家庭ホームヘルプサービス等を毎年実施。

6 低所得者などへの支援

- (1)相談体制の充実
- (2)就労支援
- (3)低所得者の生活の支援

### 臨時福祉給付金支給事業・・・完了

平成 26 年 4 月の消費税率引上げによる影響を緩和するため、所得の少ない方に対して、制度的な対応を行うまでの間の暫定的・臨時的な措置として「臨時福祉給付金（経済対策分）」を支給する制度に基づき実施した。

年度	給付金名称	支給者数
26年度	平成26年度臨時福祉給付金	5,854人
27年度	平成27年度臨時福祉給付金	5,902人
28年度	平成28年度臨時福祉給付金	4,895人
	低所得の高齢者向けの年金生活者等支援臨時福祉給付金	4,255人
	低所得の障害・遺族基礎年金受給者向けの年金生活者等支援臨時福祉給付金	196人
28年度 ～ 29年度	臨時福祉給付金（経済対策分）	6,334人

### 生活困窮者自立相談支援等事業・・・実施継続中

平成 27 年 4 月に生活困窮者自立支援法が施行されたことに伴い、事業を開始した。生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、自立相談支援事業の実施、住居確保給付金の支給その他の支援を行い、生活困窮者の自立を促した。

## 第 3 節 社会保険制度の推進

### 1 医療保険制度や年金制度の推進

(1)国民健康保険事業の安定運営

(2)後期高齢者医療制度のPR

(3)国民年金事業の普及・啓発

### 2 介護保険制度の推進

(1)介護保険事業計画に基づく介護サービスの提供、介護予防事業の推進

(2)介護のまちづくりの推進

(3)介護保険制度の円滑な運営

### 稲城市介護保険事業計画の策定・・・実施継続中

介護保険法に基づき、市が行う介護保険事業にかかる保険給付の円滑な実施に関する計画を策定した。

- ・平成 23 年度 稲城市介護保険事業計画（第 5 期）策定
- ・平成 26 年度 稲城市介護保険事業計画（第 6 期）策定
- ・平成 29 年度 稲城市介護保険事業計画（第 7 期）策定

地域支援事業・・・実施継続中

高齢者が要介護状態等になることを予防するとともに、要介護状態になった場合においても、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことが出来るよう支援を行った。

年度	実施内容
23年度	地域介護予防活動支援事業の拡充（大丸憩いの家の開設）
24年度	地域包括支援センターこうようだいを設置（地域包括支援センターの空白圏域の解消）
25年度	介護予防体操教室の開始。
26年度	在宅医療・介護連携推進協議会の設置。
27年度	介護予防・日常生活支援総合事業の開始。 生活支援コーディネーターを市へ配置（1名）、第1層協議体を設置、在宅医療・介護連携支援センターを設置、認知症支援コーディネーターを地域包括支援センター（2カ所）に配置
28年度	生活支援コーディネーターを各地域包括支援センターに配置。通いの場補助金の開始、認知症ケアパスの作成と配布。
29年度	認知症初期集中支援チームの設置。
30年度	認知症予防教室の開始、市内のスポーツクラブを活用した介護予防体操教室の開始

## 第2章 人と文化を育むふれあいのあるまちづくり

### 第1節 生きぬく力の育成

#### 1 幼児期の教育の振興

- (1)幼児教育の充実
- (2)幼児教育に対する支援
- (3)家庭教育への支援

私立幼稚園等園児保護者負担軽減補助金・私立幼稚園就園奨励費補助金・・・実施継続中

- ・私立幼稚園等園児保護者負担軽減補助金：すべての幼稚園保護者を対象に補助を実施した。（都補助制度）
- ・私立幼稚園就園奨励費補助金：現行制度幼稚園の保護者を対象に補助を実施した。所得制限あり。（国補助制度）

（単位：人・月）

（単位：人）

年度	私立幼稚園等園児保護者負担軽減補助金	私立幼稚園就園奨励費補助金
23年度	19,276	926
24年度	19,429	871
25年度	19,561	899
26年度	18,556	1,146
27年度	16,975	846

28年度	16,832	835
29年度	16,075	795
30年度	16,865	803

私立幼稚園協会補助金（特別支援教育事業に係る補助金）の増額・・・完了

幼稚園協会（を通じた幼稚園）への特別支援教育事業に係る補助金について、平成 26 年度までは特別支援教育対象児童一人に対し月 15,000 円であったものを平成 27 年度以降は月 18,000 円に増額した。

## 2 義務教育の充実

### (1)教育内容の充実

### (2)教育環境の充実・支援

### (3)施設・設備の充実

小中学校大規模改修等事業（一小、二小、七小、一中、三中）・・・完了

校舎等の老朽化により、必要な大規模改修を実施した。

整備学校名	実施年度	整備内容
稲城第一小学校	23～27年度	校舎建替工事及び改修工事
稲城第二小学校	25～28年度	校舎の改修工事
稲城第七小学校	23～27年度	校舎増築工事及び改修工事
稲城第一中学校	23～27年度	校舎増築工事及び改修工事
稲城第三中学校	27～30年度	校舎増築工事及び改修工事

(仮称)南山小学校建設事業・・・完了

平成 23～26 年度に新築工事を実施し、平成 27 年 4 月 1 日に開校した。

【学校概要】

- ・敷地面積 16,970 m<sup>2</sup>
- ・校舎
  - 構造：鉄筋コンクリート造、地上 3 階
  - 延べ床面積：5,950 m<sup>2</sup>
  - 太陽光発電設備（10Kw）、屋上緑化（95 m<sup>2</sup>）
- ・学校体育館
  - 延べ床面積：1,195 m<sup>2</sup>
  - 太陽熱設備、屋根散水設備

## 小中学校施設整備事業

水道直結事業・高天井照明器具等落下防止事業・空調設備設置工事・・・実施継続中

小中学校の設備等について、必要な改修や新設を実施した。

年度	整備施設名	整備内容
23年度	稲城第二小学校	プール防水改修工事(本体、プールサイド)
	稲城第三小学校	水道直結工事
	稲城第四小学校	水道直結工事
	稲城第七小学校	プール防水改修工事(本体)
	向陽台小学校	プール防水改修工事(プールサイド)
	城山小学校	屋上防水改修工事
	城山小学校	空調設備設置工事(音楽室、視聴覚室)
	稲城第二中学校	プール防水改修工事(本体)
	稲城第四中学校	空調設備設置工事(音楽室、視聴覚室)
	稲城第五中学校	空調設備設置工事(視聴覚室)
	全小中学校	空調設備設置工事(普通教室)
24年度	稲城第四小学校	プール防水改修工事(本体、プールサイド)
	稲城第六小学校	水道直結工事
	稲城第七小学校	水道直結工事
	稲城第七小学校	空調設備設置工事(学校図書館、コンピュータ室、音楽室)
	稲城第三中学校	水道直結工事
	稲城第四中学校	空調設備設置工事(コンピュータ室)
	稲城第五中学校	外壁改修工事の実施設計
25年度	稲城第四小学校	高天井照明器具等落下防止工事
	向陽台小学校	高天井照明器具等落下防止工事
	城山小学校	空調設備設置工事(普通教室)
	長峰小学校	高天井照明器具等落下防止工事
	若葉台小学校	高天井照明器具等落下防止工事
	平尾小学校	水道直結工事
	稲城第一中学校	空調設備改修工事(音楽室)
	稲城第二中学校	水道直結工事
	稲城第三中学校	空調設備設置工事(普通教室)
	稲城第三中学校	高天井照明器具等落下防止工事
	稲城第四中学校	空調設備設置工事(普通教室)
稲城第五中学校	外壁改修工事	
稲城第六中学校	空調設備設置工事(普通教室)	
26年度	稲城第三小学校	高天井照明器具等落下防止工事
	稲城第六小学校	高天井照明器具等落下防止工事
	稲城第七小学校	高天井照明器具等落下防止工事

27年度	向陽台小学校	水道直結工事
	平尾小学校	高天井照明器具等落下防止工事
	平尾小学校	空調設備設置工事(普通教室)
	稲城第一中学校	高天井照明器具等落下防止工事
	稲城第二中学校	高天井照明器具等落下防止工事
	稲城第三中学校	空調設備設置工事(特別活動室)
	稲城第四中学校	水道直結工事
	稲城第五中学校	空調設備設置工事(普通教室)
	稲城第一小学校	高天井照明器具等落下防止工事
	稲城第二小学校	高天井照明器具等落下防止工事
	稲城第三小学校	プール防水改修工事(本体)
	稲城第六小学校	空調設備設置工事(普通教室)
	城山小学校	高天井照明器具等落下防止工事
	城山小学校	水道直結工事
	若葉台小学校	空調設備改修工事(職員室)
28年度	稲城第三中学校	プール防水改修工事(本体)
	稲城第四中学校	高天井照明器具等落下防止工事
	稲城第五中学校	高天井照明器具等落下防止工事
	稲城第五中学校	水道直結工事
	稲城第六中学校	高天井照明器具等落下防止工事
	稲城第四小学校	空調設備設置工事(視聴覚室)
29年度	稲城第四小学校	屋上防水及び外壁改修工事の実施設計
	長峰小学校	水道直結工事
	若葉台小学校	水道直結工事
	稲城第五中学校	空調設備設置工事(普通教室)
	稲城第六中学校	水道直結工事
	稲城第四小学校	屋上防水及び外壁改修工事
30年度	長峰小学校	空調設備改修工事(職員室、ラウンジ)
	稲城第二中学校	空調設備設置工事(理科室)
	稲城第三中学校	空調設備設置工事(理科室)
	稲城第四中学校	空調設備設置工事(普通教室、理科室)
稲城第五中学校	空調設備設置工事(普通教室、理科室)	
稲城第六中学校	空調設備設置工事(理科室、学校図書館)	
30年度	全小学校	空調設備設置工事(理科室)
	稲城第二中学校	空調設備改修工事(コンピュータ室)
	稲城第四中学校	空調設備設置工事(普通教室)
	稲城第五中学校	空調設備改修工事(コンピュータ室、コンピュータ準備室)

### 学校図書館の充実・・・実施継続中

子どもの読書活動に広がりや深まりができるよう、司書資格を所持する学校図書館活性化推進員を全小中学校に配置した。

#### 【学校図書館活性化推進員の配置状況】

年度	配置小中学校数
23年度	2校
24年度	5校
25年度	8校
26年度	11校
27年度	15校
28年度	18校(全校)
29年度	18校(全校)
30年度	18校(全校)

### 特別支援教育・教育相談事業の充実

#### 特別支援教室の導入・・・実施継続中

平成29年度にすべての小学校に特別支援教室「すまいるルーム」を設置し、発達障害のある児童が自校において特別な支援を受けられる体制を整えた。中学校については平成31年度に設置予定。

### 学校給食共同調理場整備事業・・・完了予定

老朽化の著しい学校給食共同調理場第一調理場について、南山東部土地区画整理事業地内に建て替え移転することとし、新調理場を建設中である。専用調理室での食物アレルギー対応食調理、災害時炊き出し機能も有した調理場とし、令和3年度からの稼働を予定している。

#### 【新調理場概要】

- ・敷地面積 4,294 m<sup>2</sup> (内、令和2年度までは2,907 m<sup>2</sup>)
- ・構造 鉄骨造 地上3階
- ・施設面積 建築面積 約1,707 m<sup>2</sup>、延べ面積 約3,646 m<sup>2</sup>
- ・耐火種別 耐火建築物

### オリンピック・パラリンピック教育推進校交付金の充実・・・実施継続中

2020年開催の東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、国際社会をたくましく生きぬく児童・生徒を育成するため、稲城市の全小・中学校においてオリンピック・パラリンピック教育を実施した。

【実施状況】

年度	小中学校数	整備内容
26年度	5校	積極的に運動やスポーツに親しみ、児童・生徒の健康増進や体力向上を図るとともに、オリンピック・パラリンピックの歴史や意義、理念などを理解し、平和な社会の実現に貢献しようとする意欲や態度を育むため、オリンピック・パラリンピック教育を推進した。
27年度	18校(全校)	
28年度	18校(全校)	
29年度	18校(全校)	
30年度	18校(全校)	

3 青少年の健全育成

(1)青少年育成環境の整備

(2)青少年の社会参加の促進

(3)主体的に活動する青少年の育成支援

稲城ふれあいの森事業・・・実施継続中

「稲城ふれあいの森運営委員会」を中心に施設整備を行った。テント設営・撤収、冬篋り作業、開村作業を毎年度、青少年団体等と協力しながら実施し、地区キャンプや家族キャンプを実施した。

イベントとして「森のたからばこ」、「炭焼き体験」を毎年度実施し、子どもたちに自然体験の機会を提供した。

【利用者数】

年度	利用者人数	内訳		
		一般開放等	夏期開放	学校開放
23年度	0人	0人	0人	0人
24年度	4,976人	3,402人	977人	597人
25年度	4,922人	3,275人	896人	751人
26年度	4,966人	3,803人	653人	510人
27年度	4,419人	3,334人	612人	473人
28年度	5,283人	3,996人	838人	449人
29年度	5,180人	3,405人	895人	880人
30年度	3,298人	2,144人	536人	618人

※23年度は土地賃貸借契約ができなかったため施設の開放ができなかった。

※30年度は台風による倒木等により10月・11月の開放を中止した。

【施設整備状況】

年度	主な整備内容
23年度	土地賃貸借契約ができなかったため施設整備は未実施
24年度	南外周路整備、テントサイトかまど修繕等の施設整備
25年度	南外周路整備、枯木等の伐採等の施設整備



26年度	小田良門整備、リーダーかまど改修等の施設整備
27年度	井戸・だれでもトイレ2基の新設等の施設整備
28年度	ピザ釜修繕、ファイヤー場ポール取替等の施設整備
29年度	南の泉改修等の施設整備
30年度	テントサイトのテント部分及びウッドサークルの取替、台風被害復旧（危険樹木除去、電線等の復旧）等の施設整備

## 第2節 生涯学習の推進

### 1 生涯にわたる学習・文化・芸術活動などの振興

#### (1)生涯学習の支援

#### (2)文化・芸術活動の推進と支援

#### (3)生涯学習情報の提供

#### 第三次稲城市生涯学習推進計画の策定・・・完了

平成23年度に、第三次稲城市生涯学習推進計画（平成24年度からの10年計画）を策定した。

稲城市生涯学習振興計画策定委員会提言「稲城市の生涯学習の振興のあり方について～であい・ふれあい・まなびあい～」を具現化するために策定した「Inagi あい プラン（稲城市生涯学習推進計画）」の理念を踏襲しながら、第四次長期総合計画との整合性と平成20年に改正された社会教育法に準拠した計画を策定した。

#### いなぎICカレッジの充実・・・実施継続中

ボランティア理事による「いなぎICカレッジ理事会」を支援し、受益者負担で運営している市民講師による市民のための「一般教養講座」と近隣大学の先生等の協力により開設している「プロフェッサー講座」を実施、充実を図った。

年度	講座数	参加者数	延べ人数	備考
23年度	64講座	1,215人	11,117人	
24年度	69講座	1,337人	12,396人	
25年度	70講座	1,399人	12,653人	開設10周年記念式典実施
26年度	70講座	1,528人	13,446人	
27年度	71講座	1,489人	13,069人	
28年度	68講座	1,395人	12,303人	
29年度	65講座	1,453人	12,494人	プロフェッサー講座開設10周年式典実施
30年度	67講座	1,584人	13,694人	

#### ふれんど平尾改修工事・・・完了

旧小学校を複合施設として用途変更することに伴い、2階を「郷土資料・社会教育エリア」、

3階を「教育センター（研修）エリア」、4階を「教育相談・就業相談エリア（発達支援センターを含む）」に改修した。

年度	整備施設名	整備内容
24年度	複合施設 ふれんど平尾	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内装（床・壁・天井）改修等</li> <li>・昇降機新設に伴う増築</li> <li>・空調機（EHP）設置工事</li> <li>・電気設備等の更新、消防用設備等の改修</li> <li>・外壁及び屋上防水改修</li> <li>・太陽光発電設備（10kW）新設</li> <li>・トイレ改修（2～4階）、授乳室・だれでもトイレ整備</li> </ul>

## 2 社会教育の充実

- (1)市民各層への事業提供
- (2)施設の充実
- (3)資料の充実整備
- (4)課題解決を支援するサービスの充実
- (5)子どもの読書活動の推進

### 大規模改修事業（第二文化センター等）・・・完了

耐震診断及び劣化診断に基づいて、適切に最新補強及び改修を実施した。

年度	整備施設名	整備内容
25年度	第二文化センター	<p>平成25年6月6日から平成26年2月28日までを工期とした大規模改修工事を行った。</p> <p>壁、天井、外壁(一部)に加え、空調設備等の改修、老人福祉館の浴室を会議室2室に、また、機械室を閉架書庫、倉庫、小会議室に改修し、太陽光発電装置を新設した。</p>
28年度	中央文化センターホール	<p>平成28年7月1日から平成29年3月24日までを工期とした大規模改修工事を行った。</p> <p>トイレ全面改修し、だれでもトイレを設置、空調機器改修、座席改修等施設内外の改修を行いバリアフリー化を実施した。また、舞台音響及び照明設備の改修、舞台装置の改修、楽屋の全面改修を行いホール内機能の充実を図った。</p>

### 稲城市子ども読書活動推進計画の推進・・・実施継続中

子ども達があらゆる機会、場所において自主的に読書を行い、「生きぬく力」を育むことができるよう、子どもの読書活動を支援し推進することを目的に『稲城市子ども読書活動推進計画』を策定し、「読書環境の整備」、「司書の配置・人材の育成」、「関係機関の連携」、「子どもの読書活動・活動推進のPR事業」の4つの柱を中心に子どもの読書活動の推進に取り組んだ。

【第一次稲城市子ども読書活動推進計画】

計画期間：平成 21 年～25 年

【第二次稲城市子ども読書活動推進計画】

計画期間：平成 27 年～31 年

＜稲城市子ども読書活動推進計画の推進に係る主要事業＞

- ①赤ちゃんへの絵本支援事業
- ②子ども読書活動推進会議
- ③団体貸出利用の充実（先生のための図書館ガイド作成等）
- ④図書館一年生パック（平成 28 年度より市立小学校一年生全員に配布）
- ⑤読書通帳の導入・促進（平成 28 年度より）
- ⑥「本はともだちいなぎの子読書イベント」の開催

3 文化財の保存と活用

- (1)文化財保護思想の普及
- (2)文化財資料の調査と収集・保管・公開
- (3)郷土資料室の充実

各分野の文化財調査の実施、文化財の把握・・・実施継続中

民具資料調査、近代史料調査を実施し、調査カード・調査目録の作成作業を行った。平成 26 年度、平成 28 年度、平成 30 年度に「稲城市の民具」第 3 集、第 4 集、第 5 集を発行した。

埋蔵文化財調査については、文化財保護法に基づき適切に対応し、文化財の指定については対象となる文化財の整理を行い、指定を行った。

郷土資料室の整備・・・実施継続中

保管している文化財資料、歴史資料、民俗資料等を広く市民に公開し、文化財保護意識を高めることを目的に、郷土資料室の充実・整備を実施した。

城山体験学習館の郷土資料室コーナーでの展示を、平成 25 年度からふれんど平尾の郷土資料室へ移転、展示室を 1 室から 4 室に充実し、常設展示の他、年に数回企画展示を実施した。

4 スポーツ・レクリエーション活動の振興

- (1)スポーツ・レクリエーションの普及
- (2)スポーツ・レクリエーション環境の整備
- (3)スポーツ・レクリエーション活動の支援

中央公園体育施設の大規模改修事業・・・実施継続中

設備の老朽化等による緊急性がある案件について、修繕を実施した。

年度	施設名	修繕内容
23年度	総合グラウンド	陸上競技場補修工事、総合グラウンド車椅子昇降機修繕
	野球場	バックネット、スコアボード、バックスクリーン、ベンチ、サブスコアボード改修工事
24年度	総合体育館	アルミ製高所作業台オーバーホール、ウェルネスアリーナ仕切ネット設置、2階玄関自動ドア修繕、空調設備修繕
	総合グラウンド	シャワー用ボイラー交換修繕
26年度	総合体育館	柔道場汚水槽ポンプ交換及び修繕
27年度	総合体育館	剣道場汚水槽ポンプ交換及び修繕、2階男子トイレ排気ファン修繕
28年度	総合体育館	冷温水ポンプ交換修繕、トレーニングルーム前男子トイレ排気ファン修繕、事務室空調設備修繕
	総合グラウンド	スタンド修繕
29年度	総合体育館	レストラン厨房空調機修繕、自動火災報知設備更新
30年度	総合体育館	高圧電気受電設備修繕、レストランホール空調設備改修
	総合グラウンド ・野球場	私設水道メーター設置修繕

#### スポーツ施設予約システムの導入・・・完了

公共施設の予約をインターネットで行えるよう、平成 24 年度にシステム構築を実施し、平成 25 年度より予約システム開始した。

#### 稲城市生涯スポーツ振興計画の策定・・・完了

「市民一人 1 スポーツ」の目標を達成するため、平成 26～27 年度に、稲城市スポーツ推進計画（平成 28 年度からの 10 年計画）を策定した。

#### 稲城長峰スポーツ広場建設事業・・・完了

UR 所有の長峰地区の遊休地を活用し、平成 27 年度にスポーツ施設を設置した。サッカー場等のスポーツ施設に防災用倉庫等も併設。また、ネーミングライツ制度を導入し、東京ヴェルディ株式会社と平成 29 年度から 5 カ年のパートナー契約を行い、施設愛称を「稲城長峰ヴェルディフィールド」としている。

#### 【施設概要】

施設名	規模	施設名	規模
サッカー場	8,970.00 m <sup>2</sup>	観覧席	200 席
フットサル場	800.00 m <sup>2</sup>	倉庫	74.37 m <sup>2</sup>
管理棟	546.60 m <sup>2</sup>	芝生広場	1,450.00 m <sup>2</sup>

### 若葉台公園多目的広場グラウンド整備工事・・・完了

野球優先の利用に見直すため、平成 30 年度にグラウンド整備工事を実施した。

- ・グラウンド改良 8,092 m<sup>2</sup>

### 南多摩スポーツ広場多目的広場整備費負担金・・・完了

平成 28 年度、南多摩スポーツ広場多目的広場に防球フェンス(H = 5 m)を設置するため、東京都との整備に関する協定に基づき、整備費を負担した。

### 東京2020オリンピック・パラリンピック気運醸成事業・・・実施継続中

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催に向け、多くの人により大会を盛り上げて行くことを目的に、東京 2020 大会の機運醸成のための事業を実施した。

年度	実施内容
26年度	「1964年東京オリンピック50周年のパネル」の展示（体育の日スポーツフェア）、オリンピックとの集いin稲城市
27年度	「オリンピックの啓発ポスター」の展示（体育の日スポーツフェア）、パラリンピック啓発パンフレットの配布（全小中学校）
28年度	NO LIMITS CHALLENGE、舩本直文氏講演会、外国人おもてなし語学ボランティア育成講座
29年度	荻原健司氏講演会、NO LIMITS CHALLENGE、外国人おもてなし語学ボランティア育成講座、マスコット投票宣言
30年度	東京五輪音頭-2020-のDVD配付、「東京2020オリンピック・パラリンピック～東京でおもてなし 56年ぶりの夢～」巡回資料展示会、ロードレースコース決定時の周知、オリンピック・パラリンピックまでの日数をカウントダウン（広報いなぎ）、外国人おもてなし語学ボランティア育成講座、庁舎1階にオリンピック・パラリンピック関係コーナーを設置、Iのまち いなぎ市民まつり特設ブースの出店、自転車ロードレースの見所紹介パネルの作成、東京五輪音頭の披露（市民まつり・ペアパークオープニング式典）、大会マスコットのペーパークラフト配布、オリンピックフラッグ・パラリンピックフラッグ巡回展示、東京五輪音頭-2020-動画作成

## 第3章 だれもが心豊かに暮らせる平和で安全なまちづくり

### 第1節 地域で育む共生意識と活気あふれる地域交流

#### 1 人権の尊重

- (1)ノーマライゼーションの浸透
- (2)情報化社会における人権意識の啓発
- (3)他人の権利への配慮も含めた啓発・教育活動の推進
- (4)市民憲章の普及
- (5)子どもの権利擁護

## (6)相談体制の充実

### 人権問題啓発事業・・・実施継続中

市民の人権への理解を深め、人権の意識啓発のため、各種事業を実施した。

- ・市民祭における啓発ブースの開設（毎年）
- ・人権週間における、市役所1階ロビーでの人権啓発パネル設置、懸垂幕掲出等
- ・第67回人権週間行事「講演と映画の集い in 稲城」（平成27年）：東京都人権啓発活動ネットワークと共にiプラザで開催し、300人の参加。
- ・就職差別解消月間における広報掲載や懸垂幕の掲出による意識啓発、周知。
- ・全国中学生人権作文コンテスト東京都大会 稲城地区：人権尊重の重要性、必要性についての理解を深めるとともに豊かな人権感覚を身に付けることを目的とし、稲城地区人権擁護委員との共催により、市内全中学校を対象に実施した。

年度	応募総数
23年度	653編
24年度	728編
25年度	675編
26年度	857編
27年度	640編
28年度	726編
29年度	716編
30年度	680編

- ・人権の花運動：人権啓発のため、各小学校に花の苗等を配付することにより、児童が協力し合って植物を栽培し、協力、感謝することの大切さを学んだ。

年度	配付小学校
23年度	稲城第七小学校、向陽台小学校
24年度	城山小学校、長峰小学校
25年度	若葉台小学校、平尾小学校
26年度	稲城第一小学校、稲城第二小学校
27年度	稲城第三小学校、稲城第四小学校
28年度	稲城第六小学校、稲城第七小学校
29年度	向陽台小学校、城山小学校
30年度	長峰小学校、若葉台小学校

- ・人権身の上相談：他人からの人権侵害やトラブル等に関して、人権擁護委員が相談を受け、解決を図ることができた。

年度	相談件数
23年度	17件
24年度	19件

25年度	24件
26年度	22件
27年度	19件
28年度	12件
29年度	19件
30年度	17件

## 2 平和で友愛に満ちた社会の推進

### (1)平和意識の啓発

### (2)平和意識に根ざした地域社会

#### 平和意識啓発事業・・・実施継続中

平和の尊さについて、積極的に考え推進できるよう様々な機会を設けるとともに「稲城市平和都市宣言」の趣旨に基づき、一人ひとりが国際的視野に立ち平和に対する意識の高揚を図った。

#### 【実施事業】

- 平和の川柳コンクール（対象：市内公立中学校2年生）
- 平和のパネル展（8月、3月）市役所ロビー
- 平和コンサート（3月）iプラザホール
- 黙祷（8月6日、8月9日、8月15日、3月10日）
- 核実験・ミサイル発射実験への抗議文送付等（通年）

#### 【平和コンサート参加者数】

年度	参加者数（人）
23年度	377
24年度	386
25年度	363
26年度	379
27年度	383
28年度	298
29年度	401
30年度	365

## 3 男女共同参画社会の推進

### (1)男女の性に関する理解・尊重と平等意識の醸成

### (2)女性の幅広い参画機会の体制づくりの強化

### (3)男女共同参画への支援策の充実

### 第四次男女共同参画計画の策定(第四次男女平等推進いなぎプラン)・・・完了

性別に関わりなく、個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を目指し、『男女平等推進いなぎプラン』を策定し、各種事業を実施した。

また、審議会等における女性の参画率向上等を全庁的に呼びかける等、庁内における取組を推進した。

- ・第三次男女共同参画計画(第三次男女平等推進いなぎプラン)：平成18～平成27年
- ・第四次男女共同参画計画(第四次男女平等推進いなぎプラン)：平成28～令和7年

### 配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援に関する基本計画の策定・・・完了

第四次男女共同参画計画(第四次男女平等推進いなぎプラン：計画期間平成28～令和7年)の一部を配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律に基づく「市町村基本計画」と位置づけ、取り組んだ。

配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援関連部署の担当者による情報交換会を実施し、市内の現状など情報収集するとともに連携強化を図った。

## 第2節 コミュニティの充実と交流の推進

### 1 コミュニティの育成支援

(1)自治会への加入率向上支援

(2)ボランティア活動や市民活動に対する支援

#### 自治会集会施設建設費補助・・・実施継続中

自治会の集会施設整備について、その費用の一部を補助し集会施設の整備を促進することで、地域住民の自治の向上を図った。

#### 【自治会集会施設建設費補助金】

年度	自治会	内容
23年度	ファインヒル向陽台自治会	自治会館 内裝修繕
24年度	長峰西地区自治会	自治会館 建設
	東長沼自治会	自治会館 屋根補修工事
25年度	押立自治会	自治会館 トイレ改修工事・空調設備交換工事
26年度	平尾宅地分譲住宅自治会	自治会館 玄関前手摺改修工事
	矢野口自治会	自治会館 屋上・外壁他防水工事
27年度	東長沼自治会	自治会館 トイレ設備等改修工事
28年度	押立自治会	自治会館 畳、網戸、襖修繕
29年度	-	-
30年度	矢野口自治会	自治会館 北側壁面修繕



### JR南武線高架下自治会集会施設新築工事・・・完了予定

高架下の借用条件として、市が建物を所有することとなっているため、矢野口自治会南武線高架下集会施設建設については市が行い、自治会は既定の割合で費用負担するとした。平成31年度完了予定。

### 自治会新規設立支援・・・実施継続中

新規結成に向けた事務事業の支援を通じ、地域社会の再生に向けた協力を図った。

年度	自治会数 (4/1現在)	備考
23年度	34	
24年度	35	長峰東地区自治会設立
25年度	35	
26年度	37	クレヴィア若葉台パークナード自治会及び長峰ルナオーヴ自治会設立
27年度	38	上平尾ひなた自治会設立
28年度	38	
29年度	38	
30年度	37	都営大丸アパート自治会解散

### 地域コミュニティ活性化事業・・・実施継続中

様々な社会貢献活動への市民参加の支援を図ることで、市民に地域への関心をもってもらい、活動への理解と参加を広げながら、地域社会の活性化を図ることを目指し、稲城市市民活動ポイント制度を実施した。

#### 【市民活動ポイント制度実施状況】

年度	配付実績	還元実績（件）	備考
23年度	3,533	16	5事業（試行実施）
24年度	9,135	83	17事業（試行実施）
25年度	4,167	89	20事業
26年度	5,945	97	21事業
27年度	6,945	128	21事業
28年度	4,661	91	20事業
29年度	4,742	137	19事業
30年度	4,788	131	16事業

### (仮称)長峰コミュニティ施設運営事業・・・実施継続中

長峰の民間施設を借用し、長峰ふれあい会館の管理運営を実施した。地域の方が集い、交

流が図れる地域コミュニティの醸成の場として開放することにより、地域コミュニティの活性化を図った。

## 2 市域を越えた交流の推進

### (1) 姉妹都市およびその他の都市との交流

### (2) 国際交流の推進

#### 外国人が地域行事等へ参加しやすい環境の整備・・・実施継続中

外国人居住者に対するボランティア活動の支援や、異文化交流の場の提供によって、相互の理解を深め、国際交流の推進を図ることを目的に、異文化交流の場の提供に資するよう、梨の試食と茶話会、スピーチ発表会の2事業を開催した。

また、外国人の地域参加促進に資するよう、地域防災訓練において「外国人支援対応訓練」として外国人参加コーナーを設置した。

年度	梨の試食と茶話会参加者	スピーチ発表会参加者
23年度	148人	94人
24年度	184人	117人
25年度	90人	80人
26年度	88人	97人
27年度	121人	90人
28年度	52人	98人
29年度	72人	54人
30年度	116人	77人

#### 友好都市提携検討市民会議

#### 姉妹都市・友好都市交流事業等の充実・・・実施継続中

##### 【稲城市友好都市提携検討市民会議】

平成 27 年度に、友好都市提携検討市民会議を 5 回（うち 2 回は現地視察）開催し、福島県相馬市及び長野県野沢温泉村との友好都市提携に関する提言を 7 月 1 日にまとめた。

##### 【友好都市協定締結】

平成 27 年度友好都市提携検討市民会議の提言を踏まえ、平成 27 年 8 月 18 日に相馬市と、平成 27 年 11 月 17 日に野沢温泉村と友好都市協定を締結した。

##### 【交流事業】

姉妹都市である大空町、友好都市である相馬市・野沢温泉村と交流事業を実施。

- ・ 契約旅館宿泊助成
- ・ 姉妹都市・友好都市交流コーナーでの各自治体の PR(庁舎 1 階ロビー)
- ・ I のまち いなぎ市民まつりにおけるびっくり市への出店

- ・いなぎ発信基地ペアテラスでの姉妹都市・友好都市の特産品販売(常設)
- ・Iのまち いなぎ市民まつり「農産物品評会」における市長賞・議長賞の贈呈。

【宿泊助成実績】

年度	宿泊助成（人）	宿泊助成（泊）
23年度	67	106
24年度	61	80
25年度	72	113
26年度	94	132
27年度	126	154
28年度	342	450
29年度	427	581
30年度	478	676

28年度より相馬市、野沢温泉村の宿泊助成開始

海外姉妹都市提携検討市民会議・・・完了

平成27年度に海外姉妹都市提携検討市民会議を4回開催し、海外姉妹都市の在り方及び候補地の選定、交流事業等について意見をいただいた。平成28年度は海外姉妹都市検討市民会議と名称を改め、市民会議4回、作業部会4回、現地視察1回を行い、平成29年1月18日付けで「海外姉妹都市を持つことが必要であると考え、海外姉妹都市との提携をすべきである」、「フォスターシティ市と姉妹都市を結ぶことにより、幅広い住民同士の交流が可能」、「フォスターシティ市から提案のある教育交流やスポーツ交流から始めるのが良い」という旨の提言がなされた。

### 第3節 安全安心なまちづくり

#### 1 防災対策の推進

- (1)地域防災計画の改定
- (2)情報収集・伝達システムの確立
- (3)防災意識の高揚
- (4)自主防災組織の結成と充実

稲城市地域防災計画の改定・・・実施継続中

地域防災計画の改定については、平成24年度と平成27年度に実施した。

被害規模想定を見直し、大規模災害への備え、防災・減災の対策の向上を図った。

なお、平成31年度中に、東京都の地域防災計画（震災編）の修正が予定されており、それを踏まえた稲城市地域防災計画の改定を令和2年度に予定する。

### 防災行政無線デジタル化及び防火水槽整備事業・・・完了

災害時における情報の伝達手段である防災行政無線について、高度化及び電波の有効活用の観点から、平成 27 年度に 58 局をアナログ波からデジタル波に移行した。

また、災害時の消防水利を確保するため計画的に防火水槽を整備し、消防水利の強化充実を図った。

#### 【防火水槽整備事業】

年度	整備内容
23年度	耐水性貯水槽60m <sup>3</sup> （大丸1基【東方公園】）
25年度	耐水性貯水槽40m <sup>3</sup> （向陽台1基・【中央図書館】）、60m <sup>3</sup> （上平尾1基【4号街区公園】）
28年度	耐震性貯水槽60m <sup>3</sup> （上平尾1基【消防出張所】）

### 耐震改修補助事業・・・実施継続中

市内の耐震化を促進するため、旧耐震基準木造住宅を戸別に訪問し、耐震化調査及び耐震改修の勧奨に努めた。（平成 30 年 10 月 1 日現在の住宅耐震化率は 89%）

### 防災訓練・・・実施継続中

防災関係機関の連携及び災害時の自助の力を高めるため、自主防災組織を中心に多くの市民の参加を得て、防災訓練を実施した。

年度	実施回数	参加者数
23年度	1回	1,162人
24年度	1回	1,360人
25年度	1回	758人
26年度	1回	2,261人
27年度	1回	2,074人
28年度	1回	1,349人
29年度	1回	1,146人
30年度	1回	1,808人

### 災害時生活用水井戸の整備・・・完了

大規模災害時の停電や水道施設の損壊等による長期に渡る断水が予想されるため、市民の避難所における生活用水を確保するため、災害時生活用水井戸を指定避難所となる小中学校等 19 施設に整備した。

年度	設置場所
24年度	市内小学校 2 施設設置（第七・平尾小）
25年度	市内小中学校 5 施設設置（第四・向陽台・長峰・若葉台小、第三中）

26年度	市内小中学校等6施設設置（第三・六・南山小、第一・二中、ふれんど平尾）
27年度	市内小中学校6施設設置（第一・二・城山小、第四・五・六中）

### 稲城長峰スポーツ広場内防災倉庫新築工事・・・完了

稲城市に想定される首都直下地震発生時の最大避難者数、約17,000人分の食糧・資器材の備蓄場所及び地域内輸送拠点として緊急支援物資の荷捌き場としても活用できるよう、平成27年度に稲城長峰スポーツ広場管理棟に防災倉庫を併設整備した。

#### 【防災倉庫概要】

- ・防災倉庫 204 m<sup>2</sup>
- ・備蓄食料・資器材：アルファ米等備蓄食料、飲料水、毛布、敷マット、インフルエンザ対策資器材

### 避難施設へのWi-Fi整備事業・・・完了予定

災害時の避難者の情報伝達・収集の利便性を確保するため、市内避難所に「いなぎ Free Wi-Fi」を設置した。

年度	整備内容
29年度	市内中学校6施設設置（第一、二、三、四、五、六）
30年度	市内小学校6施設設置（第一、二、七、平尾、城山、長峰）

※平成31年度設置予定：市内小学校6施設設置（第三、四、六、向陽台、若葉台、南山）

## 2 地域ぐるみの防犯活動

- (1)防犯体制の強化
- (2)防犯意識の啓発
- (3)防犯情報の提供
- (4)防犯ボランティア団体の育成

### 市内一斉防犯パトロール・・・実施継続中

犯罪のない安心して暮らせる社会をめざし、市民が地域の課題や目的に向かって、自主的・実践的活動を広げ、稲城市安全・安心まちづくり推進協議会を中心に警察署、防犯協会、防犯活動ボランティア団体、行政および市民が協力し、地域ぐるみで防犯活動を進めた。

#### 【刑法犯認知件数推移】

年度	件数
23年度	662件
24年度	573件
25年度	596件
26年度	657件

27年度	609件
28年度	544件
29年度	528件
30年度	443件

【市内一斉防犯パトロール実施状況】

年度	7月		12月	
	団体数	参加者数	団体数	参加者数
23年度	142団体	1,109人	135団体	959人
24年度	133団体	951人	130団体	912人
25年度	-	-	-	-
26年度	128団体	916人	126団体	874人
27年度	133団体	944人	131団体	946人
28年度	133団体	923人	137団体	989人
29年度	155団体	1,069人	143団体	968人
30年度	159団体	919人	162団体	949人

※25年度は荒天及び雨天のため中止

【防犯活動資機材支給団体及び防犯活動個人ボランティア】

年度	団体数	参加者数
23年度	99団体	-
24年度	100団体	-
25年度	104団体	-
26年度	107団体	-
27年度	115団体	-
28年度	117団体	15人
29年度	121団体	20人
30年度	126団体	21人

### 3 消防体制の充実

(1)消防運営体制の充実

(2)火災予防体制の推進

消防団第二分団拠点施設整備事業・・・完了

市街地の開発、人口増加などを考慮した消防機動力の充実強化を図るため、恒久的な消防団第二分団詰所を平成26～27年度の2カ年で建設し平成28年4月開所した。

【施設概要】

- ・構造：鉄筋コンクリート造
- ・延べ床面積：244.43㎡

- ・機能：消防団第二分団詰所、備蓄倉庫、自主防災組織防災拠点施設

### 消防ポンプ自動車等整備事業・・・完了

市街地の開発、人口増加などを考慮した消防機動力の充実強化を図るため、消防ポンプ自動車等の消防車両を整備した。

#### 【消防車両更新整備状況】

年度	消防署		消防団	
23年度	消防ポンプ自動車	1台		
24年度	救助工作車	1台		
25年度	梯子消防自動車	1台		
26年度	消防ポンプ自動車	1台		
29年度			消防ポンプ自動車	4台 (三,六,七,八分団)
30年度	化学消防自動車	1台		

### 消防緊急指令施設及び消防無線デジタル整備事業・・・完了

平成26年度に消防救急活動の高度化及び電波の有効利用の観点から、消防無線用電波（常備・非常備）をアナログ方式からデジタル方式に整備した。また、その一環として外国人からの緊急通報時及び救急現場や消防訓練時での即応体制として、電話通訳オペレーターを介した緊急通報電話通訳委託事業を開始した。

#### 【常備】

年度	整備内容
26年度	消防緊急指令施設及び消防デジタル無線装置 1式

#### 【非常備】

年度	整備内容
26年度	携帯無線機30基・可搬型無線機2基・車載型無線機9基 計41基

### 第三次稲城市消防基本計画の策定・・・完了

市単独消防の特性を活かし、本市が目指す消防体制を明確にするとともに、これを実現するため、現状と課題、施策を示す第三次稲城市消防基本計画（平成28年度から10年計画）を平成27年度に策定した。

### 消防出張所整備事業・・・完了

消防署から遠い地域における救急車等緊急車両の到着時間短縮を目的として、高所などの各種災害を想定した多種多様な訓練ができる消防訓練棟を併設し、地域の災害活動拠点とし

て自家用給油施設、自家発電設備、防火水槽など整備した消防出張所を、平成 29 年 2 月に建設した。

平成 30 年度における、平尾・坂浜・若葉台への救急件数は 1,066 件で、現場到着平均時間は 4 分 3 秒であり、開所前の本署からの現場到着平均時間 8 分 18 秒と比べ、4 分 15 秒の短縮が図られた。

【建築工事内容】

- ・敷地面積：1,380 m<sup>2</sup>

出張所庁舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 3階建て</li> <li>・建築面積：370.9 m<sup>2</sup></li> <li>・延床面積：993.07 m<sup>2</sup></li> </ul>
訓練棟	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構造：鉄筋コンクリート造 3階建て</li> <li>・建築面積：25.75 m<sup>2</sup></li> <li>・延床面積：75 m<sup>2</sup></li> </ul>
訓練棟資機材庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築面積：21 m<sup>2</sup></li> <li>・延床面積：21 m<sup>2</sup></li> </ul>
油庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築面積：6.45 m<sup>2</sup></li> <li>・延床面積：6.45 m<sup>2</sup></li> </ul>
防災施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震性防火水槽（60 t）</li> <li>・自家用発電機（49KVA）</li> <li>・自家用給油施設（ガソリン 10,000 L・軽油 5,000 L）</li> </ul>

長峰コミュニティ防災センター増築工事・・・完了

災害時における消防団員の待機場所として機能の充実を図るため、詰所待機室及び女子更衣室等を整備するため、平成 26 年度に増築工事を実施した。

【施設概要】

- ・構造：鉄筋コンクリート造
- ・延べ床面積：185.82 m<sup>2</sup>（内、増築部分 13.77 m<sup>2</sup>）
- ・増築概要：消防団第八分団詰所待機室及び女子更衣室の整備

4 救急体制の充実

- (1)救急活動体制の強化
- (2)救急医療機関との連携強化
- (3)応急救護知識の普及促進と救急車の適正利用の推進



### 救急業務高度化資機材整備事業・・・完了予定

平成 24 年度、人口の増加や高齢化により増大する救急需要に対応するため、高規格救急自動車 1 台及び高度救命処置用資機材 1 式を更新した。

また、平成 29 年度の消防出張所の開所に伴う救急隊 1 隊増隊のため、平成 27 年度に高規格救急自動車 1 台及び高度救命処置用資機材 1 式を新規に整備した。

平成 31 年度に高規格救急車・高度救命処置用資機材の更新予定。

## 第 4 章 だれもが心豊かに暮らせる平和で安全なまちづくり

### 第 1 節 快適な環境への改善と保全の推進

#### 1 環境負荷低減の推進

(1)環境負荷低減に関する情報提供と意識啓発

(2)温室効果ガス排出抑制

### 第二次稲城市環境基本計画の策定・・・完了

市・市民・事業者が一体となって環境に関する取組みを進めていくための中長期的な計画を平成 25 年 3 月に策定した。(計画期間平成 25 年 4 月から 10 ヶ年)

### 環境保全等推進事業・・・実施継続中

環境負荷低減に関する市民の関心や意識を高めるため、情報提供・意識啓発を実施した。

#### 【推進事業】

年度	実施内容
23年度	環境白書の発行、広報特集号、みどり東京・温暖化防止プロジェクト事業実施、啓発活動
24年度	環境白書の発行、広報特集号、みどり東京・温暖化防止プロジェクト事業実施、啓発活動
25年度	環境白書の発行、広報特集号、地球温暖化防止事業等の啓発、生物多様性地域戦略策定作業
26年度	環境白書の発行、広報特集号、地球温暖化防止事業等の啓発、生物多様性基礎調査等
27年度	環境白書の発行、広報特集号、地球温暖化防止事業等の啓発、生物多様性環境講座等実施
28年度	環境白書の発行、広報特集号、地球温暖化防止事業等の啓発、生物多様性環境講座等実施
29年度	環境白書の発行、広報特集号、地球温暖化防止事業等の啓発、環境講座等実施、Eコプ 2017発表
30年度	環境白書の発行、広報特集号、地球温暖化防止事業等の啓発、環境講座等実施等

## 2 循環型社会づくり

(1)4 Rの推進

(2)一般廃棄物処理基本計画の改定

(3)廃棄物の適正な分別排出と処理の推進

(4)余熱利用

(5)し尿・浄化槽汚泥の収集・運搬の効率化

### ごみ減量再資源化推進事業・・・実施継続中

4 Rの推進のため、ごみの有料収集やごみと資源物との分別収集、資源ごみ集団回収補助、ごみ減量啓発活動等を継続した。

#### 【資源集団回収補助事業（回収量・実施団体数）】

年度	回収量（総量）	回収量（1人1日あたり）	実施団体数
23年度	2,406 t	77.2g	60団体
24年度	2,315 t	74.4g	62団体
25年度	1,919 t	61.0g	66団体
26年度	1,932 t	61.3g	68団体
27年度	1,931 t	60.4g	72団体
28年度	1,915 t	59.0g	72団体
29年度	1,897 t	57.8g	72団体
30年度	1,844 t	55.8g	74団体

#### 【可燃・不燃ごみ量】

年度	収集量（総量）	収集量（1人1日あたり）
23年度	14,921 t	478.0g
24年度	14,921 t	476.0g
25年度	14,747 t	468.7g
26年度	14,591 t	463.1g
27年度	14,729 t	460.8g
28年度	14,920 t	459.8g
29年度	14,781 t	451.0g
30年度	14,537 t	440.2g

#### 【推進事業】

年度	実施内容
23年度	組成分析、ごみ減量説明会、広報・HPによる啓発、生ゴミ処理容器補助、処理場見学実施
24年度	組成分析、説明会・見学会・啓発活動、使用済インクカートリッジ拠点回収開始、ゴミ処理容器補助
25年度	組成分析、説明会・見学会・啓発活動、使用済小型電子機器回収開始、資源ごみ集団回収補助

26年度	組成分析、説明会・見学会・啓発活動（環境学習会）、拠点回収、資源ごみ集団回収補助
27年度	組成分析、説明会・見学会・啓発活動（チラシの全戸配布等）、拠点回収、食品ロス対策開始
28年度	組成分析、説明会・見学会・啓発活動（HP内容充実等）、フードドライブ及び小型電子機器イベント実施
29年度	組成分析、説明会・見学会・啓発活動、フードドライブ及び小型電子機器イベント、みんなのメダルプロジェクト参加等
30年度	組成分析、説明会・見学会・啓発活動、フードドライブ等イベント実施・参加、充電式電池内臓型小型電子機器個別回収実施

### 第二次稲城市一般廃棄物処理基本計画の策定・・・完了

市・市民・事業者が、それぞれの役割分担と相互協力に基づき、長期的、計画的にごみの減量と処理、資源リサイクルを行うための運営指針として第二次稲城市一般廃棄物処理基本計画を平成26年3月に策定した。（平成26年4月から10ヵ年）

## 3 快適な生活環境の確保と清潔なまちづくり

### (1)都市型公害への対策

### (2)美化の推進

### (3)自然環境の保全

#### 路上喫煙の制限に関する経費・・・実施継続中

公共空間における喫煙の規制・適正化に向け、「受動喫煙」や「周囲の人に対する危険及び迷惑」、「吸い殻のポイ捨て」を招くおそれのある路上喫煙を規制するため、平成30年4月1日から「稲城市路上喫煙の制限に関する条例」を施行し、条例に基づく路上喫煙防止指導員による巡回指導、啓発物の設置等による周知・啓発等を実施した。

#### 生物多様性の確保・・・実施継続中

人と自然の共生したまちをめざして、豊かな自然環境の保全と土地の有効活用とのバランスに配慮し、多様な希少動植物の保全に取組み、生物多様性の確保を図った。平成26年には、生物多様性について計画的に推進するため、生物多様性いなぎ戦略（平成27年度から10ヵ年）を策定した。

#### 【活動】

年度	実施内容
27年度	生物多様性普及、啓発・市民団体との共催講座実施、地球温暖化対策研究参加
28年度	生物多様性普及、啓発・市民団体との共催事業実施、官学協働の外来生物駆除等の実施

29年度	生物多様性普及・啓発活動、広報特集号、市民団体協働講座等実施、イベント森すまいる開催等
30年度	生物多様性普及・啓発活動、広報特集号、市民団体協働講座等実施、イベント森すまいる開催等

## 第2節 産業の振興

### 1 都市農業の振興

- (1)経営意欲の高い担い手の育成や付加価値の高い農産物生産による安定した農業経営の確立
- (2)環境と調和した持続性の高い農業の確立
- (3)他産業との連携や市民との交流による新たな農業経営の推進

#### 認定農業者経営改善支援事業・・・実施継続中

熱意と意欲を持って農業経営に取り組む農業者自らが目標とする経営改善計画達成を支援するため、補助事業の実施、経営改善相談会の開催、研修・講習会等を実施した。

#### 【認定農業者経営改善支援補助事業】

年度	補助件数
23年度	6件
24年度	7件
25年度	6件
26年度	7件
27年度	6件
28年度	8件
29年度	8件
30年度	7件

#### 【経営改善相談会等】

認定から3年目及び5年目の認定農業者を対象に経営改善相談会等を毎年実施した。

#### 防薬対策事業・・・実施継続中

環境保全型農業を推進するため、稲城の梨生産組合及び高尾ぶどう生産組合に対して、農薬の飛散を防止する防薬シャッターの設置費用の一部を補助した。

また、スイングスプリンクラーの導入費用についても補助対象とした。

年度	防薬シャッター設置	スイングスプリンクラー設置
23年度	7件	-
24年度	5件	2件
25年度	10件	1件
26年度	6件	4件
27年度	8件	7件

28年度	14件	3件
29年度	11件	2件
30年度	4件	2件

農業体験農園開設等支援事業・・・実施継続中

市民参加型農業の推進、安定した農業経営の確立、農地の保全等を目的として、農家開設型市民農園や農業体験農園の開設、拡充にかかる経費の一部を補助した。

年度	支援件数
23年度	2件
24年度	0件
25年度	0件
26年度	0件
27年度	3件
28年度	2件
29年度	0件
30年度	0件

2 地域社会との共生をめざす製造業・情報通信業などの工業の育成

- (1)事業所間、産学官の広域的な連携の促進
- (2)人材育成の支援
- (3)市民に親しまれる工業・建設業の育成

3 市民生活を豊かにする商業の活性化

- (1)商業基盤の整備と商店街の活性化
- (2)地域資源を活用した商業の振興
- (3)市民に親しまれる商業の育成

商工会支援事業・・・実施継続中

商業の活性化を推進するために、商店街の主体的な取組みの支援や魅力的な商店街の形成の推進、各商店の商業機能の向上支援等を、稲城市商工会と連携して実施した。また、地域資源を活かした逸品づくりを支援し、稲城ブランドを市内外へ発信した。

【住宅改修等補助事業】

年度	補助件数
23年度	56件
24年度	106件
25年度	136件
26年度	92件

27年度	88件
28年度	84件
29年度	88件
30年度	82件

【新規ブランド創出事業】

年度	認証数
23年度	未実施
24年度	5商品
25年度	5商品
26年度	4商品
27年度	2商品
28年度	5商品
29年度	7商品
30年度	8商品

【市内共通商品券事業】

消費の市外流出防止と商店の活性化を図るため、年1回市内共通商品券 10,000 冊を販売し、毎年完売している。(平成 27 年度は、国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用した、稲城なしのすけドリーム商品券 20,000 冊を販売)

稲城市商業活性化プランの推進と策定・・・実施継続中

暮らしに寄り添う便利な街、市民が主役の楽しみある街づくりを推進するため、商工会と連携して事業を実施した。

【稲城市商業活性化プラン策定支援事業】

稲城市商工会における平成 31 年度中の稲城市商業活性化プランの策定に向け、平成 30 年度においてはコンサルタント事業者の選定等、商工会の支援を行なった。

4 まちの賑わいの創出

- (1) 駅前の賑わい
- (2) 新規創業者の育成
- (3) 魅力ある商店の育成

新規創業等支援（小口事業資金融資あっせん事業）・・・実施継続中

市内の魅力的な商業空間の形成を推進しまちの賑わいを創出するため、新規に創業する方への支援や、商工会や関連団体が行う創業研修への参加を支援した。また、新規創業者の金銭的負担の軽減を図るため、融資あっせん事業を実施した。

年度	実行件数・金額	
23年度	4件	19,000千円
24年度	0件	0千円
25年度	1件	4,000千円
26年度	5件	17,400千円
27年度	4件	11,500千円
28年度	5件	16,000千円
29年度	1件	2,500千円
30年度	5件	16,500千円

## 5 観光・スポーツ・レクリエーションを通じたまちの活性化

(1)地域資源を活かした観光事業の推進

(2)市民・本市来訪者への効果的な情報発信によるまちの賑わいの創出

### 観光推進事業・・・実施継続中

年度	実施内容
23年度	・桜・梨の花まつり（第1回） ・稲城市民デー in ジャイアンツ球場
24年度	・桜・梨の花まつり（第2回） 4/7開催、来場者2,770人 ・稲城市民デー in ジャイアンツ球場 8/4開催、来場者721人（うち無料招待者223人） ・ゆるキャラサミット in 羽生への参加 ゆるキャラグランプリ成績 865体中93位 ・メカデザイナーズサミット（第1回） 12/15開催、来場者数延べ320人
25年度	・桜・梨の花まつり（第3回） 4/6開催、来場者1,410人 ・稲城市民デー in ジャイアンツ球場 7/27開催、来場者1,122人（うち無料招待者245人） ・ゆるキャラサミット in 羽生への参加 ゆるキャラグランプリ成績 1,580体中30位 東京都1位 ・婚活事業（東京ヴェルディとの連携） 参加人数37人 ・メカデザイナーズサミット（第2回） 3/8開催、来場者数延べ370人
26年度	・桜・梨の花まつり（第4回） 4/5開催、来場者5,250人 ・大丸用水れんげまつり（第1回） 4/29開催、来場者400人 ・観光ウォーキングツアー（年10回） 参加人数延べ269人 ・稲城市民デー in ジャイアンツ球場 7/26開催、来場者1,309人（うち無料招待者162人） ・稲城ぶらり散歩スタンプラリー（年4回） 参加人数延べ455人 ・ゆるキャラグランプリ2014 in あいちセントレアへの参加 ゆるキャラグランプリ成績 1,699体中104位 東京都1位 ・婚活事業（年2回） 参加人数45人 ・メカデザイナーズサミット（第3回） 3/14開催、来場者数延べ300人 ・観光総合冊子（るるぶ特別編集号）の作成 ・稲城市観光マップ「稲城ぶらり散歩」の更新

27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜・梨の花まつり（第5回） 4/4開催、来場者7,620人</li> <li>・大丸用水れんげまつり（第2回） 4/29開催、来場者1,000人</li> <li>・観光ウォーキングツアー（年13回） 参加人数延べ425人</li> <li>・稲城市民デー in ジャイアンツ球場 8/1開催、来場者1,093人（うち無料招待者56人）</li> <li>・稲城ぶらり散歩スタンプラリー（年4回） 景品応募数延べ526人</li> <li>・婚活事業（年4回） 参加人数118人</li> <li>・メカデザイナーズサミット（第4回） 3/19開催、来場者数延べ300人</li> <li>・観光PRポスターの作成</li> <li>・メカニックデザイナー大河原邦男プロジェクトメインビジュアルポスターの作成 市の魅力向上、観光事業の推進を目的に、大河原邦男氏のデザインで作成</li> <li>・稲城なしのすけ、ハロのオブジェ製作</li> <li>・観光基本計画の策定 28～32年度までの5ヵ年計画</li> </ul>
28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜・梨の花まつり（第6回） 4/2・3開催、来場者14,410人 2日間開催となり、出店者、来場者ともに大幅に増加</li> <li>・大丸用水れんげまつり（第3回） 4/29開催、来場者1,500人</li> <li>・観光ウォーキングツアー（年9回） 参加人数延べ278人</li> <li>・稲城市民デー in ジャイアンツ球場 8/28開催、来場者722人（うち無料招待者81人）</li> <li>・稲城ぶらり散歩スタンプラリー（年4回） 景品応募数延べ727人</li> <li>・婚活事業（年4回） 参加人数86人</li> <li>・メカデザイナーズサミット（第5回） 2/4開催、来場者数延べ330人</li> <li>・観光パンフレットの作成</li> <li>・メカニックデザイナー大河原邦男プロジェクトメインビジュアルポスターの作成</li> <li>・稲城市観光マップ「稲城ぶらり散歩」の更新</li> <li>・ヤッターワン及びスコップドッグのデザインプレートの設置 稲城長沼駅南側用水路の連絡防止策に各7枚ずつ設置</li> <li>・稲城繁盛節のリメイク 市制施行45周年記念事業の一環で実施 原田直之氏、江島ちあき氏による再録音</li> <li>・京王線沿線5市観光連携 府中・調布・日野・多摩・稲城市による観光連携 “京王線沿線” おもしろ玉手箱” 体験・体感ツアーの開催（着地型旅行商品企画造成）</li> <li>・世界キャラクターサミット in 羽生への参加</li> </ul>
29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜・梨の花まつり（第7回） 4/1・2開催、来場者8,697人</li> <li>・大丸用水れんげまつり（第4回） 4/29開催、来場者1,700人</li> <li>・観光ウォーキングツアー（年8回） 参加人数延べ290人</li> <li>・稲城市民デー in ジャイアンツ球場 9/3開催、来場者2,045人（うち無料招待者74人）</li> <li>・稲城ぶらり散歩スタンプラリー（年2回） 景品応募数延べ297人</li> <li>・婚活事業（年6回） 参加人数108人</li> <li>・メカデザイナーズサミット（第6回） 1/13開催、来場者数延べ490人</li> <li>・観光パンフレットの作成</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メカニックデザイナー大河原邦男プロジェクトメインビジュアルポスターの作成</li> <li>・稲城市観光協会設立検討協議会の開催（年3回） 観光協会設立の必要性を含めた検討協議</li> <li>・京王線5市観光連携 府中・調布・日野・多摩・稲城市による観光連携 都庁観光情報センター、東京スカイツリーにおける観光PR</li> <li>・南武線沿線5市連携 立川・国立・府中・稲城・川崎市によるシティプロモーション連携 イベント共同PR事業「なんぶりんぐ」の実施</li> <li>・大阪府泉佐野市との特産品相互取扱協定 関西国際空港内のおみやげショップ等での稲城の太鼓判等の取り扱い いなぎ発信基地ペアテラスにおける泉州タオルの取り扱い</li> <li>・レンタサイクル実証実験 11/11～11/26の期間で稲城長沼駅において実施し、延べ16台の稼働</li> <li>・いなぎ観光案内人の組織化 観光ウォーキング事業の講師、観光ガイドの外部受注</li> </ul>
30年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜・梨の花まつり（第8回） 4/7・8開催、来場者11,202人</li> <li>・大丸用水れんげまつり（第5回） 4/29開催、来場者1,800人</li> <li>・観光ウォーキングツアー（年6回） 参加人数延べ201人</li> <li>・稲城市民デー in ジャイアンツ球場 9/22開催、来場者976人（うち無料招待者475人） 無料招待者を中学生以下から市内在住・在勤・在学に変更</li> <li>・稲城ぶらり散歩スタンプラリー（年2回） 景品応募数延べ183人</li> <li>・婚活事業（年3回） 参加人数48人</li> <li>・メカデザイナーズサミット（第7回） 来場者数延べ1,268人</li> <li>・観光パンフレットの作成</li> <li>・稲城市観光マップ「稲城ぶらり散歩」の更新</li> <li>・稲城市観光協会の設立 6/1設立、3/1職員配属、4/1本格稼働 ペアテラス指定管理者応募、職員採用、諸規則制定、各種許認可取得等</li> <li>・南多摩3市観光連携（市長会連携） 稲城・町田・多摩市による観光連携ウォーキング事業、観光セミナー、観光マップ製作など</li> <li>・京王線沿線4市観光連携（市長会連携） 府中・日野・多摩・稲城市による観光連携 市民及び外国人によるワークショップ、観光マップ製作など</li> <li>・京王線沿線5市観光連携 府中・調布・日野・多摩・稲城市による観光連携 都庁観光情報センター、観光情報センター多摩における観光PR</li> <li>・南武線沿線5市連携 立川・国立・府中・稲城・川崎市によるシティプロモーション連携 市長会助成金を活用したフォトコンテストの開催</li> <li>・駒沢女子大学、稲城市観光協会との産官学連携協定 稲城市観光協会の設立記念と合わせシンポジウムを開催</li> <li>・日本自動車連盟、稲城市観光協会との観光協定 クーポン情報誌への梨情報掲載、JAFナビへのドライブルート掲載など</li> <li>・シェアサイクルの導入 株式会社さくらコマースが事業展開する「のりすけ」を市内に設置 30年度末時点で公共施設・民間施設合わせて16カ所にステーションを設置</li> <li>・稲城クロスの開催 公園使用等に関して主催者であるChampion System JAPANに協力</li> </ul>

### 観光発信拠点整備事業・・・完了

稲城市の観光情報を効果的に発信していくために、JR南武線稲城長沼駅高架下になぎ発信基地ペアテラスを平成28年4月に開設した。

#### 【観光発信拠点整備事業】

マーケットスペース、プロモーションスペース、ギャラリースペース、コンシェルジュスペースからなる観光発信拠点を設置、市の観光情報の発信強化に取り組んだ。特産品の梨・高尾ぶどうや特産品を使った市内のお土産『稲城の太鼓判』等の販売、イベント等を開催し、市外からの来訪者の増加を図った。

#### 【モニュメント整備事業】

観光資源としての話題性や本市への来訪者を増やすことを目的として、平成27年度に大河原邦男氏ゆかりの作品のモニュメント2体（ガンダム&シャア専用ザク）を設置し、いなぎ発信基地ペアテラスの開業にあわせ除幕、お披露目した。

### 「いなぎWi-Fi」整備プロジェクト・・・実施継続中

市民生活の向上と市内を訪れる方の利便性向上を図ることを目的として、平成28年度に公共施設及び駅等へ無料の公衆Wi-Fi「いなぎ Free Wi-Fi」を導入、また、「いなぎ Free Wi-Fi」に参画を希望する市内民間事業者等について、機器の設置に係る経費を補助した。

#### 【公共施設への設置状況】

市役所、平尾出張所、iプラザ、複合施設ふれんど平尾、中央文化センター、第二文化センター、第三文化センター、第四文化センター、城山文化センター、地域振興プラザ、保健センター、総合体育館、中央図書館、オーエンス健康プラザ

#### 【駅への設置状況】

- ・京王相模原線3駅の駅構内  
京王よみうりランド駅、稲城駅、若葉台駅
- ・JR南武線3駅の駅前広場等  
矢野口駅、稲城長沼駅、南多摩駅

#### 【Wi-Fi環境整備促進補助事業】

年度	事業者数	アクセスポイント数
28年度	4事業者	6カ所
29年度	1事業者	2カ所
30年度	1事業者	1カ所

### (仮称)稲城市観光協会の設立・・・完了

来訪者の増加、交流人口の増加、地域の活性化、地域の文化の発展等を図るための観光事

業の担い手となる稲城市観光協会を平成30年6月1日に設立した。

#### 【協議会と準備会】

平成29年度に（仮称）稲城市観光協会設立検討協議会を設置、観光協会設立の必要性や目的、業務、組織等に関する検討協議を行い、協会設立に必要な基本的枠組みを取りまとめた。

平成30年度に稲城市観光協会設立準備会を設置。観光協会の設立に向けた準備業務のほか、設立登記、設立総会の開催等について協議。6月1日の設立に向けて、設立総会における議案の整理、平成31年4月からの本格稼働に向けた課題の整理など、協会設立及び本格稼働に必要な事項を協議した。

#### 【稲城市観光協会】

○平成30年5月31日 稲城市観光協会設立総会

○平成30年6月1日 稲城市観光協会設立登記

○平成30年6月8日 駒沢女子大学との産官学連携協定の締結

稲城市の観光産業の発展に向けた相互協力、観光振興による地域活性化、観光に携わる人材の育成を目的として、稲城市、駒沢女子大学、稲城市観光協会の三者間で協定を締結

○平成30年7月2日 JAFとの観光協定の締結

観光振興を通じて、地域社会の発展に寄与することを目的として、稲城市、日本自動車連盟、稲城市観光協会の三者間で協定を締結

○ペアテラス指定管理者への応募

○観光協会設立記念セミナーの開催（11月25日）

・基調講演「観光振興とシビックプライド」

・パネル討論「稲城観光の今後の展開について」

○稲城市観光協会の本格働（平成31年4月1日）

### 第3節 安定した消費生活の推進

#### 1 市民の消費生活に関する意識啓発

(1)自立した消費生活の推進

(2)消費者相談と情報提供の充実

##### 消費者ルーム運営事業

##### 稲城市消費生活センターの充実・・・実施継続中

消費者講座・イベント等の実施により消費者意識の高揚を図り、自ら判断・行動することのできる自立した消費者の育成を推進し、消費者団体講座への講師派遣などにより消費者団体の自主的な活動を支援した。

また、消費者被害の防止と被害の解決を図るための相談体制を充実するとともに、消費者

被害防止に関する情報提供等を実施した。

- ①消費生活相談の月～金曜日開設
- ②消費生活センターの運営
- ③講座及び消費者啓発の企画運営（消費生活センター運営協議会へ委託）
- ④高齢者に対する悪質商法被害防止のための出前講座の開催（全12回）
- ⑤若者向け消費者教育用クリアファイルの作成、配布（成人式・駒沢女子大学入学式）
- ⑥中学生向け消費者教育を市立中学校6校にて実施

## 2 市民の消費生活環境に対する意識啓発の推進

(1)省資源・省エネルギー意識のPR

(2)消費行動への働きかけ

くらしフェスタ事業・・・実施継続中

環境負荷の少ない商品やサービスの選択等、環境に配慮した消費行動の推進に向けた意識啓発を目的に、消費者啓発事業「稲城くらしフェスタ」を開催した。

開催実績

年度	場所	参加者数（人）
23年度	城山公園	3,600
24年度	城山公園	2,850
25年度	市役所西側駐車場	1,734
26年度	稲城市総合体育館前とその周辺	1,350
27年度	稲城市総合体育館前とその周辺	2,240
28年度	稲城複合施設ふれんど平尾	770
29年度	稲城市立iプラザ周辺	1,600
30年度	稲城市立iプラザ周辺	1,700

## 第5章 環境にやさしく活力あふれるまちづくり

### 第1節 安心して暮らせるまちづくり

#### 1 計画的な土地利用の推進

(1)計画的な土地利用

(2)地区計画の拡充

稲城市都市計画マスタープランの改定・・・実施継続中

土地地区画整理事業の進展や人口の増加等の様々な状況の変化に対応し、秩序あるまちづくりを行うため、平成25年3月に都市計画マスタープランを改定、これに基づき適切な土地利用の推進を図った。

令和4年度の改定に向け、令和2年度から改定作業を実施する予定。

#### 用途地域等の変更・・・実施継続中

市街地の安全性の向上や良好な住環境を形成するため、土地区画整理事業等の都市基盤整備の進捗に併せ、随時、用途地域の見直しを実施した。

#### 地区計画区域の指定・・・実施継続中

土地区画整理事業等の都市基盤整備の進捗に併せ、随時見直しを実施し、地区の特性を活かした良好な街並みの維持・保全・創出を図った。

また、市内のまちなみ景観の維持・保全を図るため、建築物の色彩についての基準となる『稲城市景観色彩ガイドライン』を平成23年度に策定した。

## 2 市街地の整備

### (1)土地区画整理事業の推進

### (2)中心地区と生活拠点の整備

#### 榎戸土地区画整理事業・・・実施継続中

令和2年度の事業完了を目指して計画的に建物移転・道路築造工事等の進捗を図り、平成30年度末現在の建物移転棟数ベースでの進捗率は、約88%となった。

地区北西部において、事業を取り巻く社会情勢や住民ニーズの変化に対応した安全・安心に暮らせるまちづくりを目指した道路の整備や災害時の適切なオープンスペースの確保などの課題解決のため、道路形状や公園の適切な配置を考慮した換地設計の変更作業を進めている。

#### 【建物移転棟数（要移転492棟）】

年度	移転棟数	移転完了棟数	進捗割合(%)
～22年度	329	329	66.9
23年度	20	349	70.9
24年度	26	375	76.2
25年度	9	384	78.0
26年度	19	403	81.9
27年度	19	422	85.8
28年度	8	430	87.4
29年度	2	432	87.8
30年度	2	434	88.2

### 矢野口駅周辺土地区画整理事業・・・実施継続中

駅前広場周辺の建物移転と整地工事を行い、駅前広場が完成した。また、多摩都市計画道路3・1・6号南多摩尾根幹線沿道の整備を図った。旧多摩川スーパー堤防C工区における代替事業を推進するため、換地変更作業を進めている。

#### 【建物移転棟数（要移転 397 棟）】

年度	移転棟数	移転完了棟数	進捗割合(%)
～22年度	162	162	40.8
23年度	10	172	43.3
24年度	5	177	44.6
25年度	8	185	46.6
26年度	2	187	47.1
27年度	2	189	47.6
28年度	2	191	48.1
29年度	1	192	48.4
30年度	1	193	48.6

### 稲城長沼駅周辺土地区画整理事業・・・実施継続中

関連事業であるJR南武線連続立体交差事業の進捗にあわせ、駅周辺の建物移転を進め、南武線の北側側道の整備や川崎街道からJR南武線までの区間における多摩都市計画道路3・4・14号稲城長沼駅前通り線の整備を行った。

また、駅周辺の賑わいや活力を創出するため、高架下に整備した「いなぎ発信基地ペアテラス」と一体的な利用ができる公園を駅南側に整備した。

#### 【建物移転棟数（要移転 274 棟）】

年度	移転棟数	移転完了棟数	進捗割合(%)
～22年度	77	77	28.1
23年度	7	84	30.7
24年度	17	101	36.9
25年度	10	111	40.5
26年度	10	121	44.2
27年度	4	125	45.6
28年度	1	126	46.0
29年度	6	132	48.2
30年度	2	134	48.9

南多摩駅周辺土地区画整理事業・・・実施継続中

関連事業であるJR南武線連続立体交差事業の新駅舎開業に合わせ、駅北口の駅前広場や南武線北側の大丸用水及び公園の整備を実施した。

【建物移転棟数（要移転 239 棟）】

年度	移転棟数	移転完了棟数	進捗割合(%)
～22年度	132	132	55.2
23年度	17	149	62.3
24年度	7	156	65.3
25年度	4	160	66.9
26年度	5	165	69.0
27年度	4	169	70.7
28年度	2	171	71.5
29年度	2	173	72.4
30年度	6	179	74.9

南山東部土地区画整理事業・・・実施継続中

急峻な崖地や急勾配・急カーブで狭隘な読売ランド通りなどの危険箇所及び幹線道路等の整備改善を図り、また、公園緑地の保全・再生を図る等、緑と調和のとれた安心安全な街の形成を目指して整備を行った。

【使用収益開始ベース】全宅地面積 526,654.56 m<sup>2</sup>

年度	使用収益開始面積	使用収益開始面積累計	執行率
23年度	0.00m <sup>2</sup>	0.00m <sup>2</sup>	0.0%
24年度	50,540.80m <sup>2</sup>	50,540.80m <sup>2</sup>	9.5%
25年度	28,618.96m <sup>2</sup>	79,159.76m <sup>2</sup>	15.0%
26年度	11,092.34m <sup>2</sup>	90,252.10m <sup>2</sup>	17.1%
27年度	39,600.01m <sup>2</sup>	129,852.11m <sup>2</sup>	24.6%
28年度	4,155.00m <sup>2</sup>	134,007.11m <sup>2</sup>	25.4%
29年度	1,797.00m <sup>2</sup>	135,804.11m <sup>2</sup>	25.7%
30年度	9,521.09m <sup>2</sup>	145,325.20m <sup>2</sup>	27.5%

上平尾土地区画整理事業・・・完了

多摩都市計画道路3・4・17号坂浜平尾線を中心に駅近郊の利便性を活かした都市基盤の整備と、緑と農地が共存した、日々の暮らしの中で自然と農を楽しむまちづくりを行った。

【使用収益開始ベース】全宅地面積 155,461.95 m<sup>2</sup>

年度	使用収益開始面積	使用収益開始面積累計	執行率
23年度	0.00m <sup>2</sup>	0.00m <sup>2</sup>	0.0%
24年度	6,515.77m <sup>2</sup>	6,515.77m <sup>2</sup>	4.2%

25年度	17,286.45㎡	23,802.22㎡	15.3%
26年度	10,553.68㎡	34,355.90㎡	22.1%
27年度	9,140.00㎡	43,495.90㎡	28.0%
28年度	8,130.55㎡	51,626.45㎡	33.2%
29年度	2,447.00㎡	54,073.45㎡	34.8%
30年度	101,388.50㎡	155,461.95㎡	100.0%

### 小田良土地区画整理事業・・・完了予定

上平尾地区と連続した都市基盤の整備と、小田良谷戸公園や牧場、農地などと共存した、特色のある街の形成を図った。

【使用収益開始ベース】全宅地面積 188,256.83 ㎡

年度	使用収益開始面積	使用収益開始面積累計	執行率
28年度	5,848.00㎡	5,848.00㎡	3.1%
29年度	13,835.00㎡	19,683.00㎡	10.5%
30年度	23,693.99㎡	43,376.99㎡	23.0%

## 3 充実した道路網の整備

- (1)広域的な道路網の整備促進
- (2)主要幹線道路の整備
- (3)生活に関わりの深い道路の整備
- (4)道路維持管理の充実

### 主要幹線道路の整備事業・・・実施継続中

広域幹線道路を補完し、市域の移動の円滑化と利便性の向上を図るため、整備を推進した。

年度	道路名称	事業内容
23年度	多7・4・5号線	用地買収、物件補償、物件調査積算、土地鑑定
24年度	多7・4・5号線	用地買収、物件補償、物件調査積算、測量調査修正、道路詳細設計委託
	多7・5・3号線	土地鑑定評価
25年度	多7・4・5号線	三沢川放流吐口詳細設計、物件補償、物件調査積算、土地鑑定、重力式擁壁設置工等
26年度	多7・4・5号線	土地鑑定、電線共同溝詳細設計、三沢川放流吐口工事、雨水管工事、用地買収、物件補償
	多7・5・3号線	測量及び道路基本設計
27年度	多7・4・5号線	電線共同溝法的手続、雨水排水施設工等
	多7・5・3号線	交通量調査、警視庁協議資料作成
28年度	多7・4・5号線	電線共同溝詳細設計、電線共同溝工事、用地買収、物件補償、土地鑑定
	多7・5・3号線	用地測量、土質調査（C B R調査等）
29年度	多3・4・36号線	トンネル整備工事



	多7・4・5号線	道路・電線共同溝詳細修正設計、道路新設工事、電線共同溝工事
	多7・5・3号線	電線共同溝予備設計
30年度	多3・4・36号線	トンネル整備工事
	多7・4・5号線	道路新設工事、電線共同溝入線工事
	多7・5・3号線	土地鑑定、道路予備修正設計

### 生活道路の整備事業・・・実施継続中

狭隘道路の解消やだれもが安心して利用できる安全な道路の整備に努めた。

年度	整備道路名称
23年度	市道168号線、市道398号線、市道1382号線、市道1636号線、補助市道1号線
24年度	市道398号線、市道1381・1382号線、市道1511号線、補助市道1号線
25年度	市道1636号線、市道1511号線、補助市道1号線、市道398号線
26年度	市道11号線、市道376号線、市道398号線、市道402号線、市道1511号線、市道2・2・8号線、三沢川側道整備（測量）
27年度	市道11号線、市道265号線、市道376号線、市道398号線、市道402号線、市道534号線、市道716号線、市道818号線、市道823号線、市道1438号線
28年度	市道325号線、市道914号線、市道1632号線、市道1673号線、市道1702号線、市道2・2・8号線
29年度	市道15号線、市道171号線、市道1702号線
30年度	市道171号線、市道533号線、市道537号線、市道1702号線

### 道路・橋梁の維持管理事業・・・実施継続中

道路や橋の安全性、利便性、快適性を保持するため、きめ細やかで適切な維持管理に努めた。また、だれでも安心して利用できるよう、歩道の段差解消や安全施設の改善を図った。

橋梁にあっては、その健全度を把握し計画的な修繕を可能とするため、85橋の橋梁点検を実施し、橋梁長寿命化計画を策定した。

年度	整備道路名称
23年度	市道1632号線、市道2号線、市道14号線、補助市道2号線
24年度	市道1632号線、補助市道2号線、市道2・2・8号線、市道1702号線、市道13号線、市道2号線、市道396号線、市道1556号線
25年度	市道2号線、市道1673号線、市道2・2・8号線
26年度	市道2号線
30年度	市道1673号線

## 4 河川・水路の整備

- (1)多摩川スーパー堤防の整備促進
- (2)三沢川の整備促進
- (3)水路や普通河川の整備・保全

### 多摩川スーパー堤防事業・・・事業見直し

平成24年にスーパー堤防整備区間から除外されたため事業見直しとなったが、旧スーパー堤防C工区及びその周辺について、代替支援措置である水防拠点整備のための作業を矢野口駅周辺土地区画整理事業の中で進めた。

年度	内容
23年度	「平成24年度水管理・国土保全局関係予算決定概要」において、稲城市がスーパー堤防整備区間から除外される。
25年度	矢野口駅周辺土地区画整理事業にてスーパー堤防事業に代わる代替支援措置について、国土交通省と「確認書」を締結

### 水路整備事業・・・実施継続中

治水と安全性を向上させ地域を浸水から守るため、水路・普通河川の整備・保全を実施した。市民が楽しめる親水機能と生態系に配慮した整備を行った。

年度	整備施設名	整備内容
23年度	押立掘	護岸詳細設計
24年度	大丸用水	補修調査設計
	押立掘	境界復元測量
	薄葉谷戸川	水路改修工事
25年度	押立掘	水路改修工事
26年度	本田掘	水路詳細設計、水路改修工事
27年度	本田掘	水路詳細設計、水路改修工事
	田川	水路詳細設計
	菅堀	測量調査
28年度	清水川	物件補償、水路詳細設計
	菅堀	水路詳細設計
	本田掘	水路改修工事
29年度	田川	物件補償、水路改修工事
	清水川	水路改修工事
30年度	菅堀	境界復元測量
	押立掘	水路詳細設計、水路改修工事
	菅堀	水路詳細設計

## 第2節 安全で快適なまちづくり

### 1 鉄道・バス交通の充実

(1) 鉄道交通の充実

(2) 市内バス路線網の充実

(3) i バス利用者の利便性の向上

### J R南武線連続立体交差事業・・・完了

市内の踏切を除却することで、交通渋滞の緩和と地域分断や踏切事故の解消を実現した。

年度	内容		
23年度	第二期区間	高架下り線（立川方面）	切換完了
24年度	第二期区間	高架上り線（川崎方面）	築造工事実施
25年度	第二期区間	高架上り線（川崎方面）	切換完了 立体化完成
26年度	稲城長沼駅	4線目工事完了	仮線撤去完了
27年度	第二期区間	北側側道工事完了	連続立体交差事業完了

### J R南武線高架下横断道路整備事業・・・完了予定

J R南武線連続立体交差事業の進捗に合わせ、高架下に横断道路を整備し、南北の地域分断の解消を図った。

年度	内容		
27年度	第二期区間	高架下横断道路工事（2路線）	完了
28年度	第二期区間	高架下横断道路工事（7路線）	完了

### iバスの運行事業・・・実施継続中

J R南武線の駅周辺整備等にあわせてiバス路線の見直しを実施し、市域の一体化と公共施設等への交通手段の充実を図った。

年度	実施内容
24年度	定期券をIC定期券に変更，稲城市地域公共交通検討協議会を設置
26年度	第Ⅰ期見直し路線運行開始（平成26年10月1日），稲城市地域公共交通会議を設置
27年度	iバス乗降調査委託事業実施
28年度	第Ⅱ期見直し路線運行開始（平成29年3月27日）
30年度	iバスの1年間の乗車実績が初めて50万人を突破（526,024人）

年度	乗車実績
23年度	417,144 人
24年度	469,001 人
25年度	485,730 人
26年度	458,069 人
27年度	450,321 人
28年度	466,957 人
29年度	470,568 人
30年度	526,024 人

## 2 交通安全の推進

### (1)交通安全対策の推進

### (2)交通安全施設の整備

### (3)自転車等駐車場の整備および利用促進

#### 稲城市交通安全計画の策定・・・完了

市民が安全かつ安心して快適に暮らせるまちの実現を目指し、稲城市交通安全計画を策定した。

平成 23 年度、第 6 次計画を策定 ※計画期間 平成 24 年度～平成 28 年度

平成 28 年度、第 7 次計画を策定 ※計画期間 平成 29 年度～平成 33 年度

#### 道路照明整備事業・・・実施継続中

道路照明の整備（新設や照度アップ）により、夜間における歩行者の安全通行の確保や防犯対策に努めた。

年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	計
設置数	62基	28基	37基	30基	18基	27基	21基	223基

また道路照明の LED 化により、安定した光源の確保に努めた。

・平成 25 年度 LED 防犯灯等リース契約 4,046 基

・平成 31 年度 LED 街路灯等リース契約 3,499 基

#### 有料自転車等駐車場整備事業・・・完了

##### 【自転車等駐車場台数】

J R 南武線高架事業により生じた高架下空間を利用して、各駅周辺に駐輪場を整備し、定期利用待ちがある状況を解消した。

年度	台数
23年度	3,149 台
24年度	3,149 台
25年度	3,149 台
26年度	3,149 台
27年度	4,612 台
28年度	4,681 台
29年度	5,007 台
30年度	5,000 台

## 3 下水道の整備

### (1)汚水排水整備区域の拡大

(2)計画的な維持管理の充実

(3)耐震化の推進

(4)雨水排水整備の促進

汚水排水整備事業・・・実施継続中

汚水排水整備事業については、主に組合施行の上平尾、小田良、南山東部土地区画整理事業他の進捗に合わせ第三期事業の汚水排水整備を進めた。

上平尾土地区画整理事業については、平成 29 年度に汚水排水整備が完了した。

小田良土地区画整理事業については、平成 31 年度に汚水排水整備が完了予定である。

南山東部区画整理事業については、令和 4 年度に汚水及び雨水排水整備が完了予定で進めている。

その他、第三期事業区域内（組合施行以外）について、汚水排水整備を進めている。

整備済延長	
上平尾土地区画整理事業	污水管 L = 5,340.04m
小田良土地区画整理事業	污水管 L = 7,816.22m
南山東部土地区画整理事業	污水管 L = 7,586.85m
南山東部土地区画整理事業	雨水管 L = 7,008.11m
その他第三期事業地区内	污水管 L = 10,897.43m

下水道維持管理計画の策定・・・実施予定

下水道管渠総延長は約 321km（污水約 256km，雨水約 65km）であり、管渠の耐用年数 50 年に対して、40 年以上経過した管が約 15km、30 年以上経過した管が約 86km となっている。

（平成 31 年 3 月 31 日現在）

国土交通省は「下水道事業のストックマネジメント実施に関するガイドライン 2015 年度版」を公表し、平成 28 年度より全国の自治体が下水道施設の持続的な機能確保及びライフサイクルコストの低減のために「ストックマネジメント計画（修繕・改築計画）」を策定し、当該計画に基づき、計画的な点検・調査及び長寿命化を含めた改築等の事業を実施することについて社会資本整備総合交付金事業（国費）の対象とした。

平成 31 年度から令和 2 年度までの 2 箇年において、「ストックマネジメント計画」を策定する上での、当市の実態を反映した維持管理・改築等に係る全体的な方針として「ストックマネジメント計画実施方針」の策定を行っていく。

【平成 31 年度以降の実施予定】

（平成 31 年度作業）

- ①施設管理情報の収集・整理
- ②リスク評価（被害規模・影響及び発生確率の検討等）

- ③施設の目標設定（事業及び事業量の設定）
- ④長期的な改築シナリオ設定（管理方法、改築条件、最適な改築シナリオの選定）  
（令和2年度作業）
- ⑤点検・調査計画の策定（頻度・項目の設定、単位の設定、優先順位の設定、対象施設・実施時期の検討、点検・調査の方法の検討、概算費用の算定等）

#### 下水道施設耐震化計画の策定・・・完了

平成27年度に「稲城市下水道総合地震対策計画」を策定した。

作業内容として、下水道管渠等で「重要な幹線等」について管路耐震診断調査を行った。

調査場所は、河川を横断する管路、緊急輸送路下の管路、防災拠点・避難所等へのアクセス道路下の管路を重要な幹線等とし、路線については、地盤条件から設定した各ブロック（6ヵ所）から1路線ずつを抽出し、シールド管路については、3路線を抽出し調査を行った。

このような条件で耐震診断の結果、許容の耐震性能は確保できていることが確認できた。

また、管きよと管きよとの継手部、マンホールと管きよとの継手部について耐震性を有しているとの結果が耐震診断より得られている。

#### 雨水排水整備計画の策定及び雨水排水整備事業・・・実施継続中

平成30年度に職員による主な既存用水路の現地踏査、過去の雨水被害状況の確認等を行い取りまとめた「雨水排水整備計画策定に向けての検討」について、平成31年度は稲城市域全体に検討区域を拡大するため、平尾地区など組合施行土地区画整理事業により整備された雨水管きよ等について、現地踏査や関連資料の収集等を進めている。

#### 下水道事業における地方公営企業法の適用

##### 稲城市下水道事業固定資産調査及び評価等業務

##### 稲城市下水道事業地方公営企業会計移行支援事業・・・完了予定

平成31年4月1日より下水道事業は、地方公営企業法を適用した。

稲城市下水道事業固定資産調査及び評価等業務については、平成30年3月31日で終了した。

取得時の下水道資産価格は、52,267,166,164円（平成29年度末時点）。

法適用時（平成31年4月1日）の下水道資産価格は、29,671,604,464円。

稲城市下水道事業地方公営企業会計移行支援事業については、令和2年3月31日まで継続中。

地方公営企業法に基づき、法適用初年度の予算を作成した。

平成30年度の下水道事業特別会計は、打ち切り決算を黒字で迎えた。

#### 4 住宅環境の向上

##### (1)良質な住宅の供給と誘導

##### (2)町界町名地番整理

###### 稲城市住宅マスタープランの改定・・・完了

稲城市の住宅施策の方向性を示すためのプランを、世情・時代による新たな課題に対応した施策の再構築を図り、市民・行政・事業者等の連携と協働による住宅施策の推進を図るため、平成25年3月に改定した。

計画期間：平成24年度～令和3年度

###### 町界町名地番整理・・・事業見直し

###### 住所整理事業・・・実施継続中

平尾地区において、土地区画整理事業地区を中心に、緊急自動車の活動や郵便業務、来訪者に分かりやすい住所の所在地の表示への整理を実施した。

長期総合計画に位置付けられている「町界町名地番整理事業」に、「住居表示の導入」を加え、「住所整理事業」としてまとめた。

年度	実施内容
27年度	住居表示制度の情報収集
28年度	都市計画課に住居表示担当を配置。住居表示制度の導入の検討開始。
29年度	上平尾土地区画整理事業の換地処分併せた町界町名地番整理の実施を決定。 稲城市町界町名地番整理審議会開催（平尾四丁目について諮問・答申）
	町区域等の新設及び変更について市議会にて議決及び告示（平尾四丁目新設等）
	稲城市住所整理市民協議会の設置及び開催（稲城市住所整理基本方針（素案）の検討・作成）
30年度	稲城市住所整理市民協議会から稲城市住所整理基本方針（案）を市長へ報告
	稲城市住居表示に関する条例新設
	稲城市住所整理審議会（稲城市住所整理基本方針（案）について諮問・答申）
	稲城市住所整理基本方針の決定 平尾四丁目等の町界町名地番整理を実施。

###### 団地再生の支援・・・実施継続中

持続可能なまちの実現のため、老朽化した団地について再生を支援していくための体制を整備し、情報提供等の支援を行った。

年度	実施内容
28年度	都市計画課に団地再生担当課長を配置
	平尾分譲住宅建て替えについての相談対応

29年度	平尾分譲住宅建て替えについての相談対応
	平尾センター地区まちづくり協議会へ出席（指導・助言・情報提供等）
30年度	平尾分譲住宅建て替えについての相談対応
	平尾センター地区まちづくり協議会へ出席（指導・助言・情報提供等）
	平尾センター地区まちづくり協議会より、平尾団地の将来まちづくり構想案報告書受領

### 第3節 豊かな水と緑のあるまちづくり

#### 1 緑を守り育てる

##### (1)緑の基本計画の改定

##### (2)緑地の保全

##### (3)公園整備の要請

#### 稲城市緑の基本計画の改定・・・完了

自然的な環境に恵まれた稲城市の特性を踏まえ、中長期的な視点から緑豊かなまちづくりを進めていくための指針である緑の基本計画を、都市基盤整備の発展や社会情勢の状況等に対応するために平成23年度に改定した。

#### 自然環境保全地域の指定・拡充・・・実施継続中

自然環境の保全のため、民有緑地について「稲城市における自然環境の保護と緑の回復に関する条例」に基づく自然環境保全地域の指定・拡充を進めた。

指定年度	面積
23年度	4,374.00㎡
24年度	2,914.00㎡
25年度	2,228.00㎡
26年度	0㎡
27年度	7,306.79㎡
28年度	0㎡
29年度	25,417.00㎡
30年度	0㎡

#### 2 楽しく魅力ある公園づくり

##### (1)公園の充実

#### 公園整備事業・・・実施継続中

土地区画整理事業などのまちづくりの進捗に併せ、公園を整備した。

また、既存の公園については、老朽化した施設の改良、遊具の安全基準の見直し、バリアフ



リーへの対応等を考慮した公園整備を進めた。

年度	整備施設名	整備内容
23年度	矢野口根方児童公園	すべり台、砂場設置
	稲城中央公園	複合遊具設置
24年度	稲城中央公園	トイレ建替・改修に伴う設計、工事、監理委託
	三沢川親水公園	トイレ新築に伴う設計及び工事、監理委託
	松葉公園	健康福祉施設新築に伴う設計
25年度	松葉公園	健康福祉施設新築に伴う工事、監理委託
	うまさん公園	公園灯LED化
	ときの広場	公園灯LED化
	亀山下公園	施設撤去、整地
26年度	亀山下公園	公園施設設計
	多摩川緑地公園	トイレ建設に伴う測量調査
	稲城中央公園	公園灯LED化
27年度	多摩川緑地公園	トイレ建設に伴う実施設計
	亀山下公園	公園施設設計、工事
	稲城中央公園	公園灯LED化、舗装補修
	平尾近隣公園	施設補修、公園灯設置
28年度	稲城中央公園	公園灯LED化
	平尾近隣公園	車止め改修
29年度	稲城中央公園	駐車場改良に伴う実施設計
	若葉台公園	公園灯LED化
	城山公園	施設整備
30年度	若葉台公園	公園灯LED化
	稲城中央公園	駐車場改良工事

### 3 水と緑のネットワークづくり

#### (1)水と緑のネットワーク

#### (2)散策路の整備

##### 水と緑の歩行者空間ネットワークの策定・・・完了

公園や水辺等の身近な水と緑の空間と、市の緑の骨格をなす多摩丘陵・樹林地・多摩川から構成される「緑の環」とをつなぎ、網の目のように市内を包む水と緑のネットワークを形成、水と緑に親しめる歩行者空間とするための計画を、平成24年3月に策定した「稲城市緑の基本計画」の中に位置づけた。

##### 散策路の整備事業・・・実施継続中

丘陵部の緑地、多摩川・三沢川・大丸用水に関連する親水緑道や公園緑地などにある散策

路について、だれもが安心して楽しめるよう、適切な維持管理を行った

#### 多摩川サイクリングロード整備事業・・・完了

多摩川原橋上流から都県境までの間のサイクリングロードを平成 29 年度に整備した。

##### 【整備概要】

- ・延長 175.5m
- ・幅員 3m

#### 4 まちなみ景観の形成

- (1)良好な景観の創出と誘導
- (2)公共サイン計画の策定

#### 都市計画道路の無電柱化・・・実施継続中

良好な景観形成と安全性の向上に向け、幹線道路を中心に無電柱化を計画的に進めた。土地区画整理事業地区内の幹線道路及び多摩都市計画道路 7・4・5 号東長沼矢野口線について、電線共同溝の整備進捗を図っている。(平成 31 年 3 月現在の無電柱化道路延長 約 8.8 km)

#### 公共サイン計画の策定・・・完了

市の持つ自然や公共施設について市民や来訪者に分かりやすく情報提供するため、周辺的环境との調和に配慮し、だれにでも分かりやすく表示する公共サインの整備を推進する「稲城市公共サインガイドライン」を平成 27 年 8 月に策定済み

## 第 6 章 市民とともに歩むまちづくり

### 第 1 節 市民参加の拡充

#### 1 市民協働の推進

- (1)市民が参加しやすい環境づくり
- (2)市民参加意識の向上
- (3)市民参加の機会の拡充と協働の推進

#### 2 行政情報の透明化

- (1)情報公開制度および個人情報保護制度の充実
- (2)公文書管理の充実
- (3)行政情報の積極的な提供

### ホームページ多言語化の充実・・・完了

市政情報をより多くの方へ発信するため、平成28年度に、市ホームページの自動翻訳機能の改修を行い、従来の英語・中国語・韓国語に、ポルトガル語・スペイン語を加え、多言語化の充実を図った。

## 第2節 行政サービス向上のための行財政

### 1 健全な行財政運営

(1)適正な行政運営

(2)計画的な財政運営

(3)既存施設の適正管理

### 市庁舎空調機器改修・・・完了予定

建築から30年余りが経過した市庁舎について、空調設備の老朽化が進んでいるため、空調機能の効率化を図るため、空調設備の改修を実施している。令和2年度完了予定。

年度	実施内容
26年度	既存の空調設備の冷暖房効率を上げるため、空調機械室のコイル清掃及び吸気口清掃を実施した。また、改修に向けた検討を実施した。
27年度	各種改修方式（現行の水冷式、ガスヒートポンプ式、電気ヒートポンプ式）や業務を継続しながら改修ができる工法等、検討課題を整理した。
28年度	費用対効果等に優れた設備導入に向けて基礎調査を実施し、現状設備のエネルギー効率や設備の劣化度など今後の設備更新に資するデータの収集を行い、更新する設備について検討を行なった。
29年度	空調設備改修工事に向けた設計を実施。 《改修概要》 ①熱源機器の更新②冷却塔の更新③ポンプ等機器類の更新④空調機更新 ⑤送風ダクト清掃⑥老朽配管の更新⑦電気設備の一部改修
30年度	空調設備改修工事が対象となる補助金について、説明会の参加や担当官庁等への情報収集を行い、平成31年度以降の補助金申請に向け準備を行った。

### (仮称)稲城市教育審議会・・・事業見直し

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の定めにより、大綱の策定や重点施策等について市長と教育委員会が協議・調整するため、総合教育会議を平成27年4月に設置した。

### 庁舎駐車場整備運営事業・・・完了予定

「駐車場有料化の考え方」に基づき、市役所駐車場を有料化するための整備及び歩車分離等の安全構造化等に向けた稲城市庁舎駐車場等整備工事を平成29年度に実施した。令和2年度に有料化を予定。

#### 【工事概要】

- ・ 工事対象：西側駐車場、北側駐車場、第3駐車場
- ・ 工事内容：舗装工事、排水工事、植栽工事、外構工事、撤去工事、電気設備工事、機械設備工事

## 2 自治体間の連携推進

### (1) 広域行政課題に対する連携

#### 霊園・メモリアルホール整備事業・・・完了

市民の墓地需要に対応するため、平成24年5月1日に府中市との一部事務組合「稲城・府中墓苑組合」を設立し、墓地・メモリアルホール事業を進め、平成27年9月に公営稲城・府中メモリアルパークを開苑、同年10月に南山ホールの供用を開始した。

## 3 適正な人事管理

- (1) より高い市民サービスを提供していくための人材育成
- (2) 専門的な能力を有する人材の効果的な配置と登用
- (3) 所属部署ごとの人事配置の適正化

## 4 情報通信技術の活用

- (1) 各種情報システムの再構築等の実施
- (2) 民間情報技術者の活用
- (3) 窓口サービスの向上

#### 住民情報システム等の再構築・・・実施継続中

庁内の各種情報システムについて、業者選定等を通じて再構築を実施した。

年度	システム名	実施内容
25年度	住民情報システム	更新
27年度	福祉総合システム	新規構築
27年度	内部情報系システム	更新
30年度	住民情報システム	更新

個別に運用していた既存の各システムを整理・統合し、庁内連携の強化と効率化を図った。

#### 社会保障・税番号制度に伴う個人番号カード交付関係事務・・・実施継続中

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（通称：マイナンバー法）」に基づく新たな番号制度開始に伴い、番号通知や番号カード発行のほか、職員研修などの行政に必要な手続き等を適切に実施した。

【個人番号カード交付状況】

年度	交付枚数
27年度	2,064枚
28年度	6,176枚
29年度	2,813枚
30年度	2,556枚

証明書等のコンビニ交付サービスの導入・・・実施継続中

市民の利便性向上のため、マイナンバーカードを利用して、住民票の写し等の証明書を全国のコンビニエンスストア等に設置するキオスク端末より交付されるサービスを実施した。

(平成 29 年 2 月 16 日開始)

【証明書等のコンビニ交付サービスの交付実績】

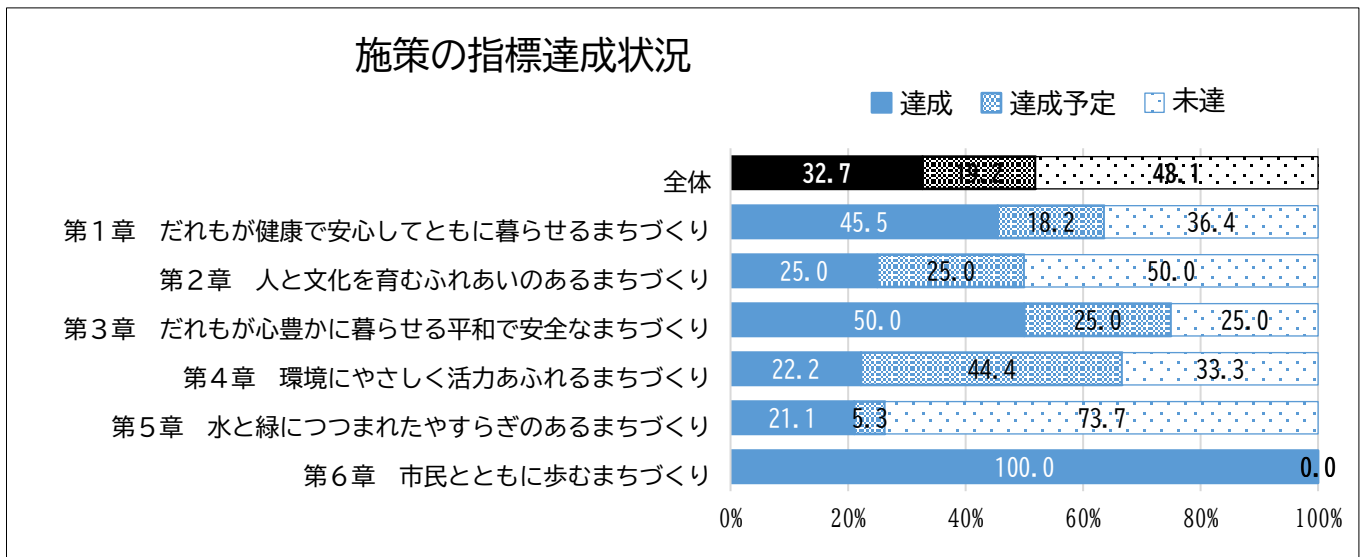
年度	住民票	印鑑証明	課税証明
29年度	1,152枚	812枚	167枚
30年度	1,858枚	1,358枚	281枚

## 【指標における目標値の達成状況】

第四次計画においては、今後のまちづくりに関する目標を市民にできるだけ分かりやすく示すという観点から、施策に対する目標として、いくつかの事業の目標値を設定しました。

平成30年度末実績から見込んだ計画期間満了時の達成度状況を見ると、「達成」と「達成予定」が半数を超えています。

まちづくりの基本目標	達成	達成予定	未達	総計
第1章 だれもが健康で安心してともに暮らせるまちづくり	5	2	4	11
第2章 人と文化を育むふれあいのあるまちづくり	1	1	2	4
第3章 だれもが心豊かに暮らせる平和で安全なまちづくり	4	2	2	8
第4章 環境にやさしく活力あふれるまちづくり	2	4	3	9
第5章 水と緑につつまれたやすらぎのあるまちづくり	4	1	14	19
第6章 市民とともに歩むまちづくり	1			1
全体	17	10	25	52



6つのまちづくりの基本目標ごとに見ると、「達成」と「達成予定」を合わせた割合で、「第5章 水と緑につつまれたやすらぎのあるまちづくり」分野の約3割から「第6章 市民とともに歩むまちづくり」分野の10割まで、分野ごとの達成状況には幅があります。

主な事務事業等の実施状況と併せて見ると、事業の約3割が完了し、約7割について実施継続中であり、国の事業見直し等に伴う事業見直しを除き、すべての事業を実施していることから、個別の事業の達成状況は様々であるものの、計画の達成に向け取り組んでいる現状が見えてきます。

<指標における目標値の達成状況一覧>

施策	指標	当初値	H30年度実績値	R2年度予定値	達成度	目標値
第1章 だれもが健康で安心してともに暮らせるまちづくり						
第1節 健康の保持・増進と医療の充実						
1 健康づくりの推進						
	特定健診の受診率	46.5%	53.9%	58.5%	未達	65.0%
	特定保健指導の実施率	28.7%	21.4%	42.0%	未達	45.0%
第2節 社会福祉の充実						
1 地域福祉の推進						
	地域福祉活動団体数	16団体	17団体	17団体	未達	20団体
2 高齢者福祉の充実						
	小規模多機能型居宅介護(看護小規模多機能型居宅介護)施設数	0カ所	4カ所	4カ所	達成	4カ所
	認知症高齢者グループホーム数	1カ所	4カ所	4カ所	達成	4カ所
3 障害者(児)福祉の充実						
	市内障害者グループホーム・ケアホームの定員	21人	38人	42人	未達	51人
	知的障害者と精神障害者の一般企業等への就労者数	39人	194人	232人	達成	70人
4 子育て支援の充実						
	公立保育園民営化の推進	1園	2園	3園	達成	2園
	子育てに関する相談や情報提供の充実	1,741件	1,272件	2,000件	達成予定	2,000件
5 ひとり親家庭への支援						
	ひとり親家庭ホームヘルプサービス利用登録世帯	9世帯	4世帯	17世帯	達成予定	17世帯
第3節 社会保険制度の推進						
2 介護保険制度の推進						
	介護支援ボランティアの登録者数	415人	761人	800人	達成	600人
第2章 人と文化を育むふれあいのあるまちづくり						
第2節 生涯学習の推進						
1 生涯にわたる学習・文化・芸術活動などの振興						
	いなぎICカレッジ年間受講者数	1,131人	1,584人	1,500人	達成	1,300人
2 社会教育の充実						
	公民館年間利用人数	253,944人	197,709人	215,000人	未達	280,000人
	図書館年間個人貸出冊数	1,338千冊	1,183千冊	1,250千冊	未達	1,500千冊
4 スポーツ・レクリエーション活動の振興						
	スポーツ実施率	35.5%	49.6%	50.6%	達成予定	50.0%

第3章 だれもが心豊かに暮らせる平和で安全なまちづくり						
第1節 地域で育む共生意識と活気あふれる地域交流						
3 男女共同参画社会の推進						
	審議会等の女性の参画率	24.0%	25.5%	29.0%	未達	40.0%
第3節 安全安心なまちづくり						
1 防災対策の推進						
	自主防災組織の結成数	44団体	48団体	50団体	達成予定	50団体
	木造住宅耐震化率	74%	89%	90%	達成予定	90%
2 地域ぐるみの防犯活動						
	防犯活動ボランティア団体	86団体	126団体	126団体	達成	100団体
	犯罪発生件数	727件	443件	400件	達成	700件
3 消防体制の充実						
	消防団員の定員確保（災害支援団員含む）	182人	192人	191人	未達	207人
4 救急体制の充実						
	応急手当普及員	30人	131人	130人	達成	100人
	応急手当奨励制度による対象事業所	3件	10件	10件	達成	10件
第4章 環境にやさしく活気あふれるまちづくり						
第1節 快適な環境への改善と保全の推進						
1 環境負荷低減の推進						
	家庭部門の1世帯あたり二酸化炭素排出量	2.98 t	2.77 t	2.1 t	達成予定	2.1 t
2 循環型社会づくり						
	可燃・不燃ごみ量（1人1日あたり）	495g	440.2g	440g	達成	480g
	資源集団回収量（1人1日あたり）	66.9g	55.8g	55.8g	未達	68.9g
3 快適な生活環境の確保と清潔なまちづくり						
	環境美化対策満足度	38.5%	42.4%	47.6%	達成	40.0%以上
	環境美化市民運動参加人数	8,515人	7,381人	9,500人	達成予定	9,200人以上
第2節 産業の振興						
1 都市農業の振興						
	農地面積	154ha	135.8ha	133.3ha	未達	138ha
	農家戸数	280戸	251戸	251戸	未達	261戸
第3節 安定した消費生活の推進						
1 市民の消費生活に関する意識啓発						
	消費者ルーム利用者数	955人	1,041人	1,100人	達成予定	1,100人
2 市民の消費生活環境に対する意識啓発の推進						
	くらしフェスタ参加来場者数	延3,500人	延1,700人	延4,000人	達成予定	延4,000人



第5章 水と緑につつまれたやすらぎのあるまちづくり						
第1節 安心して暮らせるまちづくり						
1 計画的な土地利用の推進						
地区計画区域の割合	31.8%	44.62%	44.62%	達成	42.0%	
2 市街地の整備						
榎戸土地区画整理事業	75.1%	88.1%	89.0%	未達	100.0%	
矢野口駅周辺土地区画整理事業	44.9%	50.3%	50.5%	未達	79.0%	
稲城長沼駅周辺土地区画整理事業	29.0%	46.0%	46.0%	未達	68.9%	
南多摩駅周辺土地区画整理事業	38.2%	70.9%	74.8%	未達	93.4%	
南山東部土地区画整理事業	0.0%	27.5%	46.6%	未達	100.0%	
上平尾土地区画整理事業	0.0%	100.0%	100.0%	達成	100.0%	
小田良土地区画整理事業	0.0%	23.0%	100.0%	達成予定	100.0%	
3 充実した道路網の整備						
都市計画道路整備率	63.3%	72.6%	76.6%	未達	90.0%	
市道改良率	58.0%	58.6%	58.7%	未達	60.0%	
歩道の透水性舗装整備率	67.8%	67.9%	68.0%	未達	75.0%	
4 河川・水路の整備						
水路の整備	64.9%	68.6%	69.2%	未達	70.0%	
第2節 安全で快適なまちづくり						
1 鉄道・バス交通の充実						
iバスの年間利用者数	35万人	526,024人	53万人	達成	40万人	
2 交通安全の推進						
有料自転車等駐車場収容台数	2,800台	5,000台	4,965台	達成	4,800台	
3 下水道の整備						
下水道普及率（汚水）	96.8%	99.18%	99.22%	未達	100.0%	
第3節 豊かな水と緑のあるまちづくり						
1 緑を守り育てる						
稲城市自然環境保全地域の指定	8.0ha	12.1ha	14.2ha	未達	16.1ha	
2 楽しく魅力ある公園づくり						
市民1人あたりの公園緑地面積	11.3㎡/人	10.9㎡/人	11.2㎡/人	未達	12.2㎡/人	
3 水と緑のネットワークづくり						
親水公園等整備状況	16.0%	16.0%	16.0%	未達	21.5%	
4 まちなみ景観の形成						
無電柱化道路延長	6.6km	8.8km	9.8km	未達	12.6km	
第6章 市民とともに歩むまちづくり						
第2節 行政サービス向上のための行財政						
1 健全な行財政運営						
市税徴収率（現年分）	98.5%	99.7%	99.4%	達成	99.0%	

## 5. 第四次稲城市長期総合計画の達成状況等のまとめ

平成22年度の第四次稲城市長期総合計画策定時点においては、「時代の潮流と主な課題への取り組み」として、人口構造の変化、環境への取り組み、経済情勢、安全安心な社会へのニーズの高まり、地方分権の進展と住民による自治の拡充を掲げていました。

これらへの取り組みとして個別事業を実施してきたほか、市民ニーズに対応するため、計画にない新たな事業にも取り組んできました。

具体的に完了した事業としては、健康プラザ及び市立病院健診・外来棟建設事業、南山小学校建設事業、小中学校大規模改修等事業（一小、二小、七小、一中、三中）、大規模改修事業（第二文化センター、中央文化センターホール）、消防団第二分団拠点施設整備事業等があり、それぞれ市民の健康増進、教育環境の充実、生涯学習環境の充実、防災力向上等の成果を上げてきています。

この他にも土地区画整理事業等の都市基盤整備事業の推進により、安全で安心なまちづくりを実施してきました。特に、JR南武線連続立体交差事業の全線高架化が完了し、稲城市は踏切が1つもないまちとなりました。また、南多摩駅周辺土地区画整理事業地区においては、多摩都市計画道路3・3・7号稲城府中線（府中街道）の4車線化が完了し、渋滞の緩和及び川崎街道から府中街道への進入がスムーズになりました。組合等施行土地区画整理事業地区においては、南山東部土地区画整理事業地区において南山小学校が開校、公営 稲城・府中メモリアルパークが完成し、学校給食共同調理場第一調理場の建て替え移転が完了予定となっています。上平尾土地区画整理事業地区及び小田良土地区画整理事業地区の事業進捗に伴い多摩都市計画道路3・4・17号坂浜平尾線が開通し、都市間交通及び市域移動の円滑化と利便性の向上が図られています。

さらに、計画に入っていない事業として、認可保育所の開所に係る整備費補助や子ども家庭支援センター本郷分室の増設、放課後子ども教室の本格実施、稲城長峰スポーツ広場の整備、上平尾消防出張所の整備等、市民ニーズを踏まえた中で様々な事業に積極的に取り組むことで市民サービスの向上に繋げてきています。

他に観光推進事業としていなぎ発信基地ペアテラスの整備や稲城市観光協会の設立等、地域の活性化及び稲城市の知名度アップに取り組んできています。

ここまで述べてきた取り組みを踏まえ、現時点において、第四次稲城市長期総合計画の達成状況等を見ると、主な事務事業等の実施状況では、国の事業見直し等に伴う事業見直しを除き、全ての事業が完了、実施継続中となっており、順調に取り組んできていると言えます。このことに加え、計画期間においては、計画に入っていない事業についても、新たな市民ニーズを捉えて柔軟に対応し、実施に取り組んできています。ここで市民意識調査の結果を見れば、本計画策定時点である平成21年度及び本計画中間時点である平成26年度と比べ、令和元年度の市民満足度は全般的に向上していることがわかります。第四次稲城市長期総合計画期間における市の取り組みを総体的に見れば、その成果として、着実に市民サービスを向上してきたと分析することができます。ここまでの計画の達成状況等を踏まえて、（仮称）第五次稲城市長期総合計画の策定に取り組む、より一層の市民サービスの向上を目指していきます。

# 第四次稲城市長期総合計画 達成状況等報告書

発行：令和2年1月

発行者：稲城市

〒206-8601

東京都稲城市東長沼 2111

編集：稲城市 企画部 企画政策課 長期総合計画担当

TEL：042-378-2111

FAX：042-377-4781

URL [http:// www.city.inagi.tokyo.jp/](http://www.city.inagi.tokyo.jp/)